

ダイジェスト版

教科書

1 教科書の特徴

◆ Revised BIG DIPPER English Logic and Expression I

- 2 目次・本書の構成
6 QRコンテンツの紹介
8 PART 1 Lesson 1 はじめに①
Lesson 9 / Let's Use It! 4
Express It Logically 2 / Further Activities 2
18 Words & Phrases
20 PART 2 Lesson 9
Consolidation 5 / Express It Logically 7

26 巻末 Useful Expressions

27 教材配当表 / 参考書との連携

◆ Revised BIG DIPPER English Logic and Expression II

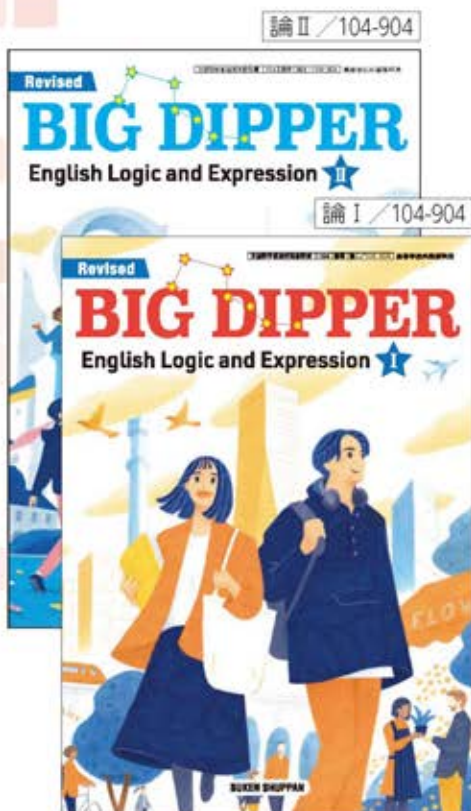
- 30 目次・本書の構成
34 PART 1 Lesson 4 / Let's Use It 2
Express It Logically 3 / Further Activities 3
40 PART 2 Lesson 1 / Express It Logically 7
44 PART 3 Lesson 2
46 巻末 Index・見返し (Punctuation) / 教材配当表

教授資料・準拠周辺教材

- 48 Suken AI ナビ / 英作文オンライン添削
50 TEACHER'S MANUAL I 指導手順案 / PART 1 Lesson 9
Express It Logically 2 / PART 2 Lesson 9
64 Teacher's Book I PART 1 Lesson 14
PART 2 Lesson 5
68 TEACHER'S MANUAL II PART 1 Lesson 4
PART 2 Lesson 1
76 Teacher's Book II PART 1 Lesson 12
PART 2 Lesson 5
80 付属 DVD-ROM データ
86 参考書 改訂版 チャート式シリーズ BIG DIPPER 高校英語
92 ワークブック・レッスンブック

デジタル教科書

- 94 デジタル教科書・教材 / 副教材



教科書のご案内
サイトはこちら！



教科書の紹介動画
はこちら！

全教科全力宣言!

数研出版の高校教科書

「論理・表現」の基礎〔文法・言語の働き〕を育成する、運用しやすい教科書!



Revised BIG DIPPER English Logic and Expression I / II

論 I / 104-904 (B5判・152頁) 論 II / 104-904 (B5判・144頁)



教科書の特色

POINT

1

学習しやすい パート別 / 見開き2ページ 構成

A. パート別構成

PART 1: 論理的な英語表現の基礎〔文法〕/ PART 2: 場面別・機能別表現を習得するパート別構成となっています。PART 1はライティングに、PART 2はオーラル活動に重点を置いて運用することも可能です。

B. 見開き2ページ構成

見開き2ページの小さなユニットで1レッスンが完結するので、テンポよく学習を進めることができます。各レッスン内で、INPUT (簡明な解説・用例) → INTAKE (練習問題) → OUTPUT (自己表現活動) の流れをもった、豊富な演習を設けています。

POINT

2

「論理・表現」の基礎から発展まで、無理のない学習が可能

表現活動に必要な文法の基本から、構文・イディオムを用いた機能表現まで、ムダなくムリなく、大学入学共通テストに対応するための基礎力を養うことができます。また、パラグラフ・ライティング、プレゼンテーションといった比較的高度な言語活動も、発展的レッスン Express It Logically. 「II」のPART 3において、ムリなく学習することができます。

POINT

3

さまざまな授業スタイルに配慮した教材ラインアップ

『改訂版 チャート式シリーズ BIG DIPPER 高校英語』との連携で、文法もしっかり定着。

・表現活動重視、文法学習重視のいずれのスタイルにも対応できるように、準拠教材等を取り揃えました。「I」の主要例文は参考書『改訂版 チャート式シリーズ BIG DIPPER 高校英語』とも連携しています。

編集委員紹介 ①現職名 ②専門

南出 康世

- ①大阪女子大学名誉教授
- ②英語学 (語彙意味論, 辞書学)

Lawrence Schourup

- ①大阪府立大学名誉教授
- ②言語学 (談話標識, 文体論)

David Lehner

- ①元 神戸山手短期大学教授
- ②言語学 (バイリンガリズム)

Dean Poland

- ①早稲田大学非常勤講師
- ②英語学 (談話分析)

小栗 裕子

- ①元 関西外国語大学教授
- ②英語教育学, 第二言語習得論

西川 眞由美

- ①摂南大学特任教授
- ②英語学 (語用論, 辞書学)

三村 浩一

- ①元 帝塚山学院大学教授
- ②英語学 (文法論), 英語教育学

高田 哲朗

- ①京都外国語大学非常勤講師
- ②英語授業学

杉本 喜孝

- ①帝塚山学院大学准教授
- ②CALL教材の開発および指導方法と評価方法の研究

道中 博司

- ①帝塚山学院中学校高等学校教諭
- ②ライティングの効果的な指導方法と評価方法の研究

◆「I」編集協力

鈴木 健之

(静岡県立科学技術高等学校教諭)

教材ラインアップ



CONTENTS

PART 1はライティングに、PART 2はオーラル活動に前半のレッスンは、語彙などの負担も比較的小さいので、時間をALTとのTeam Teachingに充当するなどの運用

重点を置いて運用することが可能です。また、PART 2週2単位でPART 1,2を並行して進めていき、うち1用も考えられます。(スムーズな授業展開)

【趣味 / 動名詞】 52

Part 1 Building a Basis for Logical

PART 1で論理的な英語表現の基礎〔文法〕を習得 <Grammatical Syllabus>

Lesson 1	はじめに①—「だれが」「～する」をはっきりと ◎日本語で省略される主語などに注意して	【文の主語】 6
Lesson 2	はじめに②—動詞をうまく使おう ◎伝えたい内容を、適切な意味をもつ動詞を用いて英語で表現できる。	【動詞】 8
Lesson 3	はじめに③—名詞の数などに気をつけよう ◎名詞が、数えられるか、特定のものであるかなどを意識して英語で表現できる。	【名詞・冠詞】 10
Let's Use It / 1 Lessons 1-3 不規則に変化する動詞の活用表 ルーブリック(評価基準表)		
Lesson 4	My Friends ◎「～である[ない]」「～ですか[しますか]」などを英語で表現できる。	【友だち / 否定文・疑問文】 16
Lesson 5	My Family ◎「～する[している]」「～した[していた]」などを英語で表現できる。	【家族 / 現在・過去・進行形】 18
Lesson 6	Pastime ◎未来に行うことについて、英語で表現できる。	【休日の予定 / 未来表現】 22
Lesson 7	My Town ◎現在・過去における完了・継続・経験の意味を英語で表現できる。	【町 / 現在完了・過去完了】 24
Lesson 8	Our Teachers ◎能力・許可・推量などの意味を英語で表現できる。	【先生 / 助動詞①】 30
Lesson 9	Visiting a Museum ◎必要・義務や、過去についての推量・後悔などを英語で表現できる。	【芸術 / 助動詞②】 32
Lesson 10	Famous People ◎「～は…に見える」「～に…を与える」「～を…にする」などを英語で表現できる。	34
Lesson 11	Reading ◎「～される[されない]」「～に満足する[不満を感じる]」などを英語で表現できる。	【読書 / 受け身】 38
Lesson 12	Studying Abroad ◎「～すること」「～する方法」「～するための」などを英語で表現できる。	【留学 / 不定詞①】 46
Lesson 13	Advice ◎「～するために」「…に～するよう頼む」「…が～するのを見る」などを英語で表現できる。	【相談事 / 不定詞②】 48
Let's Use It / 6 Lessons 12-13		

L.1～3(はじめに)では、日英表現の基本的な差異を学びます

PART 1の配列は、小社文法テキスト「21 ディッパー英文法」とほぼ同じです

各課で学んだ文法事項を応用するコミュニケーション活動

Lesson 1～21の難易度は緩やかな傾斜。1年次の学習者にも負担がかからないように基本的な文法事項に絞っています(スムーズな授業展開)

論理的な表現を強化する補充レッスン：文から文章へまとまったパラグラフを書くための段階的な練習

PART 2では言語の働き(function)を中心に習得 <Functional Syllabus>

Lesson 15	My Vacation ◎「～している[された]」「～しに行く」「…が～しているのを見る」などを英語で表現できる。	【休暇 / 分詞】 54
Lesson 16	In a Zoo ◎2つのものを比べて、「同じくらい～」「より～」ということを英語で表現できる。	【動物 / 比較①】 62
Lesson 17	Our Team ◎「最も～」「2倍の～」「できるだけ～」などを英語で表現できる。	【部活動 / 比較②】 64
Lesson 18	Neighbors ◎「～する人/物」「(…)が～する人/物」などを英語で表現できる。	【隣人 / 関係詞①】 68
Lesson 19	Speeches ◎「～すること」「～する場所[時]」などを英語で表現できる。	【スピーチ / 関係詞②】 70
Lesson 20	My Wish ◎事実と異なる状況[願望など]を英語で表現できる。	【願い事 / 仮定法】 78
Lesson 21	A Birthday Gift ◎名詞の働きをする節や、時・理由・条件を表す節を、英語で表現できる。	【贈り物 / 接続詞】 80
Let's Use It / 7 Lessons 14-15		
Express It Logically 2 文のつながりを示す語句を使おう①		
Let's Use It / 8 Lessons 16-17		
Express It Logically 3 文のつながりを示す語句を使おう②		
Let's Use It / 9 Lessons 18-19		
Express It Logically 4 書いた内容を読み返し、書き直そう		
Words & Phrases		
PART 2では言語の働き(function)を中心に習得 <Functional Syllabus>		
Part 2 Communicative Functions for Logical Expression		
Lesson 1	School Life ◎英語で勧誘・提案を行うことができる。	【健康】 102
Lesson 2	School Subjects ◎英語で依頼する、理由を聞く・述べるができる。	【健康】 102
Lesson 3	Free Time ◎英語で確認・訂正を行うことができる。	【健康】 102
Lesson 4	Feeling Well? ◎英語で心配を表す、助言を行うことができる。	【健康】 102
Consolidation 2 Lessons 3-4		
Express It Logically 5 情報・考えをまとめてみよう!		

※言語の働きとは…「提案する」「依頼する」など各々の発言の目的・機能。これを意識することで、より効果的なコミュニケーションを図ることが可能

機能表現を復習・定着・活用するページ

プレゼンテーションに関する留意点をまとめて学習

教科書

教科書

I

I

Lesson 5	Housework	【家事】 108
	◎英語で義務・必要を述べることができる。	
Lesson 6	The Internet Is Fun	【インターネット】 110
	◎英語で期待・確信を述べることができる。	
	Consolidation 3 Lessons 5-6	112
Lesson 7	I've Lost Your Book	【謝罪】 114
	◎英語で謝罪する、謝罪に応じることができる。	
Lesson 8	Planning a Trip	【旅行の計画】 116
	◎英語で計画・予定を述べることができる。	
	Consolidation 4 Lessons 7-8	118
	Express It Logically 6 発表の仕方や表現を工夫しよう!	120
Lesson 9	Exchange Students	【留学生】 122
	◎英語で程度・結果を述べることができる。	
Lesson 10	I Want to Be a ...	【将来の夢】 124
	◎英語で願望・目的を述べることができる。	
	Consolidation 5 Lessons 9-10	126
Lesson 11	Cheer Up Your Friend	【励まし】 128
	◎英語で同情・共感する、励ますことができる。	
Lesson 12	Farewell Party	【交際】 130
	◎英語で感謝・喜びの気持ちを述べることができる。	
	Consolidation 6 Lessons 11-12	132
	Express It Logically 7 情報・考えを整理して発表しよう!	134
Lesson 13	Saving Resources	【環境問題】 136
	◎英語で賛成・反対を述べることができる。	
Lesson 14	Social Problems	【社会問題】 138
	◎英語で意見を尋ねる・述べるができる。	
	Consolidation 7 Lessons 13-14	140
	Express It Logically 8 発表を聞いて、自分の考えをまとめてみよう!	142
	Express It Logically 9 競技ディベートを行ってみよう!	144
	Useful Expressions 各レッスンの基本例文集	146

簡単な「競技ディベート」の紹介



教科書の各ページに記載した二次元コードをタブレット・PC やスマートフォン等で読みとることで、理解を深めるコンテンツやツール、学習の参考になる情報[※]にアクセスすることができます。必要に応じて活用してください。なお、インターネット接続に際し発生する通信料は利用者の負担となりますのでご注意ください。

(URL: <https://www.chart.co.jp/qr/26eb1/>)

※主要例文の音声、補充問題・確認用プリント、音読練習ツール（モデル音声と自分の発音の一致度を判定）、学習ポイント解説動画（→p.146）をご用意しています。

理解を深めるコンテンツやツール、
学習に資する参考情報にアクセス

本書の構成

学習しやすい2パート構成 / 言語活動も充実

本書は大きく2つのパートによって構成されています。

Part 1 : 英語で論理的に正しく表現するための基礎を学習するパート

Part 2 : 言語の働き(機能)を意識してより効果的なコミュニケーションを図る力を育成するパート

Part 1 [本課] の構成

左ページ ▶ **基本例文**・**Notes** : 各課で学ぶべきポイントを含んだ基本的な例文と簡単な解説

Let's Check It! : 表現のポイントを確認 (**B.E.** = Basic Expression (基礎表現))

右ページ ▶ **Activity** : 学習ポイントの定着を図る表現活動(図絵の内容の描写など)

Express Yourself! : 学習ポイントを用いた自己表現活動

● **Let's Use It!** で思考・判断・表現の力を高めよう。

Think and Express! : コミュニケーションの場面・状況を意識して表現する。

Interact and Produce : ① 対話文・スピーチなどを聞き取り、② モデルとなる文を完成させる、③ グループワークやペアワークで、やり取り・発表を行う。

● **Lessons 1-3** 「はじめに」: 英語と日本語の表現の違いなど、「基礎の基礎」を学ぶレッスン。例文・解説をよく読んで、**Express Yourself!** で実際の使用場面を意識して表現してみよう。

Part 2 [本課] の構成

左ページ ▶ **Listen and Answer** : 対話文などを用いたリスニング問題(聞いた内容を書き取る活動)

Expressions : 言語の働き(機能)*を意識した対話練習[*タイトル部分に **E** で表示]、ペアワークでやり取り・発表を行う。

右ページ ▶ **Dialog** : 各課で取り上げた話題に関する対話文で、左ページの **Expressions** で学んだ表現のほか、対話において有用な表現がたくさん含まれています。dictation(書き取り)やペアでの会話練習を行うことができます。

Retelling : 対話文の内容を要約する活動(第三者に伝えるように工夫してみよう)

Further Activities : 各課の話題や言語の動きに関連した発展的な言語活動

● **Discussion** / ● **Debate** : 各課の話題に関連した話し合いや討議を行う活動(身近な話題を用いて、友だちと意見を交換する、自分の主張を述べるなど行ってみよう)

● 2課ごとに **Consolidation** (機能表現の復習ページ) を設けています。左ページは例文・解説、右ページは問題演習・表現活動で、しっかりと定着を図ることができます。

Express It Logically について

本課2-4レッスンごとに論理的に文を組み立てて文章を作る活動を行います。**Part 1** では文章(パラグラフ)の作成について、**Part 2** では発表(プレゼンテーション)について、留意点をまとめています。それぞれ一連の内容をもっていますので、これらをまとめて学習してもよいでしょう。

Words & Phrases について

Part 1 と **Part 2** の間に、英語の身近なことばをジャンルごとにまとめた語句リストを載せています。各課の表現活動で活用してみよう。

学びをもっと! 深める! 広げる! 数研のQRコンテンツ

*コンテンツ数 571 個, 413 個 (「数研発音マスター」コンテンツは判定対象であるセンテンスごとにカウント)

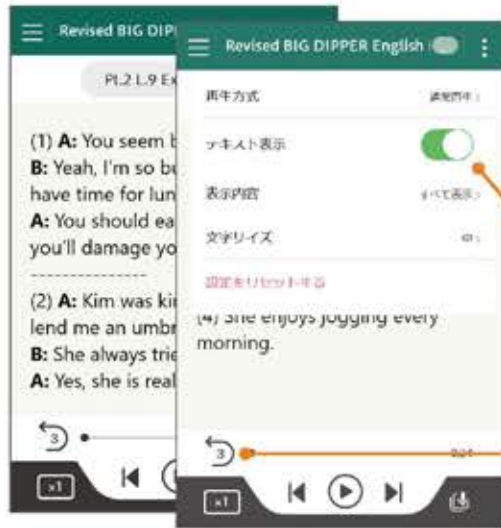
サンプルはこちら!



さらに
充実*

リスニング力をUPする

リスニング (音声再生)



【収録箇所】

- Part 1 : 主要例文
- Part 2 : Expressions, Dialog

- 再生方式 : 通常/リピート/シャッフル など
- テキスト表示 : 表示/非表示
- 表示内容 : 全文/パラグラフ
- 文字サイズ : 大/中/小

3秒戻る, 速度調整 (11段階)

各課の学びを深める

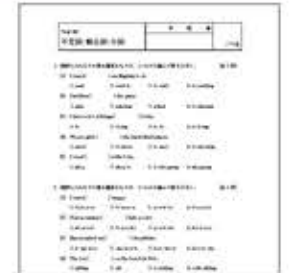
復習問題



Part 1・Part 2の学習ポイントを復習する問題をご用意しています。

文法知識をつける

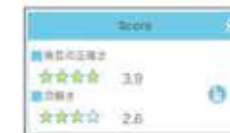
文法解説動画・文法のまとめ・確認テスト



巻末の Useful Expressions のQRコードからは、文法解説動画、Part 1の文法事項を振り返る文法まとめシート、中学既習事項を復習できる文法確認テストにアクセスできます (※ I のみ)。

発音に磨きをかける

数研発音マスター



手本となる音声と、自分の発音の一致度を判定できます。

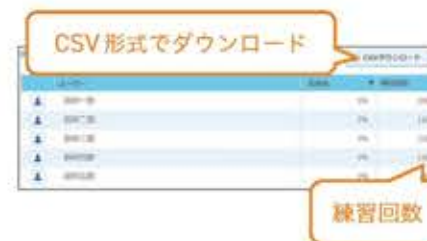
【収録箇所】

- Part 1 : 主要例文
- Part 2 : Expressions

数研発音マスタープラス (管理機能付き)

対象教材*をご採用いただくと、追加費用不要で教科書の数研発音マスタープラスをご利用いただけます。生徒の発音練習の回数、スコア、指摘内容、録音音声を確認可能です。

*対象教材…ワークブック、レッスンブック、学習者用デジタル教科書・教材



CSV形式でダウンロード

練習回数



録音音声をダウンロード

生徒の
苦手の発音

※ご利用にはお申込み、アカウント登録が必要です。詳しくは対象教材同梱の案内をご確認ください。
※画面は開発中のものです。実際の仕様とは異なる場合があります。

詳細→



「だれが」「～する」をはっきりと

本文を聞く/音読練習/補充問題



例文リスニング・発音判定・Pt.1 全主要例文リスニング、復習問題・解答 pdf ※小社発音判定アプリ「数研発音マスター」で、音読・発話練習もバッチリ！ ◆管理機能付き「発音マスタープラス」も利用可能です！ (→ p.7)

して、英語の文を表現できる。英語で表現できる。

I don't have homework today.

PART 1 のL.1～3は「はじめに」として、英語と日本語の表現の違いなど、「基礎の基礎」を学ぶレッスンになっています

英語で自分の言いたいことを表現するときには、まず「だれが」「～する」をはっきりと示すことが大切です。



Notes

日本語の「～が」、「～は」がいつも英語の主語になるとはかぎりません。英語で表現するときには、どの語を主語にするかを考えて英文を作りましょう。

- 5 オレンジが好きです。 I like oranges.
6 水泳が得意です。 I'm good at swimming.
7 秋は月が美しい。 The moon is beautiful in the fall.
8 土曜日は休みです。 We are off on Saturdays.

Express Yourself! B

各文を完成させて、実際に使う状況を思い浮かべながら言ってみよう。

- (1) スキー (skiing) が得意であることを友だちに伝えるとき
() good at ().
(2) 冬は温泉 (hot spring) が人気がある、ということを伝えるとき
() () are popular in the ().
(3) 昨日は熱があつて学校を欠席したことを伝えるとき
() () a fever (), so () was absent from ().

A 「かぎを落としましたよ」

You dropped your key.

Notes

日本語では、主語（「～は」、「～が」にあたる語）が省略されることがよくあるので、それを補って考えるようにしましょう。

- 1 昨日この本を買いました。 I bought this book yesterday.
2 カーター先生に会いましたか。 Did you meet Ms. Carter?
3 この花を英語で何と言いますか。 What do you call this flower in English?
4 当店で時計を売っています。 We sell clocks and watches here.

Express Yourself! A

各文を完成させて、実際に使う状況を思い浮かべながら言ってみよう。

- (1) (車で) 切符を落とした人に、それを拾って声をかけるとき
Excuse me, () () your ticket. — Oh, thanks!
(2) 留学生に、日本語がじょうずだね、と伝えるとき
() () good Japanese.
(3) 新しいかばんを買って、それをとても気に入っているとき
() () a new bag.
(4) 先週サムに会って、元気だったことを友だちに伝えるとき
() () Sam last week. () () fine.
(5) 昨晚のクイズ番組を見たか、友だちに尋ねるとき
() () () the quiz show last night?
(6) 目の前にいる鳥について、英語で何と言うか尋ねるとき
What () () () this bird in English?
— A sparrow.
(7) 日本では車は左側通行であることを伝えるとき
() () on the left in Japan.

日本語で状況を与え、生徒の思考力を活性化させる練習問題。使用する場面や伝えようとする内容と関連づけて、基礎表現〔文法〕を実際に活用させることを重視。図絵を用いた問題も採用 ◆ () を与えることで答えやすくなりました！



C 「今日はとても暑い」

It's very hot today.

Notes

天候・時間・距離・明暗などを表す場合、it を主語にします。

- 9 昨日は雪がひどかった。 It snowed hard yesterday.
10 何時ですか。 — 4時です。 What time is it? — It's four.
11 京都から東京までどれくらいですか。 How far is it from Kyoto to Tokyo?
— 500キロくらいですね。 — It's about 500 km.
12 部屋の中は暗かった。 It was dark in the room.

Express Yourself! C

各文を完成させて、実際に使う状況を思い浮かべながら言ってみよう。

- (1) 右の絵の状況を伝えるとき
() () o'clock now.
() () but () today.
(2) 今いる場所から駅までどのくらい距離があるかを尋ねるとき
() () () () from here to the station?



9 Visiting a Museum

L.4 ~ 21 で、表現活動と関連付けて、文法を体系的に学習します

例文リスニング・発音判定・Pt.1 全主要例文リスニング、復習問題・解答 pdf



本文を聞く/発音練習/補充問題

B.E.11 「～するとよい」「～しなければならない」

INPUT: 基本例文と解説
学習すべき文法事項を含んだ基本的な例文と簡単な解説 [B.E. = Basic Expression]

- 1 You **should** go to this exhibition. ▶ この展覧会に行くといいよ。
2 You **must** see these pictures. ▶ これらの絵は見ておかないといけないよ。

Notes

「～するとよい、～すべきである」は **should** を、「～しなければならない」は **must** を用いて表します。 **must** のほうが、**should** よりも意味が強くなります。

▶ 「～しなければならない」は **(have to)** を用いて表すこともできます。

I **had to** get up early *yesterday*. [過去を]

▶ **must not [mustn't]** は「～してはいけない」は「～しなくてもよい」[不必要]の意味になります。

INTAKE: Let's Check It!
ポイントとなる文法事項に対しての基本問題 (3 問程度) ◆主に空所補充問題として、より解答しやすくなりました。

Let's Check It! 11 *各文を完成させて、実際に使う状況を思い浮かべながら言ってみよう。

- (1) The movie is good. You () () it. [見たほうがいいよ]
(2) The movie is great. You () () it. [見ないといけないよ]
(3) You () () () the staff room today. [入ってはいけない]

B.E.12 「～だったにちがいない」「～すべきだったのに」など

- 3 Tom **may have arrived** there early. ▶ トムはそこに早く着いたのかもしれない。
4 He **must have enjoyed** the exhibition. ▶ 彼はその展覧会を楽しんだにちがいない。
5 We **should have visited** it last week. ▶ 私たちは先週そこを訪れるべきだった。

Notes

過去のことについて、「～だった[した]にちがいない/かもしれない」と推量する場合は **<must[may]+have+過去分詞>** で表します。また、**<should+have+過去分詞>** は、「～すべきだったのに」と過去のことについての後悔などを表します。

▶ Sam was with us last night, so you **can't have seen** him at the station. [～したはずがない]

Let's Check It! 12 *各文を完成させて、実際に使う状況を思い浮かべながら言ってみよう。

- (1) Saya () () () a cold. [かぜをひいていたのかもしれない]
(2) Eri didn't answer the phone. She () () () sleeping. [眠っていたにちがいない]
(3) I () () () more

PART 1 — 英語で論理的に正しく表現するための基礎力を養成する 21 レッスン

各課の到達目標を Can-do statement (能力記述文) の形で示しています

Can-do

- 表現 必要・義務や、過去についての推量・後悔などを英語で表現できる。
 話節 催し物や行動・活動などについて、英語で表現できる。

Activity

A () 内の語のうちより適切なほうを選んで、完成した文を言ってみよう。

[(1)(2)(3)(4) → B.E.11, (5)(6)(7) → B.E.12]





- (1) We (should / shouldn't) read that book.
(2) When you play sports, you (must / mustn't) wear your seat belt.
(3) You (mustn't / don't have to) tell him everything. It's your choice.
(4) I (must / had to) go to the dentist after school yesterday.
(5) I can't find my pencil case. I (must / should) have left it at home.
(6) Kana (may / can't) have said such things.
(7) I overslept. I (can't / should) have been to school today.

INTAKE: Activity [A]
文法事項を定着させる問題 (通語選択、語形変化、整序など)
◆ intake (定着) の部分をより充実させました。

OUTPUT: Activity [B]
絵や写真(状況)を見て適切な表現を考えさせる問題 (文字情報を介さず「思考して表現する」演習)
◆ 「英語表現」時代から好評の演習です。

B 写真・イラストの内容を表すように空所を埋めて、完成した文を言ってみよう。

[(1)(2) → B.E.11, (3)(4) → B.E.12]

- (1)  [hurry]
(2)  [touch]
(3)  [miss]
(4)  [practice]

- (1) We _____ . The meeting will begin soon.
(2) You _____ the museum exhibits.
(3) Bob hasn't arrived yet. He _____ the bus.
(4) I _____

OUTPUT: Express Yourself!
簡単な自己表現活動 (各課のポイントを用いて、学習者が自分のことを表現する活動)

Express Yourself! *①次の話題について表現し、②対話してみよう。

▶ Tell what happened and give your conclusion.

- ① Ex. John said he wanted to read the magazine, so he *may have bought* a copy.
I had a very bad score on the exam. I *should have studied* harder.

各レッスンの Express Yourself! は
【英作文オンライン添削】に対応! (⇒詳細は p.49)

- ② Ex. A: John said he wanted to read the magazine, so he *may have bought* a copy.
B: I think so, too. He is very interested in Japanese pop.

*対話を続け、発表してみよう。

⇒ Let's Use It! 4 (p.35)

◆ →より発展的な言語活動へ展開!



Lesson 8 Our Teachers

Tips for Expression

文法事項の簡単な復習・補足説明

- ① Mr. White can speak five languages. (ホワイト先生は5か国語を話せる。)
- ② We can use his dictionaries. (私たちは彼の辞書を使ってもよい。)
- ③ May I study here? (ここで勉強してもよろしいですか。)
▶ 「～してもよい」の意味では、can はくだけた表現、may はかしこまった表現です。
- ④ Ms. Lee may be tired after the race. (リー先生は競走の後で疲れているかもしれない。)
- ⑤ She must be happy with her record. (彼女は自分の記録に満足しているにちがいない。)
- ⑥ She can't be in the staff room. (彼女が職員室にいるはずがない。)
▶ 確信[推量]の度合いの強さは、must (～にちがいない) > may (～かもしれない)。

Think and Express! ・理由・説明などを添えて、2文以上で表現してみよう。

- (1) 「自分はこんなことができる」という特技などがありますか。
I can _____
使用する場面や伝えようとする内容と関連付けて、
文法を実際に活用する練習
- (2) 何かしたい場合に、先生に許可を得るときにはどう言いますか。
May _____
- (3) ある店や施設、建物などについて、自分の推測を述べてみよう。
The shop[restaurant, building, etc.] _____

Interact and Produce ▶ 「やり取り・発表」を行ってみよう。

- ① Listen to the dialog between Nanami and Andy. Write down some key words.

- ② Work in pairs. Refer to ① and reproduce the dialog.
Nanami: Have you seen Ms. Okada? I want to _____.
Andy: She _____.
N: I looked. She _____.
A: She _____ then _____.
N: Thanks, Andy!
- ③ Work in groups.
a Students A and B will make a dialog of their own similar to the one in ② and present it to students C and D.
b C and D will ask questions or make comments about the dialog. (Then switch roles.)

Spoken Interaction (話す[やりとり]) と Spoken Production (話す[発表]) を組み合わせた活動
[1] リスニング活動 (文法ポイント含む)
→ [2] 対話文等の完成
→ [3] [2] を参考にした発表、意見交換

→ Words & Phrases p.87 [校内の場所]

Lesson 9 Visiting a Museum

Tips for Expression

- ① You should go to this exhibition. (この展覧会に行くといいよ。)
- ② You must see these pictures. (これらの絵は見ておかないといけないよ。)
▶ 推奨[義務]の度合いの強さは、must (～しなければならない) > should (～するとよい)。
- ③ Tom may have arrived there early. (トムはそこに早く着いたのかもしれない。)
- ④ He must have enjoyed the exhibition. (彼はその展覧会を楽しんだにちがいない。)
- ⑤ We should have visited it last week. (私たちは先週そこを訪れるべきだった。)
▶ 過去についての推量は <must[may など]+have+過去分詞> で、後悔などの気持ちは <should+have+過去分詞> で表します。

Think and Express! ・理由・説明などを添えて、2文以上で表現してみよう。

- (1) 友だちに「～するといいよ」と勧めたいことを述べてみよう。
You should _____
- (2) 友だちがうれしそうでした。何があったのか推測してみよう。
Gen looked happy. _____
- (3) あなたが後悔したことについて述べてみよう。
I should _____

Interact and Produce ▶ 「やり取り・発表」を行ってみよう。

- ① Listen to the dialog between Lily and Takumi. Write down some key words.

- ② Work in pairs. Refer to ① and reproduce the dialog.
Lily: _____ to the zoo in our city?
Takumi: No, _____ there.
L: It's great. You _____.
T: _____ in the zoo do you like best?
L: I love the pandas. You _____. They are so cute.
T: Pandas? I've always _____!
- ③ Work in groups.
a Students A and B will make a dialog of their own similar to the one in ② and present it to students C and D.
b C and D will ask questions or make comments about the dialog. (Then switch roles.)

→ Words & Phrases p.89 [場所・施設]



論理的な文章構成（パラグラフ・ライティング）の要点をまとめました。文から文章へと、段階的に「書く」活動の内容を充実させていきます

文のつながりを示す語句を使おう①

代表的なパラグラフの展開パターンを紹介

1 時間の順序に従って書いてみよう

ある一日の出来事を、時間の経過に従って書いてみましょう。「午前中」「午後」など時間そのものを表す表現だけでなく、次のような文のつながり（つなぎ表現）を使って、順序よく伝えましょう。

next (次に), then (それから), after that (その後), later (後で)

Ex.) I had a good day last Sunday. I got up at eight and had breakfast. Then I studied English and math all morning. I ate lunch at twelve. In the afternoon my friend Hiroko came over. We talked a lot about school and our club activities. After that, we went to the park near my house and played badminton. We got home at five.

◀ 例をヒントにして、この前の日曜日にしたことを書いてみよう。▶

用例にならい、つなぎことばなどを効果的に使って、文章を論理的に構成する練習。書いた内容を読み直す習慣をつけるチェック欄付き

→ 読み直し

2 理由をいくつか挙げながら書いてみよう

相手に自分の意見を述べるときは、なぜそう思うのかという理由を示すと説得力があります。いくつかの理由を、順番に示しながら書いてみましょう。

- 「私は、～だと思います。」 ← 最初に自分の意見を書く。
- 「それには、三つ理由があります。」 ← 理由がいくつあるか示す。
- 第一に(まず)、～だから。 ← 以下、順番に理由を書く。
- 第二に、～だから。 ● 第三に(最後に)、～だから。

Ex.) Having friends is important to us. There are three reasons for this. First, friends share their knowledge with us. This broadens our point of view. Second, we can enjoy our free time with our friends. Third, our friends help us when we are in trouble. Of course we can live without friends, but if we have friends, our lives will be more pleasant.

注 share 分かち合う broaden 広げる a point of view ものの見方 in trouble 困った

◀ 次の文に続けて、いくつか理由を挙げて文章を書いてみよう。▶

I think that English is important in our lives. There are reasons for this. First, Second, Third,

→ 読み直し

3 例を挙げながら書いてみよう

相手に何かを説明する場合には、具体的な例を挙げながら説明するほうがずっとわかりやすくなります。そういうときには、次のようなつなぎ表現が便利です。

for example (例えば), for instance (例えば), such as (～のような), like (～のような)

Ex.) Different people like different foods. For example, my father likes Chinese food, such as ramen and gyoza. My mother likes Japanese food. She is a good cook and has a lot of recipes. My sister likes Italian food, like pasta and pizza. I like hamburgers and sandwiches because they are delicious and we can eat them very quickly.

注 a recipe レシピ, 調理法 delicious とてもおいしい quickly すばやく

◀ 例をヒントにして、家族の好きな食べ物について書いてみよう。▶

→ 読み直し

Let's write more!

学習事項の定着を図る補充練習

1. 自分のこれまでの経歴について、簡単にまとめてみよう。[→ 1]

Hint 生まれた年、学校に入学した年などを時間順にまとめ、それに沿って、所々に簡単なエピソード(好きだったことやクラブ活動など)を交えて書いてみよう。

2. ある人が自分たちのリーダー(キャプテン・部長・委員長など)として適任であることを表す文章を、理由をいくつか挙げながら書いてみよう。[→ 2]

3. 自分の周りの人たちの趣味や好みに関して、例を挙げながら説明する文章を書いてみよう。[→ 3]

Further Activities 2

Express It Logically の学習事項を活用する activity が充実

図絵を描写する問題など、「資格・検定試験」の問題に通じる内容となっています

- 1 Write a short passage of 40 words or more about your experience of a trip or an excursion. Use words showing time order (next, then, after that, later, etc.). [→ 1]

.....

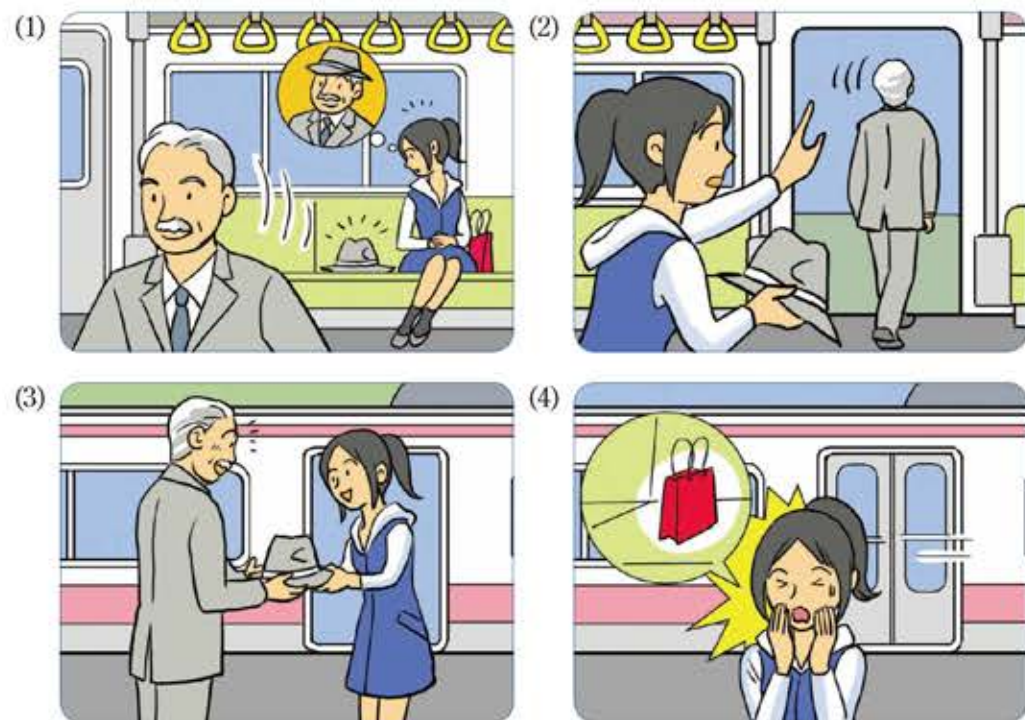
.....

.....

.....

→ 読み直し

- 2 Tell your partner the story shown in the following pictures. Use words showing time order. [→ 1]



Yesterday afternoon, I was on a train.

.....

.....

.....

.....

→ 読み直し

- 3 Answer the questions. Give two or three reasons, using words like "first," "second," "third," or "also." Your answer should be 40 or more words in length. [→ 2]

Question (a): Do you think learning foreign languages is important?

.....

.....

.....

.....

→ 読み直し

Question (b): Do you think social media is a good way to get news?

.....

.....

.....

.....

→ 読み直し

- 4 Using the following structure, explain a saying you know. [→ 3]

*saying [ことわざ]

There is a saying, " [] . " This means [] .

For instance, [] . [] .

.....

.....

.....

.....

.....

→ 読み直し

Hint For instance, [] . の後に, As another example, として, 異なる例を補足してもよい. 最後の部分は, 自分の意見などを結論として述べてみよう.

Words & Phrases

*英語の身近なことを集めました。さまざまな話題について英語で表現できるように活用しよう。
(各レッスンの関連ページを▶で示しています。)

学校に関することば

教科・科目

- | | | |
|---|--|---|
| <input type="checkbox"/> 国語 Japanese language | <input type="checkbox"/> 社会 social studies | <input type="checkbox"/> 体育 physical education[PE] |
| <input type="checkbox"/> 古典 Japanese classics | <input type="checkbox"/> 日本史 Japanese history | <input type="checkbox"/> 美術 art and design |
| <input type="checkbox"/> 漢文 Chinese classics | <input type="checkbox"/> 世界史 world history | <input type="checkbox"/> 書道 calligraphy |
| <input type="checkbox"/> 数学 mathematics[math] | <input type="checkbox"/> 地理 geography | <input type="checkbox"/> 音楽 music |
| <input type="checkbox"/> 理科 science | <input type="checkbox"/> 政治経済 politics and economy | <input type="checkbox"/> 選択科目 elective[optional] subject |
| <input type="checkbox"/> 生物 biology | <input type="checkbox"/> 公共 public | <input type="checkbox"/> 必修科目 required [compulsory] subject |
| <input type="checkbox"/> 化学 chemistry | <input type="checkbox"/> 倫理 ethics | <input type="checkbox"/> 理系 science course |
| <input type="checkbox"/> 物理 physics | <input type="checkbox"/> 家庭 home economics | <input type="checkbox"/> 文系 humanities course |
| <input type="checkbox"/> 地学 earth science | <input type="checkbox"/> 情報 information | |
| | <input type="checkbox"/> 保健 health | |
- ▶ pp. 20, 97

クラブ活動

- | | | |
|--|---|--|
| <input type="checkbox"/> クラブ活動 extracurricular[club] activity | <input type="checkbox"/> 放送部 school broadcasting club | <input type="checkbox"/> 野球部 baseball team |
| <input type="checkbox"/> 美術部 art club | <input type="checkbox"/> 新聞部 school newspaper club | <input type="checkbox"/> サッカー部 soccer[football] team |
| <input type="checkbox"/> 華道部 flower arrangement club | <input type="checkbox"/> 陸上部 track and field team | <input type="checkbox"/> コーチ coach |
| <input type="checkbox"/> 茶道部 tea ceremony club | <input type="checkbox"/> 水泳部 swimming team | <input type="checkbox"/> 主将 captain |
| <input type="checkbox"/> 演劇部 drama club | <input type="checkbox"/> 体操部 gymnastics team | <input type="checkbox"/> 部員 member |
| <input type="checkbox"/> 科学部 science club | <input type="checkbox"/> 卓球部 table tennis team | <input type="checkbox"/> マネージャー coach's assistant |
| <input type="checkbox"/> 英会話クラブ ESS [English Speaking Society] | <input type="checkbox"/> バドミントン部 badminton team | <input type="checkbox"/> 部室 club room |
| <input type="checkbox"/> 吹奏楽部 brass band | <input type="checkbox"/> テニス部 tennis team | <input type="checkbox"/> 試合に勝つ[負ける] win[lose] the game |
| <input type="checkbox"/> 合唱部 chorus | <input type="checkbox"/> バスケットボール部 basketball team | <input type="checkbox"/> 合宿する have[hold] a training camp |
| | <input type="checkbox"/> バレーボール部 volleyball team | |
- ▶ p. 20

学校行事

- | | | |
|--|--|---|
| <input type="checkbox"/> 中間考査 midterm exam | <input type="checkbox"/> 追試験 makeup exam | <input type="checkbox"/> 体育祭 field day[sports festival] |
| <input type="checkbox"/> 期末考査 term-end[final] exam | <input type="checkbox"/> 通信簿 report card | <input type="checkbox"/> 修学旅行 school trip |
| <input type="checkbox"/> 入学試験 entrance exam | <input type="checkbox"/> 入学式 entrance ceremony | <input type="checkbox"/> 火災避難訓練 fire drill |
| <input type="checkbox"/> 模擬テスト practice exam | <input type="checkbox"/> 卒業式 graduation ceremony | <input type="checkbox"/> 生徒会 student council |
| | <input type="checkbox"/> 始業式 opening ceremony | <input type="checkbox"/> 全校集会 student assembly |
| | <input type="checkbox"/> 終業式 closing ceremony | |
| | <input type="checkbox"/> 文化祭 school festival | |
- ▶ p. 67

校内の場所

- | | | |
|--|---|---|
| <input type="checkbox"/> 職員室 staff[teachers'] room | <input type="checkbox"/> 調理室 cooking room | <input type="checkbox"/> 靴箱 shoe shelf |
| <input type="checkbox"/> 校長室 principal's office | <input type="checkbox"/> 進路指導室 career guidance office | <input type="checkbox"/> 上履きに履き替える change into one's indoor shoes |
| <input type="checkbox"/> LL教室 language laboratory | <input type="checkbox"/> 体育館 gym[gymnasium] | <input type="checkbox"/> 校門 school gate |
| <input type="checkbox"/> 視聴覚室 audio-visual room | <input type="checkbox"/> 食堂 school cafeteria | <input type="checkbox"/> 自転車置き場 bicycle shed |
| | <input type="checkbox"/> 廊下 corridor[hall] | <input type="checkbox"/> 校庭 schoolyard |
- ▶ p. 34

日常生活に関することば

家事

- | | | |
|--|---|--|
| <input type="checkbox"/> 日常の買い物をする do daily shopping | <input type="checkbox"/> 食事を作る cook the meal | <input type="checkbox"/> イヌを散歩させる walk the dog |
| <input type="checkbox"/> 洗濯物をたたむ fold the laundry | <input type="checkbox"/> テーブルを片づける clear the table | <input type="checkbox"/> ネコ[イヌ]にえさをやる feed the cat[dog] |
| <input type="checkbox"/> 水やりをする water the plants | <input type="checkbox"/> ゴミを出す take out the garbage | <input type="checkbox"/> ふとんを敷く[たたむ] spread out[fold up] the futon |
| <input type="checkbox"/> 食器をテーブルに並べる lay the dishes on the table | <input type="checkbox"/> 部屋に掃除機をかける vacuum the room | <input type="checkbox"/> 浴槽を掃除する clean the bathtub |
| | <input type="checkbox"/> 窓をふく clean the windows | <input type="checkbox"/> 風呂の用意をする prepare the bath |
| | <input type="checkbox"/> ペットの世話をする take care of the pet | |
- ▶ p. 109

住まい

- | | | |
|---|---|---|
| <input type="checkbox"/> 掛けふとん quilt[comforter] | <input type="checkbox"/> 洋服ダンス wardrobe | <input type="checkbox"/> こんろ stove |
| <input type="checkbox"/> 敷きふとん mattress | <input type="checkbox"/> 本棚 bookcase[bookshelf] | <input type="checkbox"/> 流し sink |
| <input type="checkbox"/> 毛布 blanket | <input type="checkbox"/> じゅうたん carpet | <input type="checkbox"/> 洗濯機 washing machine |
| <input type="checkbox"/> 枕 pillow | <input type="checkbox"/> ラグ[敷き物] rug | <input type="checkbox"/> 乾燥機 dryer |
| <input type="checkbox"/> カーテン curtain | <input type="checkbox"/> 冷蔵庫 refrigerator[fridge] | <input type="checkbox"/> 掃除機 vacuum cleaner |
| | <input type="checkbox"/> 食器棚 cupboard[sideboard] | <input type="checkbox"/> エアコン air conditioner |
| | <input type="checkbox"/> 電子レンジ microwave oven | |
- ▶ p. 109

病気・けが

- | | | |
|--|--|--|
| <input type="checkbox"/> 患者 patient | <input type="checkbox"/> 心臓病 heart disease | <input type="checkbox"/> 食欲がなくなる lose one's appetite |
| <input type="checkbox"/> 医者にかかる see[consult] a doctor | <input type="checkbox"/> 脳梗塞 brain infarction | <input type="checkbox"/> 発疹ができる get[develop] a rash |
| <input type="checkbox"/> 注射 injection | <input type="checkbox"/> がん cancer | <input type="checkbox"/> かゆい itch[be itching] |
| <input type="checkbox"/> 処方箋 prescription | <input type="checkbox"/> 心臓発作 heart attack | <input type="checkbox"/> 切り傷を負う cut oneself |
| <input type="checkbox"/> かぜ薬 cold medicine | <input type="checkbox"/> インフルエンザ influenza[flu] | <input type="checkbox"/> ばんそうこう adhesive plaster |
| <input type="checkbox"/> 薬を飲む take medicine | <input type="checkbox"/> 下痢 diarrhea | <input type="checkbox"/> 打撲を負う have a bruise |
| <input type="checkbox"/> 手術を受ける have[undergo] an operation | <input type="checkbox"/> 便秘 constipation | <input type="checkbox"/> やけどする burn oneself |
| <input type="checkbox"/> 入院中である be in (the) hospital | <input type="checkbox"/> 花粉症 hay fever | <input type="checkbox"/> 肩こりがする have a stiff neck |
| <input type="checkbox"/> 入院する go to[go into, enter] (the) hospital | <input type="checkbox"/> コロナに感染する get COVID [be infected with coronavirus] | <input type="checkbox"/> 筋肉痛になる have a muscular pain |
| <input type="checkbox"/> 退院する leave (the) hospital | <input type="checkbox"/> せきが出る have a cough | <input type="checkbox"/> 肉離れ pulled muscle |
| <input type="checkbox"/> 過労 overwork | <input type="checkbox"/> のどが痛い have a sore throat | <input type="checkbox"/> 骨折する break a bone |
| | <input type="checkbox"/> くしゃみをする sneeze | <input type="checkbox"/> ねんざ sprain |
| | <input type="checkbox"/> 寒気がする have a chill | |
| | <input type="checkbox"/> 吐き気がする feel sick | |
| | <input type="checkbox"/> めまいがする feel dizzy | |
- ▶ p. 103

通信・コンピュータ

- | | | |
|---|--|---|
| <input type="checkbox"/> 携帯電話 cell phone | <input type="checkbox"/> デスクトップコンピュータ desktop computer | <input type="checkbox"/> (携帯電話で)テキストメッセージを~に送る text |
| <input type="checkbox"/> スマートフォン smartphone | <input type="checkbox"/> ノートパソコン laptop computer | <input type="checkbox"/> 添付ファイル attached file[attachment] |
| <input type="checkbox"/> 留守電に伝言を入れる leave a message on one's voice mail | <input type="checkbox"/> タブレットPC tablet PC | <input type="checkbox"/> ボタンをクリックする click a button |
| <input type="checkbox"/> 電話をかける make a phone call | <input type="checkbox"/> ソフトウェア software | <input type="checkbox"/> ウェブサイトを訪れる visit a website |
| <input type="checkbox"/> 電話を切る hang up | <input type="checkbox"/> マウス mouse | <input type="checkbox"/> ネットを閲覧する browse the internet |
| | <input type="checkbox"/> 画面 screen | |
| | <input type="checkbox"/> アイコン[小さな図] icon | |
| | <input type="checkbox"/> Eメールを送る send an email | |

9 Exchange Students

英語表現上のコミュニケーション機能(言語の働き)を学習。豊富な対話用例を「支援」として提示しています

Expressions リスニング・発音判定, Dialog リスニング, Pt.2 全主要例文リスニング, 復習問題・解答 pdf など

F 程度・結果を述べる

Listen and Answer

WARM-UP : Listen and Answer
各課で学習する内容の導入となるリスニング問題。共通テストにも通じる、図表・写真を選択させる問題もあります

Listen to the speech by an exchange student

1-3.

1 What does the speaker's nickname mean?



2 Who is visiting Japan now?

3 What did the speaker do at Kinkakuji Temple?

— She _____

INPUT ~ INTAKE : Expressions
ポイントとなる機能表現をペアワークで習得。それを活用してオリジナルの対話文を作る練習

Expressions

Work in pairs. Practice the following dialogs.

- 1 A: You seem busy today.
B: Yeah, I'm so busy that I didn't have time for lunch.
A: You should eat something, or you'll damage your health.

実際に使う状況を思い浮かべながら、「程度・結果を述べる」表現を練習しよう。

- 1 とても…なので～
2 (十分)…なので～する
3 …すぎて～できない



- 2 A: Kim was kind enough to lend me an umbrella.
B: She always tries to be helpful.
A: Yes, she is really a good person.

- 3 A: This curry is too hot to eat.
B: I thought you liked spicy food.
A: Well, it depends. This is too hot!

PART 2 — 多様な機能・場面に応じた表現を習得する 14 レッスン

⇨ Consolidation 5 (p.126)

Make your own dialogs by changing the underlined parts.
Practice the dialogs you have made and present them to the class.

Can-do: 機能 英語で程度・結果を述べるができる。 話題 人の性格や特徴などについて英語で表現できる。

Dialog Meg, an exchange student from the U.S.A., is talking to Ken.

Listen to the dialog and fill in the blanks. Then play the roles of Meg and Ken in pairs.

INTAKE : Dialog
左ページにおいて学習した Expressions や重要表現・語彙を定着させる dictation, role play によって、コミュニケーションを図る場合の発声練習を行います

M: Have you () to the new ramen shop?
K: Yes, I had lunch there last week. It was really delicious, but the shop was () busy () I had trouble getting a seat.
M: Yes, it seems amazingly (). I've wanted to eat there, but there's usually a long () outside. I guess I'm just too impatient.
K: Maybe someday you could arrive early () to avoid the lunch crowd.
M: That's a good (). I'll try going at around 11:30 next time.



OUTPUT : Retelling
Dialog を自分のことばで要約する活動。自分が聞いた内容を第三者に伝える練習にもなります

Retelling Summarize the dialog.

Ken had lunch ① _____ in Midori-machi. It was ② _____ but the shop ③ _____. Ken suggested to Meg that she should ④ _____

OUTPUT : Further Activities
実生活につながる応用的な言語活動により OUTPUT を促進します

Further Activities

Introduce one of the following exchange students to your friend.

Student	Nancy	Tuan	Sehi
From	Toronto, Canada	Hanoi, Vietnam	Daegu, Korea
Hobby	swimming, cycling	tennis, cooking	reading
Favorite music	classical	pop	jazz
Japanese foods you like and don't like	☺ <i>sukiyaki</i> ☹ <i>natto</i>	☺ <i>sushi</i> ☹ <i>konnyaku</i>	☺ <i>tempura</i> ☹ <i>umeboshi</i>

EX. Let me introduce Pedro. He is from Santos, Brazil. His hobby is watching movies. His favorite kind of music is rock'n'roll. He likes *natto* so much that he eats it every day. He doesn't like *takuan*.

Discussion Your class will accept Marika, an exchange student from Finland. What will you do for her while she is here?

⇨ Words & Phrases p.91(就学・留学)

OUTPUT : Discussion/Debate
日常的な、議論・討論しやすい話題を提示

Consolidation 5



重要ポイントのまとめ

Lesson 9 Exchange Students (程度・結果を述べる)

Input

- I'm so busy that I didn't have time for lunch.
(とても忙しくて、昼食をとる時間がなかったよ。)
- Kim was kind enough to lend me an umbrella. (キムが親切にも傘を貸してくれたよ。)
- This curry is too hot to eat. (このカレーは辛すぎて食べられないな。)

① <so ... that ~> は「とても…なので~[結果]」「~であるほど…[程度]」の意味を表します。

類例 Ted is such a happy person that everyone around him smiles.

(テッドはとても楽しい人なので、彼の周りにいる人は皆、笑顔になります。)

② <... enough to ~> は「~するほど十分に…[程度]」「十分…なので~する[結果]」の意味を表します。

<kind enough to ~> は「親切にも~してくれる」の意味になります。

③ <too ... to ~> は「…すぎて~できない[結果]」「~するにはあまりに…[程度]」の意味を表します。

too は許容できる程度を超えていることを示し、否定的な意味をもちます。

Lesson 10 I Want to Be a ... (願望・目的を述べる)

Input

- What do you want to be in the future? —I hope to be an actor.
(将来何になりたいの。—俳優になりたいと思ってるんだ。)
- In order to become an actor, you'll have to go to acting school, won't you?
(俳優になるためには、演劇学校に通わなきゃいけないね。)
- I would like to be an engineer. (エンジニアになりたいんです。)
- I'm studying math so that I can learn to think logically.
(論理的思考を身につけるため、数学を勉強しています。)
- I have a dream of playing soccer in Spain.
(ぼくにはスペインでサッカーをするっていう夢があるんだ。)

① <want to ~> 「~したい」、<hope to ~> 「~することを望む」 ③ <would like to ~> 「~したい」は願望・希望を表します。<would like to ~> は <want to ~> よりもていねいな表現になります。

② <in order to ~> は「~するために」と、目的を述べる表現です。

④ <so that ~> 「~するため[よう]に」は目的を述べる表現です。that-節では can, will などがよく用いられます。上の L.9 ① の <so ... that ~> とまちがえないように注意しよう。

⑤ <have a dream of ~ing> 「~するという夢がある」は、願望・希望を述べる表現です。<of ~ing> 「~するという」が dream の内容を説明している点に注意しよう。

1 () 内に適切な語を入れて、完成した文を言ってみよう。

Intake





[(1)(2)(3) → L.9, (4)(5) → L.10]

- I was () tired () I fell asleep during class. [とても疲れていたのだから]
- Sota is diligent () () practice kendo every morning.
[毎朝練習するほど勤勉だ]
- These letters are () () () read. [小さすぎて読めない]
- I () () () be a diplomat. () () () realize this, I study English hard. [外交官になりたい/実現するために]
- I always read a newspaper () () I () learn more about current topics. [詳しくなるために]

2 イラストの内容を表すように空所を埋めて、完成した文を言ってみよう。

Output 1

[(1) → L.9, (2)(3)(4) → L.10]

-  [so, noisy]
-  [hope, journalist]
-  [order, skateboard]
-  [dream, live]

- My brothers were _____ focus on studying.
- Shinji _____ in the future.
- I'm saving money _____.
- Kaori _____ Denmark someday.

3 次のとき、あなただったらどう伝えますか、学んだ表現を使って言ってみよう。

Output 2

[(1)(2) → L.9, (3)(4) → L.10]

- ムーア先生が親切にも彼女のふるさとを案内してくれた (guide us around) と伝えるとき
Ms. Moore was _____.
- とても難しく解くことができない数学の問題 (problem) があつたとき
The math _____.
- 手伝ってあげたいので、何かできることはないか、と声をかけるとき
_____. What can I do for you?
- 英語が上達する (improve) ように英語のニュース番組を見ている、と述べるとき
I watch _____ my English.

情報・考えを整理して発表しよう！



聞き手が理解しやすいような発表内容にするためには、情報・考えがきちんと整理されていなければなりません。それにはいくつか注意すべき点があります。

1 時間の流れに沿って、内容を整理しよう

人物や出来事の紹介などは、時間の流れに沿ってまとめると理解しやすくなります。例えば、あるスポーツ選手について述べたい場合、次のように年代を追って整理し、スライドで年表などの資料を示すとよいでしょう。

Alex Minton was a great pitcher. He joined the Condors in 1990. He set a record by having 15 or more wins every year for 11 years. In 2002, he underwent an operation on his right elbow and had no chance to play. However, he made a comeback in 2003 and won 14 games. He finally retired after the 2006 season with a record of 5-4 that year.



Professional Career of Alex Minton

Year	Win	Loss	SO	ERA
'90	15	8	232	2.87
'91	18	5	251	3.06
'92	20	7	255	2.64
'93	19	8	270	2.98
'94	16	10	228	3.43
'95	21	6	275	2.57

2 重要な内容から順に述べよう

聞き手に納得してもらうには、自分の主張と、その理由付けや補足事例を明確に述べる必要がありますが、その中でも特に重要だと自分が思うことは、まず最初に伝えるのがよいでしょう。

例えば「sushiの人気の秘密」について発表するとします。その人気の理由としては、

It's tasty. / It's healthy. / It looks good. / There are many different kinds. / The price has become reasonable.

などが挙げられるでしょう。この中で最も重要だと考える理由が It's healthy. だとすれば、その点から発表を始めるのが効果的です(→次ページの例を参照)。

3 事例を比較したり、統計資料を活用したりしよう

ある2つの事例を比較したり、客観的な数値を用いて説明したりすると、発表に説得力が増します。その際にグラフや図表を用いると、聞き手の注意を引き、理解を深めて、発表をより印象深いものにすることができると良いでしょう。先に述べた「sushiの人気の秘密」というテーマでは、次のような発表が考えられます。

Good afternoon, everybody. Today, we'll explain to you why sushi is so popular all over the world. **First of all, sushi is very healthy.** Take a look at this chart comparing sushi and fast food. One meal of sushi (10 pieces of different kinds) has about **450 calories**, while one fast food meal, a cheeseburger (300 calories) with medium French fries (380 calories), has about **680**. A California roll made with healthy things like avocado, crab meat, and cucumber has **only 35 to 40 calories** per piece, so six or seven pieces add up to less than 300 calories. These examples show what a low-calorie food sushi is. ...



プレゼンテーションの実践練習

Let's Practice!

日本のアニメやファッション、食べ物、音楽などのうち、国内や国外で人気のあるものをテーマにして、なぜ人気があるのかなどについて発表してみよう。情報や考えをまとめるときに、発表に説得力をもたせることを念頭に、具体例や統計資料などを収集して活用してみよう。



Useful Expressions

*各レッスンの主要例文の一覧です。各文の赤文字部分は表現するうえでポイントとなる箇所を表しています。暗唱できるくらいに何度も英文を繰り返し音読し、英語での表現力を鍛えよう。

Part 1

- L.1** ▶ かぎを落としましたよ。
(p.6) 今日は宿題がありません。
 今日はとても暑い。
- L.2** ▶ 私はコーヒー。
(p.8) 電話に出てください。
 庭に高い木があります。
- L.3** ▶ この靴はトムのです。
(p.10) 昼食を食べましょう。
 ドアを開けてください。
- L.4** ▶ ミクは科学に興味があります。
(p.16) 彼女は歴史が得意ではありません。
 アキラは野球をしますか。
 彼は毎日野球の練習をしますか。
- L.5** ▶ 母はよくリンゴを食べる。
(p.18) 彼女は今リンゴを食べている。
 弟は昨日テニスをした。
 彼は正午にテニスをしていた。
- L.6** ▶ 明日はいい天気でしょう。
(p.22) 私は庭仕事をします。
 私はお寺巡りをするつもりです。
 明日は奈良に滞在します。
- L.7** ▶ アヤは北海道へ引っ越してしまいました。
(p.24) 私は北海道へは一度も行ったことがありません。
 彼女とは10年来の知り合いです。
 富山に引っ越す前は長野に住んでいた。
- それまで海を見たことがなかった。
- L.8** ▶ ホワイト先生は5か国語を話せる。
(p.30) 私たちは彼の辞書を使ってもよい。
 ここで勉強してもよろしいですが、
一ええ、かまいません。
- You** dropped your key.
I don't have homework today.
It's very hot today.
I'll have coffee, please.
Answer the phone, please.
There is a tall tree in the garden.
These shoes are Tom's.
Let's have lunch.
Open the door, please.
Miku is interested in science.
She is not[isn't] good at history.
Is Akira a baseball player?
Does he practice baseball every day?
My mother often eats apples.
She is eating an apple now.
My brother played tennis yesterday.
He was playing tennis at noon.
It'll[It will] be sunny tomorrow.
I'll[I will] do the gardening.
I'm going to visit some temples.
I'm staying in Nara tomorrow.
Aya has moved to Hokkaido.
I have never been to Hokkaido.
I have known her for ten years.
I had lived in Nagano before I moved to Toyama.
I had never seen the sea until then.
Mr. White can speak five languages.
We can use his dictionaries.
May I study here?
— Yes, certainly.

◆教材配当表：時間数は目安；定期考査や下記以外のページの時間を含めて、年間70時間の想定。

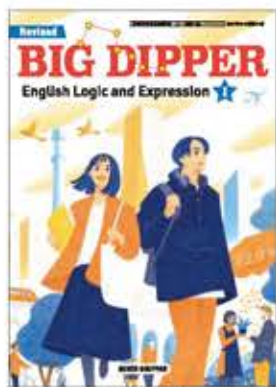
PART 1：基礎的表現（文法）の習得

PART 2：機能表現（言語の働き）の習得

課	タイトル	学習事項	時間数	課	タイトル	学習事項	時間数
1	はじめに①	文の主語	1	1	School Life	勧誘する、提案する	1
2	はじめに②	動詞	1	2	School Subjects	依頼する、理由を聞く・述べる	1
3	はじめに③	名詞・冠詞	1	3	Free Time	確認する、訂正する	1
4	My Friends	否定文・疑問文	1	4	Feeling Well?	心配する、助言する	1
5	My Family	現在・過去・進行形	1	EL5	情報・考えをまとめてみよう！		1
6	Pastime	未来表現	1	5	Housework	義務・必要を述べる	1
7	My Town	現在完了	1	6	The Internet Is Fun	期待・確信を述べる	1
C	辞書を活用しよう！		1	7	I've Lost Your Book	謝罪する、謝罪に応じる	1
8	Our Teachers	助動詞①	1	8	Planning a Trip	計画する、予定する	1
9	Visiting a Museum	助動詞②	1	EL6	発表の仕方や表現を工夫しよう！		1
10	Famous People	文型	1	9	Exchange Students	程度・結果を述べる	1
11	Reading	受け身	1	10	I Want to Be a ...	願望・目的を述べる	1
EL1	短い文章を書いてみよう！		2	11	Cheer Up Your Friend	同情・共感する、励ます	1
12	Studying Abroad	不定詞①	1	12	Farewell Party	感謝する、喜ぶ	1
13	Advice	不定詞②	1	EL7	情報・考えを整理して発表しよう！		1
14	Hobbies	動名詞	1	13	Saving Resources	賛成する、反対する	1
15	My Vacation	分詞	1	14	Social Problems	意見を尋ねる・述べる	1
EL2	文のつながりを示す語句を使おう①		2	EL8	発表を聞いて、自分の考えをまとめてみよう！		1
16	In a Zoo	比較①	1	EL9	競技ディベートを行ってみよう！		1
17	Our Team	比較②	1	* Part 1: Let's Use It!, Part 2: Consolidation は、概ね2課に1か所挿入する形で掲載。 * C...Column / EL...Express It Logically * 二次元コードにより、各課 Review Exercises、語彙問題 [p.28]、文法のまとめ・解説動画・文法確認テスト [p.146] を参考情報として提供。 * その他、授業での発話集 Classroom English [前・後見返し]、不規則動詞活用表 [p.14]、活動評価のループリック [p.15]、Words & Phrases [pp.87-92]、主要表現まとめ Useful Expressions [pp.146-151] を収録。			
18	Neighbors	関係詞①	1				
19	Speeches	関係詞②	1				
EL3	文のつながりを示す語句を使おう②		2				
20	My Wish	仮定法	1				
21	A Birthday Gift	接続詞	1				
EL4	書いた内容を読み返し、書き直そう		1				

★参考書『改訂版 チャート式シリーズ BIG DIPPER 高校英語』との連携で、
文法もしっかり定着！

教科書の主要例文は、参考書『改訂版 チャート式シリーズ BIG DIPPER 高校英語』と連携
しています。参考書を併用することで、文法・表現の理解がさらに深まります



教科書
Revised BIG DIPPER
English Logic and Expression I



参考書
改訂版 チャート式シリーズ
BIG DIPPER 高校英語

参考書の詳細は
こちら！



教科書『Revised BIG DIPPER English Logic and Expression I』

B.E. 9 「～できる」「～してもよい」

1 Mr. White can speak five languages.	▶ ホワイト先生は5か国語を話せる。
2 We can use his dictionaries.	▶ 私たちは彼の辞書を使ってもよい。
3 May I study here? — Yes, certainly.	▶ ここで勉強してもよろしいですか、 — ええ、かまいません。

▲Part1, p.30

Expressions Work in pairs. Practice the following dialogs.

1 A: Will you do me a favor?
B: Sure. What can I do for you?
A: Can you show me your textbook?
I forgot to bring mine.
B: Of course.

実際に使う状況を思い浮かべながら、
「依頼する」「理由を聞く・述べる」表現を
練習しよう。

1 お願いがあんだけど、～してくれる？
2 お願いがあんですが

▲Part2, p.96

参考書『改訂版 チャート式シリーズ BIG DIPPER 高校英語』

1 can / could

A 「～できる」(能力・可能)

1 Mr. White **can** speak five languages. 53
(ホワイト先生は5か国語を話せる。)

▶ 「～する能力がある」「～することが可能である」(=～できる)の意味を表す。
Can you ride a bike? — Yes, I can. / No, I can't. (能力)
(あなたは自転車に乗れますか、—はい、乗れます、/いいえ、乗れません。)

▶ 否定形は **cannot** / **can not** は使われず、会話では **can't** がよく使われる。
Lucy **cannot** / **can't** swim. (ルーシーは泳げません。)

▶ **Can you come at ten?** (可能) (10時に来ることができますか。)

B 「～してもよい」(許可)

2 We **can** use these dictionaries. (私たちはこれらの辞書を使ってもよい) 54

▶ 「～することが可能」→「～してもよい」の意味を表す。
You **can** stay here until the rain stops. (雨がやむまでここにいてもいいよ。)

▶ **Can I ~? / Can we ~?** は「～してもよいか」と「許可」を求める表現。
否定形は「～してはいけません」(軽い禁止)。
Can I talk to you now? — Sure. (今話をしてもいい? — いいよ。)

▶ **Could I ~? / Could we ~?** は「～してもよろしいでしょうか」と「いねいに(許可)を求める表現」。
Could I ask you a question? — Of course, you **can** (×could).
(質問をしてもよろしいでしょうか、—もちろんです。)

受け答えは、**could** ではなく、**can** することに注意。

C 「～してくれませんか」(依頼)

3 **Can you show me your textbook?** — Of course. 55
(教科書を見せてくれる? — もちろんいいよ。)

4 **Could you (please) show me your dictionary?** 56
— Sure. Here you are.
(辞書をちょっと見せていただけますか、—いいわ、はい、どうぞ。)

▶ **Can you ~?** は「～してくれない?」という「依頼」の意味を表す。
▶ **Could you ~?** は「～していただけますか」と「いねいに(依頼)をする表現」。

2 may

A 「～してもよい」(許可)

1 **May I study here?** — Yes, certainly. 57
(目上の人に対して)ここで勉強してもよろしいですが、—ええ、かまいません。)

▶ **can** にもこの意味があるが(→ 1-A-C), **may** のほうがかしこまった言い方。
You **may** leave early today. (→ 下の [How to Use It])
(今日は早く帰ってよろしい。)(目上の人や子どもや目下の人に対して)

▶ 否定形の **may not** は「～してはいけません」(軽い禁止)。
Students **may not** enter the room. (掲示) (生徒は入室してはいけません。)

IIの学習にあたり、英語表現力を伸ばしていくための留意点を改めて確認します

「論理・表現II」では、「論理・表現I」で
するやや高度な構文・表現までを体系的に
事項を繰り返し学んで理解を深める「スパ

学んだ基本事項を根幹として、それに関連
扱います。I→IIと使用することで、重要
イラル学習」が可能となっています。

Lessons 11-12

英語表現力を効果的に身につけるには、ループブック(評価基準表) 5

Part 1 Building a Basis for Logical Expression

Lesson 1 School Festival [学校生活] PART 1で論理的な英語表現の基礎(文法)を習得 <Grammatical Syllabus>

Lesson 2 A Trip to Sapporo PART 1の配列は、小社文法テキスト「21 ディッパー英文法」とほぼ同じです

Lesson 3 My Dear Friend [友だち/完了形・完了進行形] 16

Lesson 4 A Dog in a Barbershop [思い出/助動詞] 18

Lesson 5 Japanese Food [本食/受け身] 28

Lesson 6 Volunteer Activities [ボランティア/不定詞①] 30

Lesson 7 A Stage Actor [演劇・舞台/不定詞②] 34

Lesson 8 I Like Singing [音楽/動名詞] 36

Lesson 9 Cycling

Lesson 10 My New Hiking Boots [愛用品/比較①] 46

Lesson 11 The Yangtze River [地理/比較②] 50

Lesson 12 My Sister's Job [職業/関係詞①] 52

L.1~16の難易度は緩やかな傾斜/2年次以降の学習に適切な内容となるよう、Iの反復+補充として、重要事項を精選しています

Lessons 11-12 54

Lesson 13 In Kansas City [私の町/関係詞②] 60

Lesson 14 Dreaming of Space [宇宙/仮定法①] 62

Lesson 15 An Android like You [SF/仮定法②] 66

Lesson 16 I Left My Handkerchief [忘れ物/時制の一致・話法] 68

Lesson 17 Express Your Opinion [意見表明] 70

Lesson 18 Write an Essay [エッセイ・ライティング] 72

Part 2 Communicative Functions for Logical Expression

Lesson 1 What's Your Favorite? PART 2では言語の働き(function)を中心に習得 <Functional Syllabus>

Lesson 2 Uniforms or Casual Clothes Express Your Opinionに関するヒント(解答の構成法・活用など)

Lesson 3 Project Studies Program emailや手紙などを題材とした、まとまった分量の文章を書かせる練習

Lesson 4 A Guitar Concert 様々な場面設定での表現・コミュニケーション活動

Lesson 5 Studying Abroad [留学] 90

Lesson 6 What Should I Do? [悩み相談] 92

Lesson 7 Express Your Opinion 2 [意見表明] 94

Lesson 8 A Korean Drama [ドラマ] 100

Lesson 9 Going Bird Watching [余暇] 102

Lesson 9	Meeting the Deadline	[課題] 104
	◎ 英語で許可を求めることができる。	
	Tips for Express Your Opinion 3 • Writing <Lessons 7-9>	106
	Express It Logically? 図表の内容について伝達してみよう (1)	108
Lesson 10	Friendship Festival	[交流] 110
	◎ 英語で感謝・喜びを述べるができる。	
Lesson 11	Returning a Magazine	[失敗・落ち度] 112
	◎ 英語で謝罪する・謝罪に応じることができる。	
Lesson 12	What Is Your Opinion?	[事業] 114
	◎ 英語で個人的な意見を述べるができる。	
	Tips for Express Your Opinion 4 • Writing <Lessons 10-12>	116
	Express It Logically? 図表の内容について伝達してみよう (2)	118

Part 3 Advanced Communicative Activities

Lesson 1	Making a Manuscript	
	◎ プレゼンテーションの原稿を作ってみよう	
Lesson 2	Making Your Presentation More Effective [Presentation ②]	124
	◎ プレゼンテーションをより効果的なものにするには	
Lesson 3	Being an Active Listener	[Presentation ③] 126
	◎ プレゼンテーションを聞くときの注意点	
Lesson 4	Having a Discussion	[Discussion ①] 128
	◎ ディスカッションを行ってみよう	
Lesson 5	Speaking in Order	[Discussion ②] 130
	◎ ディスカッションにおける適切な発言のしかた	
Lesson 6	Thinking Logically and from Different Angles [Debate ①]	132
	◎ ディベートを行う意義(論理的・多面的に考える力を養う)	
Lesson 7	Sharpening Your Thinking Ability	[Debate ②] 134
	◎ ディベートを通じて思考力に磨きをかけよう	

PART 3 ではプレゼンテーション、ディスカッション、ディベートといった、やや高度な言語活動を集中的に学習

Useful Expressions 有用な表現集

Index 表現別さくいん

※このほか、前見返しでは英文手紙・email の書き方を、後ろ見返しでは Punctuation (句読法) のまとめを掲載



教科書の各ページに記載した二次元コードをタブレット PC やスマートフォン等で読みとることで、理解を深めるコンテンツやツール、学習の参考になる情報にアクセスすることができます。必要に応じて活用してください。なお、インターネット接続に際し発生する通信料は、使用される方の負担となりますのでご注意ください。

理解を深めるコンテンツやツール、学習に資する参考情報にアクセス [URL: <https://www.chart.co.jp/qr/26eb2/>]

※主要例文の音声、補充問題・確認用プリント、音読練習ツール(モデル音声と自分の発音の一致度を判定)をご用意しています。

本書の構成

学習しやすい3パート構成 / 言語活動も充実

本書は大きく3つのパートによって構成されています。Part 1 では英語表現における基本的なルールを、Part 2 では言語の働き(機能)を意識した表現を習得し、Part 3 では presentation や debate などの総合的なコミュニケーション活動を学習します。

Part 1 [本課]の構成

左ページ ▶ **基本例文**・Listen and Answer:

各課で学ぶべきポイントを含む基本的な文章と、それに関するリスニング問題
Read Aloud: ペアでの音読練習(→評価用のルーブリック(p.8))

Tips for Expression: ポイントとなる表現の簡単な解説

Let's Check It!: 表現のポイントを確認

右ページ ▶ **Activity**: 学習ポイントの定着を図る表現活動(図絵の内容の描写など)

Interact and Produce: ① 対話文を聞き取り、② モデルとなる文を完成させる。

③ グループワークやペアワークで、やり取り・発表を行う。

● **Let's Use It!** で思考・判断・表現の力を高めよう。

Think and Express!: まとまった文章内容を自分で表現する活動

リスニング問題→キーワードの書き取り→リテリング(聞いた内容を自分のことばで表現する活動)

Express Yourself!: モデル文などを参考に文章を書き、その内容(音読)を軸にして対話を行う活動(→S...Suggestions: 文章を書くうえでのヒント)

Part 2 [本課]の構成

左ページ ▶ **Model**・Listening Quiz・Expressions: 各課で習得すべき言語の働き(機能)をもつ表現を含む用例と、リスニング問題

Think and Express! A: 図絵の内容を自分で思考・判断し、表現する活動

右ページ ▶ **Think and Express! B**: 対話などの内容を要約して伝える活動

リスニング問題→ディクテーション(空所補充形式の書き取り)→リテリング(自分のことばで要約する活動)

Express Yourself!: モデル文などを参考に対話を行い、グループワークでやり取り・発表を行う活動

Express Your Opinion: 題材に関連したトピックについて意見を述べる活動

● 3課おきに **Express Your Opinion** のヒントと、**Writing** (email など)の練習を補足。

Part 3 について

Part 3 では presentation, discussion, debate といった、比較的高度な言語活動を学習します。情報や考えをまとめて発表する、グループで多様な意見を述べ合うなど、より総合的なコミュニケーションを行う力を身につけましょう。

Express It Logically について

本課3-4レッスンごとに、パラグラフの構成法や、図表の読み取り・表現、要約文の作成など、論理的な英語表現を行ううえでの留意点をまとめています。

● pp. 5~7の「はじめに」では、英語表現力を効果的に身につけるための注意点を記していますので、ぜひ読んでみてください。また、「和製英語」などのコラムも、英語表現の幅を広げることに役だつでしょう。

A Log in a Barbershop

「4 技能の統合的演習」の中で、文法のポイントを確認できます



モデル文リスニング・発音判定、Pt.1 主要例文リスニング、ポイント解説 pdf、復習問題・解答 pdf

本文を聞

① There **used to** be a barbershop at that corner.
 ② I **would** often go there with my brother. ③ There was an old dog there. ④ When we went to the shop, the dog always barked loudly. ⑤ It **must have been** very shy, or it **may just have been** happy to see us.

- ① 以前～があった
- ② よく～したものだ
- ③ ～だったにちがいない／～ただけかもしれない

INPUT: モデル文
各課で学ぶべきポイントを含んだ英語の文章(モデル文)。学習者に身近な題材を取り上げています

Listen and Answer *The writer of the passage is a boy.

- (1) _____
 (2) He thinks _____

INTAKE: Listen and Answer
モデル文に関するリスニング問題(文章に関する音声での質問)。内容や文法事項の定着を図ります

Read Aloud ▶Work in pairs. Grade each other's reading. (⇒ p.8)

① Fluency	② Pronunciation	③ Attitude	Total

INTAKE: Read Aloud
文章の音読練習。書き手の気持ちになって、相手に伝えることを意識させる活動です。教科書 p.8 に掲載したルーブリックを用いて、学習者間評価を行えます

Tips for Expression

- 現在と対比して客観的に「以前は～だった」という場合は〈used to ~〉で表します(→①)。また、過去のことを思い起こして主観的に「～したものだ」という場合は〈would ~〉で表します(→②)。would often[sometimes] ~ の形もよく見られます。
- 過去のことについて、現在の時点で「～だった[した]にちがいない／～だった[した]かもしれない」と推量する場合は、〈must/may+have+過去分詞〉の形を用います(→⑤)。そのほか、〈should/can't+have+過去分詞〉「～すべきだったのに／～だった[した]はずがない」にも注意しよう。

INTAKE: Tips for Expression
モデル文中の文法ポイントの解説。文法項目の整理

Let's Check It! 4 *各文を完成させて、実際に使う状況を思い浮かべながら言ってみよう。

- (1) Emily () () () I _____
 (2) We () often () cicadas are _____
 (3) Tom has arrived early. He () () _____
 (4) I know this story. I () () () it on TV.
 (5) The movie has already begun. I () () () the time.

INTAKE: Let's Check It!
ポイントとなる文法事項に対しての基本問題(5~6問程度) ◆空所補充問題などの形式で、より解答しやすくなりました

PART 1 — 英語で論理的に正しく表現するための基礎を確実にする 16 レッスン [確認しておくべきだった]

各課の到達目標を Can-do statement (能力記述文) の形で示しています

- Can-do
- 表現 過去の状態や習慣、過去についての
 - 話し 過去の身の回りの状況や思い出などについて、英語で表現できる。

Activity

A () 内の語を正しく並べかえて、完成した文を言ってみよう。

- (to, used, my brother, be) quiet when he _____
- We (often, dinner, would, eat) at that restaurant _____
- I saw the photos of your trip. That (fun, was, I, had) _____
- It's already past eight, so Ms. Oka (may, home, left, have) _____
- I (bought, have, the concert tickets, should) _____ before they all sold out.
- I (that, shouldn't, said, have) _____ to Mark. He's feeling very low.
- Sakura (the train, can't, missed, have) _____ . She left home thirty minutes ago.

INTAKE: Activity [A]
文法事項を定着させる問題(語形変化、整序、書きかえなど) ◆intake(定着)の部分をより充実させました。

B イラストの内容を表すように空所を埋めて、完成した文を言ってみよう。
* (1) は used to, (2) は would, (3) は must, (4) は may を使ってみよう。



- (1) There _____
 (2) I _____
 (3) I can't find my commuter pass. I _____
 (4) Sam looks sad. He _____

OUTPUT: Activity [B]
絵や写真(状況)を見て適切な表現を考えさせる問題(文字情報を介さず「思考して表現する」演習) ◆「英語表現」時代から好評の演習です。

Interact and Produce ▶「やり取り・発表」を行ってみよう。

- 1 Listen to the dialog and fill in the blanks. OUTPUT: Interact and Produce
 Spoken Interaction (話す[やりとり]) と Spoken Production (話す[発表]) を組み合わせた活動
 Grace: Look at this ad. The shop _____
 Tetsu: Really? I () to go _____
 Grace: I bought these shoes last Saturday. _____
 Tetsu: That's too (). But at least you got them before they () out.
 Grace: True. Shopping isn't always ().

- 2 Play the roles of Grace and Tetsu in pairs. (Then switch roles.)
 3 Make a dialog of your own similar to the one in 1. T _____
 or a group. ◆ →より発展的な言語活動へ展開!

Let's Use It! 2 (p.21)



Lesson 3 My Dear Friend

Think and Express!

1 Listen to the passage and answer the following questions. *The speaker is a boy.

(1) What did Mr. Okano do for the speaker?

(2) What sort of person is Mr. Okano?

(3) Why has the speaker been practicing judo?

2 Listen to the passage again and write down the key words.

OUTPUT : Think and Express!

①モデル文とは異なる文章の音声を聞いて、それに関する内容確認問題を解く → ②再度音声を聞いて、キーワードを書きとる → ③キーワードを用いてイラストをヒントにリテリングを行う、という活動です。ディクトグロスにも活用可能です

3 Look at the pictures and retell the passage, using the words written above.

(You do not have to reproduce the passage exactly.)



You can refer to the passage on p. 27 if necessary.

Express Yourself!

*次の話題について表現し、発表してみよう。

1 Write a passage of a few sentences about one of your classmates.

S Let me tell you about.... / be good at / know a lot about / cheerful / calm

OUTPUT : Express Yourself!

[1] モデル文などを参考に、自分に関する文章を書く → [2] ペアで音読し、その内容に関して質疑応答を行う。「書く」「話す」「発表・やり取り」を統合的に育成する演習です

読み直し

2 Work in pairs. ① Student A will read aloud the passage to student B. B can take notes about what A says. ② B will ask questions or make comments about A's passage. (Then switch roles.)



Lesson 4 A Dog in a Barbershop

Think and Express!

1 Listen to the passage and answer the following questions. *The speaker is a girl.

(1) When did the speaker meet Daisy?

(2) What would the speaker often do?

(3) Why does the speaker think she should not have fed Daisy so much fish?

2 Listen to the passage again and write down the key words.

3 Look at the pictures and retell the passage, using the words written above.

(You do not have to reproduce the passage exactly.)



You can refer to the passage on p. 27 if necessary.

Express Yourself!

*次の話題について表現し、発表してみよう。

1 Write a passage of a few sentences about your elementary school days.

S When I was.... / park / friend / play / read / catch fish[insects] / innocent

読み直し

2 Work in pairs. ① Student A will read aloud the passage to student B. B can take notes about what A says. ② B will ask questions or make comments about A's passage. (Then switch roles.)

論理的文章構成の要点をまとめました (パラグラフ・ライティング)。パラグラフの構成・展開法、エッセイ・ライティング (複数パラグラフでのライティング) を学習することで、段階的に「書く」活動の内容を充実させていきます
 ※実際には見開き 2 ページ構成となります
 [パラグラフ・ライティング③]

パラグラフの「展開」を工

1 比較・対照による展開

代表的なパラグラフの展開パターンを紹介

比較・対照 (Comparison and Contrast) のパラグラフ展開法では、2つ以上のものを比較して、類似点や相違点を挙げて説明します。事例を比較・対照することによって、主題文で述べることをより明確に伝えることができます。

Ex.) There are differences between how Japanese and Americans celebrate the New Year. In Japan, most people eat soba on December 31st, and this symbolizes the transition to the New Year. The first three days of January are holidays, and Japanese people typically enjoy traditional dishes called “osechi” and visit shrines or temples. **In contrast**, many people in the U.S. go to New Year’s Eve parties and shout “Happy New Year!” at midnight. Typically, Americans stay home on January 1st and return to work on January 2nd.

Japan	The U.S.
<ul style="list-style-type: none"> ・ eating soba on December 31st ・ enjoying “osechi” and visiting shrines or temples ・ having the first three days of January off 	<ul style="list-style-type: none"> ・ going to New Year’s Eve parties ・ staying home on January 1st ・ returning to work on January 2nd

◆ 比較・対照を示す表現

while, however, although; on the other hand, on the contrary, in contrast
 (相違点を示す語句) different, difference, differ from; unlike; 比較級など
 (類似点を示す語句) similar, similarity; have ~ in common; like, alike

* 文脈に沿うように、()内に適切な語を入れてみよう。 学習事項の定着を図る練習

At first it might seem that rugby football and American football are similar sports, but they are actually very () () each other. In fact, the two sports have very little in common. A rugby team has () () on each side, while an American football team has eleven players. () American football, players should not throw the ball forward in rugby games. Also, American football players wear sturdy* protective gear, which () () do not. (*がんじょうな)

2 原因と結果による展開

原因と結果 (Cause and Effect) のパラグラフ展開法は、物事の因果関係を述べるもので、説明文によく用いられます。「原因→結果」の順で展開する場合もあれば、「結果→原因」の順に述べる場合もあります。

図表を用いた問題など、Express It Logicallyの学習事項を活用する activity が充実。「資格・検定試験」の問題に通じる内容となっています

1 The table below shows the percentages of people in two age groups who watched various kinds of sporting events on TV or the internet in 2023. Explain the contents of the table, comparing the two age groups.

(参考: スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」令和5年)

Rank	Age 50-59 (%)	Age 20-29 (%)
1	Professional Baseball 48.7	(Did not watch sporting events) 40.4
2	High School Baseball 33.6	Professional Baseball 35.8
3	Soccer (Japan National Team) 33.1	High School Baseball 24.7
4	(Did not watch sporting events) 32.2	Soccer (Japan National Team) 23.0
5	Marathon / Ekiden 25.1	Volleyball 19.1
6	Volleyball 23.9	Basketball 13.2
7	Rugby 21.3	Soccer (J-League) 10.4
8	Basketball 17.8	Marathon / Ekiden 9.9
9	Skating / Ice Hockey 15.4	Soccer (Overseas Leagues) 8.8
10	Grand Sumo 14.9	Rugby 7.7

→ 読み直し

学習ポイントを使って文章を論理的に構成する練習。書いた内容を読み直す習慣をつけるチェック欄付き

2 Describe the situation shown in the pictures. (Speak impromptu.)



3 Suppose your class ran a juice stand at the school festival and it was very successful. Write a passage about this in which you tell why the stand was successful. Begin with the following sentence:

Our juice stand was a great success. _____

→ 読み直し

What's Your Favorite Dish?

「4 技能の統合的演習」の中で、英語表現上のコミュニケーション機能（言語の動き）を学習

モデル文リスニング・発音判定, Expressions リスニング・発音判定, Think and Express! B リスニング, Pt.2 全主要例文リスニング, 確認問題・復習問題・解答 pdf

Model

Rika: Bob, you prefer Western food to Japanese food, don't you?
Bob: Actually, no. I prefer Japanese food.
Rika: Oh, do you? What's your favorite Japanese food?
Bob: I'm a big fan of sushi. I often go to sushi restaurants with my family.
Rika: Really? I'm also fond of sushi. Let's go and eat sushi together someday.

① 好き嫌いを述べる

prefer A (to B)

INPUT: モデル文
各課で学習する機能表現を含むモデル文で、dialog・speech などさまざまな種類の英文を取り扱っています。また、リスニング問題で内容確認が可能です

(～が大好きです)

be fond of ~

(～が好きです)

🎧 **Listening Quiz** 1. T・F 2. T・F 3. T・F

Expressions for < Likes and Dislikes >

- I prefer apples to oranges.
- Sashimi is my favorite dish.
- Mr. Brown is a big fan of omelets.
- I'm fond of Korean food.
- I don't much care for cheese.
- Ann dislikes[hates] green peppers.

- INPUT: Expressions
モデル文で扱った機能表現に類する表現を、例文を用いて補足しています
- アンはピーマンが苦手【大嫌い】です。
 - 私は韓国料理が好きです。
 - チーズはあまり好きではありません。
 - 私は韓国料理が好きです。
 - チーズはあまり好きではありません。
 - アンはピーマンが苦手【大嫌い】です。

Note 5 の care for は、通例 否定文・疑問文などで用いられる

INTAKE~OUTPUT: Think and Express! A
図絵の内容を自分で思考・判断し、各課の学習ポイントを適切に活用する練習です

Think and Express! A

Look at the pictures and express your likes or dislikes about the foods they show. Each comment should be more than ten words in length.

Ex. Chocolate cookies are my favorite sweets. I bake them at home once a month.



- _____
- _____
- _____

PART 2 — 多様な機能・場面に応じた表現を習得する 12 レッスン

Can-do: 機能: 英語で好き嫌いを述べるができる。 機能: 自分の好きな物について英語で表現できる。

Think and Express! B

🎧 ① Listen to the dialog between Paul and Karen and answer the following questions.

(1) What is Karen's favorite food?

(2) What does Paul dislike?

OUTPUT: Think and Express! B

①モデル文とは異なる対話文等を音声で聞いて、それに関する内容確認問題を解く → ②再度対話文等を聞いて、ディクテーション、対話練習を行う → [Retelling] 対話文等を要約して、自分のことばで第三者に伝えるように文章を作る、という活動です

🗣️ ② Listen again and fill in the blanks. Then, play the roles of Paul and Karen.

Paul: What's your () food, Karen?

Karen: I love sushi. Especially, I'm a big () of ikura. How about you?

Paul: I like hamburgers. I () I could eat them every day. Are there any foods you ()?

5 Karen: None that I strongly dislike. But I don't much () for natto.

Paul: Myself, I like natto. I () shiitake mushrooms, though.



Retelling Summarize the dialog.

Paul and Karen are talking about ① _____.

Karen ② _____, while Paul ③ _____.

Karen doesn't much ④ _____.

Paul ⑤ _____ but ⑥ _____.

Express Yourself!

※相手の意見に共感・同意する表現なども、積極的に使ってみよう (→ p.98).

1 Work in pairs. Make a dialog about a food you like or dislike.

5 rich / plain / texture / go well with

◆ As preparation, you can write ()

OUTPUT: Express Yourself!

[1] モデル文などを参考に、ペアで対話を行う → [2] ペアでの対話を他のペアに発表し、その内容に関してグループで質疑応答を行う。さらに Express Your Opinion で、自分の意見と理由を話す練習を行う。「話す【発表・やり取り】」技能をさらに伸長させる活動です

🗣️ 2 Work in groups. Students A and B will show their dialog to students C and D. C and D will ask questions or make comments about it. (Then switch roles.)



Express Your Opinion

▶ Do you like cooking? Why or why not?



本文を聞く

図表の内容について伝達してみよう (1)

日常生活やプレゼンテーションの場面では、図表を用いたコミュニケーションもよく見られます。ここでは実際の状況を想定しながら、自分の考えが効果的に伝わるように、理路整然とした内容の文章を書く練習をしてみましょう。

問題演習中心で、適宜用例や解説を補足しています

1 ポスターや広告について伝達してみよう

- (1) You find the advertisement on the right. Write an email in which you invite your friend to take a trial lesson with you.
- (2) You want some more information. Write an email to the address on the advertisement, or to Mr. Harris, in which you ask two questions about the content.

Boxing Fitness
EAST NORTON
Boxing Gym
Turn Fat into FIT!
FREE Trial Lesson!

- ❖ Free Equipment ❖ Large Parking Lot
- ❖ Self-Defense Lessons also available!
- ★ Three-minute walk from Norton Station

For more information, please email
 Davy.Harris@sevenstars_plow.com

FLEA MARKET
&
LIVE MUSIC

Sat., Oct. 25 - Sun., Oct. 26
10 AM - 4 PM
West Park

★ WE ARE LOOKING FOR
VENDORS AND MUSICIANS.
 If you are interested, please email
 Lauren.Brown@FMLM_united.com

- (1) You find the advertisement on the left. Write an email in which you invite your friend to go to this event with you.
- (2) You want some more information about the event. Write an email to the planner, Ms. Brown, in which you ask two questions about the event.

Hint (1) 友人宛ての E メールは、Hi, ~, などで始めて、Regards, (よろしく) や Let me know. (連絡をください) のあとに自分の名前を書いて締めくくる。(2) 広告主への問い合わせは、Dear Mr./Ms. ~, のあとに I'm writing to ask you a few questions about ~. と Eメールの主旨を書き、具体的な質問を記して、I look forward to hearing from you. (連絡をお待ちしています) など + Thank you, (よろしくお願ひします) + 自分の名前前で締めくくる。

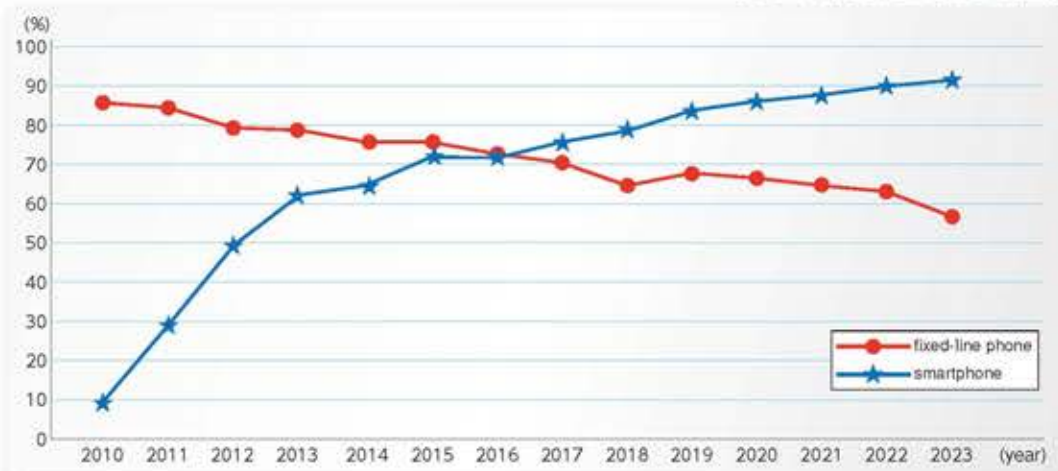
インタビュー、サマリー・ライティング、図表の内容の伝達活動など、さまざまな形式の「書く」「話す(発表・やり取り)」の活動を扱います。実践的な内容で、資格・検定試験の練習としても活用できます

2 グラフについて述べてみよう

▶ Write a short essay about each chart. Summarize the information and add what you think about it.

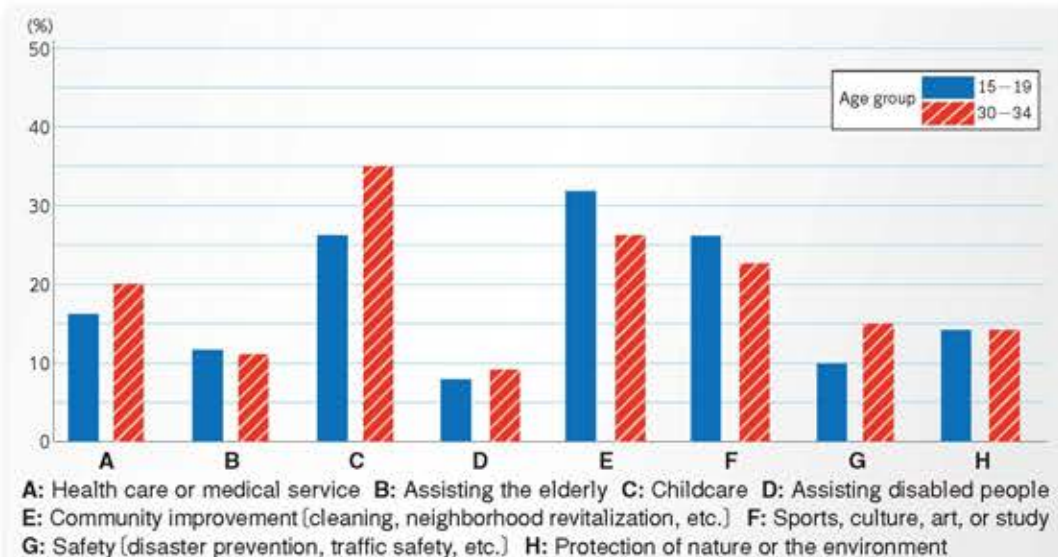
1 Percentage of families owning fixed-line phones and smartphones

(参考: 総務省「通信利用動向調査」)



2 Percentage of volunteer workers doing different types of volunteer activities in 2021

(参考: 総務省「社会生活基本調査」令和3年)



Hint まず The chart shows... と概要を述べて、グラフが示すいくつかの特徴を要約して記す。自分の意見としては、過去の事実に関する発見や、今後の予想、改善すべき点などを述べるとよい。種々のプレゼンテーションにおいても、図表を活用してみよう (→p.124)。

S increase / decrease / sharply / rapidly / gradually / slowly / remain flat[at the same level] / go up[down] from A to B / X percent of ~ / twice[X times] as large as ~ / one third of ~ / by two times[half, X percentage points]



プレゼンテーション(3課)・ディスカッション(2課)・ディベート(2課)に関し、見開き2ページごとに「解説～Let's Practice!(実戦練習)」の構成をとっています。グループワークなどを行うことで、アクティブ・ラーニングに活用できます

このレッスンでは、presentation をより効果的にするために、多くの聞き手に内容を理解してもらえるように、以下の点に気をつけて発表しましょう。

1 発表に役立つ表現をうまく使おう

presentation を行うときは、次のような表現をうまく使うと、話し手は自分の考えをまとめやすくなり、また聞き手も話される内容を予測することができ、理解しやすくなります。

a	導入	<ul style="list-style-type: none"> Do you know/like ~? (~を知っていますか/～は好きですか) Today I'd like to talk[tell you] about ~. (今日は～について発表したいと思います)
b	例示	<ul style="list-style-type: none"> For example[instance], ~. (例えば～) To illustrate this point, ~. (この点の例として、～)
c	列挙	<ul style="list-style-type: none"> First, ~. Second, ~. Third, ~. Finally[Last], ~. (第一に～. 第二に～. 第三に～. 最後に～) First of all, ~. Then, ~. Next, ~. Finally[Last], ~. (まず最初に～. それから～. 次に～. 最後に～)
d	話題の転換	<ul style="list-style-type: none"> So far I've talked about ~. (ここまでは～について話しました) Now we'll move on to ~. (では次に～の話に移ります)
e	詳述	<ul style="list-style-type: none"> Let's find out why/how ~. (なぜ/どのように～か、みていきましょう) Let me go into detail[say a little more] about ~. (~について、詳しく[もう少し]述べたいと思います)
f	結論	<ul style="list-style-type: none"> In conclusion, ~. (結論として～) In summary, ~. (要約すると～)

前ページの原稿でも、上記の表現などを用いて、発表の構成・展開をわかりやすくしています。

2 写真・図や、統計資料を活用しよう

presentation においては、写真や図、あるいは統計資料(グラフ・表など)を適切に用いることで、聞き手の注意を引いて、理解を深めることが可能となります。例えば、おでんの具材の「練り物」を留学生などに紹介する場合、steamed fish paste という説明に加えて、スライドなどで写真を提示すれば、それが何を指しているのかをより具体的に理解してもらうことができます。



(p.124)

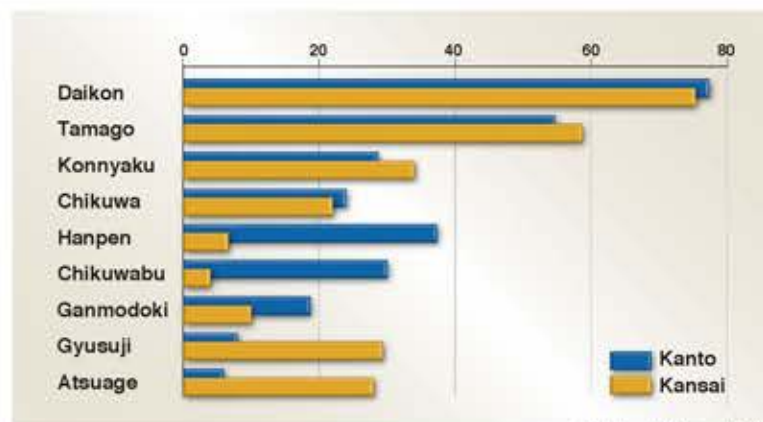
発展的な言語活動(プレゼンテーション、ディスカッション、ディベート)を学習する7レッスン

Can-do

- 発表において、聞き手に理解しやすい表現や、写真・図、統計資料を活用できる。
- ジェスチャーなどを用いて、生き生きと発表することができる。

また、おでんの具材の地域性を詳しく述べるならば、以下のような比較資料を用いるとよいでしょう。

Let me say a little more about the regional differences in the ingredients of *oden*. This is a chart showing the popularity of *oden* ingredients in different areas. A hundred people living in the Kanto area and another hundred living in the Kansai area were asked to name their three favorite *oden* ingredients. Their answers are summarized in this chart. The upper four items show similar numbers for both areas, but *hanpen*, *chikuwabu*, and *ganmodoki* are more favored in Kanto. Conversely, *gyusuji* and *atsuage* are more popular in Kansai.



[資料: 当社にて作成]



3 生き生きと発表するように心がけよう

効果的な発表をするためには、eye contact や body language (ジェスチャーなど)が重要です。原稿を棒読みするのではなく、聞き手に目を向けて、一人一人に話しかけるように、大きな声ではっきりと発表しましょう。また、適宜ジェスチャーを用いて、presentation をより生き生きとしたものにしましょう。背筋を伸ばし、リラックスした姿勢・にこやかな表情で話すことも大切です。

Presentation のポイント(まとめ)

- ① 伝えたい情報は明確か。
- ② 導入・本論・まとめの展開は適切か。
- ③ 発表の表現はうまく用いられているか。
- ④ 文法・語法・単語は正しいか。
- ⑤ 理解を深める資料はあるか。
- ⑥ 発声(音量・速さなど)は適切か。
- ⑦ eye contact, body language は適宜用いられているか。

Let's Practice!

Collect materials such as pictures or charts for the manuscript you made in **Let's Practice!** on p. 123. Make a presentation in class. (p.125)

Part 1, 2 で学んだ文法・表現の索引です。

【あ・い】

□～をほんとうにありがとう
Thank you very much for ~ 110

□～していただきありがとうございます
I'm grateful to you for ~ 110

□言いたいことはわかる
I see what you mean 82

□いいですよ。That's OK / No problem. 112

□以前は～だった used to ~ 18

□～が好き～だ be my favorite ~ 78

□～だった(した)と言われている
be said to have + 過去分詞 34

□～だと言われている。It is said that ~ 28

□いわゆる what we(you, they) call / what is called 60

【う・お】

□～してうれしい be glad ~ / be pleased [happy] to ~ / be delighted that ~ 110

□～と同じくらい～である as ~ as ... 46

□お願いがあるんだけど
Can [Will] you do me a favor? 102

□～だと思える I think ~ 114

□～をお詫言しなければなりません
I have to apologize to you for ~ 112

【か】

□～する価値がある be worth ~ing 36

□～に～かどうかを尋ねる ask ... if ~ 68

□かまいません
Not at all / It's nothing. 104, 112

□～しようと考えている
be thinking of ~ing 90

□～に感謝する appreciate ~ 110

□～に～のことで感謝する
be grateful to ... for ~ 110

【き】

□～であると感じた など
noticed など + that + 過去(動詞の一致) 68

□気にしないでください Don't worry. 112

□～することに決める decide to ~ 90

【け・こ】

□～する計画を立てている
be planning to ~ 90

□原則として賛成だ I agree in principle 82

□～に心から感謝いたします
I really appreciate ~ 110

□個人的には personally 114

【さ】

□～に～させる
let[make, have] + ... + 動詞の原形 30

□さらに～なことには
what is + 比較級 60

□～される be 動詞 + 過去分詞 28

□～を～される have + ... + 過去分詞 44

□～されること being + 過去分詞 26

□～に賛成する(賛成である)
agree with ~ / be in favor of ~ 82

【し】

□～したい want/would like to ~ 80

□～したい気分だ feel like ~ing 26, 80

□～した(こと) having + 過去分詞 36

□(今までに)～したことがある
have + 過去分詞 16

□～したものだ would ~ 18

□～していた was/were ~ing 10

□～していただけないでしょうか
I wonder if you could ~ 102

□～していただけませんか
Could I ~ 102

□～している
I would ~ 102

□～している
happy [be] ~ing 102

□～している
watch [be] ~ing 102

□(今)も
have + 現在分詞 102

□あなたに
I suggest ~ 102

表現別さくいんにより、表現したいフレーズを日本語から調べなおすことが可能です

Punctuation (句読法)

1 period (ピリオド) [.]

■ 平叙文の文末: Emma and I are good friends.

■ 英語の省略記号: the U.K. (=United Kingdom)

Tip 英語が文末にきた場合は、ピリオドを置換する必要はありません。
My uncle went to the U.S. (cf. Did your uncle go to the U.S.?)

Tip 文中の省略は [...] (three dots) で表します。これが平叙文の文末にくる場合はそのあとにピリオドをつけるので、[...] のように4つの点が並びます。

2 question mark (疑問符) [?]

■ 疑問文の文末:
Have you ever visited Tokyo Skytree?

Tip 平叙文などの文末につけて疑問を表す場合もあります。
Tim ate five hamburgers? / Me?

3 exclamation mark (感嘆符) [!]

■ 強い感情を込めた文の文末:
What a nice doll! / You did it! / Good luck!

4 comma (コンマ) [,]

■ 節の区切り: I was tired, but I kept working.
If it rains, they won't go out.

■ 語句の並列: I bought bread, cheese, and bananas.

Tip 上例のように、3つ以上の語句を並列するとき、接続詞 and の前のコンマは省略される場合もあります。

■ 挿入地の前後: Mr. Brown is, so to speak, a walking dictionary.

■ 同格の語句の前後: Ms. Noda, the principal of our school, returned from London yesterday.

■ 数字の3けたごとの区切り: 1,234,567

5 semicolon (セミコロン) [;]

■ 対比される節などの接続:
Some like baseball; others like soccer.

Tip 上例は Some like baseball, and others like soccer. と表せます。

■ コンマよりも大きな区切り: They held concerts in Mumbai, India; Seoul, South Korea; and Saitama, Japan.

6 colon (コロン) [:]

■ 具体例や補足説明の提示:
Tom invited five people: Bill, Rob, Angela, Cindy, and Madison. / Conditions were severe: the temperature was 10 degrees below freezing.

□～する価値がある be worth ~ing 36

□～に～かどうかを尋ねる ask ... if ~ 68

□かまいません
Not at all / It's nothing. 104, 112

□～しようと考えている
be thinking of ~ing 90

□～に感謝する appreciate ~ 110

□～に～のことで感謝する
be grateful to ... for ~ 110

【き】

□～であると感じた など
noticed など + that + 過去(動詞の一致) 68

□気にしないでください Don't worry. 112

□～することに決める decide to ~ 90

前見返しでは「手紙・メールの書き方」
後見返しでは「英語の句読法 (Punctuation)」
を習得することができます

◆教材配当表: 各課 1~2 時間で学習。定期考査や下記以外のページの時間を含めて、年間 70 時間の想定。

課	タイトル (学習事項)	課	タイトル (学習事項)
はじめにー英語表現力を効果的に身につけるには		PART 2 機能シラバス	
PART 1 文法シラバス		1	What's Your Favorite Dish? (好き嫌いを述べる)
1	School Festival (現在・過去/進行形)	2	Uniforms or Casual Clothes? (希望・欲求を述べる)
2	A Trip to Sapporo (未来表現)	3	Project Studies Program (賛成する, 反対する)
3	My Dear Friend (現在完了/進行形)	EL5	インタビューを行ってみよう
4	A Dog in a Barbershop (助動詞)	4	A Guitar Concert (勧誘・招待する, 期待を述べる)
C	リスニング, スピーキングにおける注意点	5	Studying Abroad (計画・意図を述べる)
EL1	パラグラフの「型」を意識しよう	6	What Should I Do? (提案する, 助言する)
5	Japanese Food (受け身)	EL6	サマリー・ライティング
6	Volunteer Activities (不定詞①)	C	politeness (ポライトネス) を考えよう
7	A Stage Actor (不定詞②)	7	A Korean Drama (程度・譲歩を述べる)
8	I Like Singing (動名詞)	8	Going Bird Watching (依頼する・要請する)
EL2	パラグラフの「展開」を工夫しよう (1)	9	Meeting the Deadline (許可を求める)
9	Cycling (分詞)	EL7	図表の内容について伝達してみよう (1)
10	My New Hiking Boots (比較①)	10	Friendship Festival (感謝する, 喜ぶ)
11	The Yangtze River (比較②)	11	Returning a Magazine (謝罪する・謝罪に応じる)
12	My Sister's Job (関係詞①)	12	What Is Your Opinion? (個人的な意見を述べる)
EL3	パラグラフの「展開」を工夫しよう (2)	EL8	図表の内容について伝達してみよう (2)
13	In Kansas City (関係詞②)	PART 3 発展的言語活動 (プレゼンテーションなど)	
14	Dreaming of Space (仮定法①)	1	Making a Manuscript
15	An Android like You (仮定法②)	2	Making Your Presentation More Effective
16	I Left My Handkerchief (時制の一致・話法)	3	Being an Active Listener
EL4	英語でエッセイを書いてみよう	4	Having a Discussion
C	和製英語	5	Speaking in Order
* はじめに: 表現力養成の留意事項をまとめた導入ページ。 * C: Column / EL: Express It Logically * PART 1 の 2 課ごとに Let's Use It! (思考・判断・表現の力を高める演習) を掲載 * PART 2 の 3 課ごとに, Tips for Express Your Opinion, Writing (email などの自由英作文) を掲載 * 前後見返しには「英文手紙・Eメールの書き方」「句読法における留意点」を掲載		6	Thinking Logically and from Different Angles
		7	Sharpening Your Thinking Ability
		Useful Expressions / Index	



Suken AIナビ

教科書に対する生徒一人一人の疑問を解決！
AIを活用した「新しい学習サポート」



特長 1 “文法・単語について聞く”



手軽に文法・単語の理解を深める

学習中の紙面内容に関連する文法や単語について、より詳しい解説を確認できます。
ちょっとした疑問も、いつでも・すぐに・納得がいくまで何度でも質問できます。

特長 2 “英文チェッカー”



手軽に英文チェック

英文を入力して送信すると、つづりのミスや文法・語法の誤りをチェックできます。
※入力には語数制限があります。



「Suken AI ナビ」は教授資料付属！（追加費用なし）

※令和8年度発行教科書より対応。
商品の写真は最新バージョンのものの一部異なる場合があります。掲載されている仕様は予告なしに変更することがあります。

英作文オンライン添削（有料）

『論理・表現』教科書掲載の英作文課題のオンライン添削に対応！

NEW! ※改訂版・新刊『論理・表現Ⅱ』にも来春（4月）対応予定！

英作文オンライン添削の特徴：

1. 1題から添削申込が可能！必要な回数だけ申込が可能です。
2. 添削・解説は、以下の4パターンから選択可能。

- ①英語 添削のみ
- ②英語 添削+解説付き
- ③日本語 添削のみ
- ④日本語 添削+解説付き

- ・英文は1文単位で添削されます。
- ・「添削のみ」の場合は、添削者からのコメントが日本語か英語となります。
- ・音声入力、手書き文字の読み取り入力も可能。添削結果のダウンロード(PDFファイル)も可能です。
- ・迅速なフィードバック：英作文提出後平均24~48時間（※繁忙期は2~4日の場合もあり）。
- 3. 生徒が提出した英文・提出状況・添削内容は、先生も確認可能です。
- ・お申込み内容の有効期限は1年間：次年度にわたってのご利用にも対応いたします。

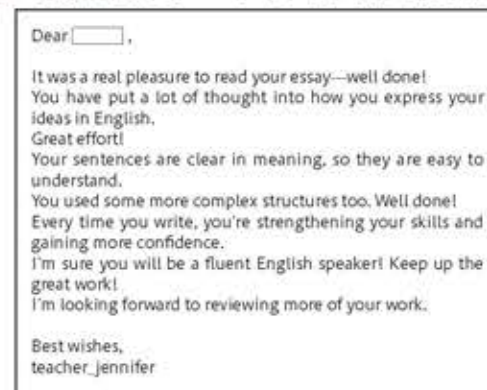
対応教科書・ご利用価格例：（添削パターンによって料金が異なります。詳細はHPをご覧ください）

教科書	冊数	全題での料金（税込）				1題当たりの料金（税込）			
		①英語 添削のみ	②英語 添削+解説付き	③日本語 添削のみ	④日本語 添削+解説付き	①英語 添削のみ	②英語 添削+解説付き	③日本語 添削のみ	④日本語 添削+解説付き
EARTHRISE English Logic and Expression II Advanced	20	¥4,180	¥8,360	¥8,360	¥16,720	¥209	¥418	¥418	¥836
EARTHRISE English Logic and Expression II Standard	19	¥3,553	¥7,106	¥7,106	¥14,212	¥187	¥374	¥374	¥748
BIG DIPPER English Logic and Expression II	16	¥2,640	¥5,280	¥5,280	¥10,560	¥165	¥330	¥330	¥660
EARTHRISE English Logic and Expression II Advanced	24	¥6,600	¥13,200	¥13,200	¥26,400	¥275	¥550	¥550	¥1,100
EARTHRISE English Logic and Expression II Standard	25	¥4,950	¥9,900	¥9,900	¥19,800	¥198	¥396	¥396	¥792
〈改訂版・新刊〉									
Revised EARTHRISE English Logic and Expression I Advanced	15	¥2,640	¥5,280	¥5,280	¥10,560	¥176	¥352	¥352	¥704
Revised EARTHRISE English Logic and Expression I Standard	15	¥2,145	¥4,290	¥4,290	¥8,580	¥143	¥286	¥286	¥572
EARTHRISE English Logic and Expression I Essential	14	¥2,310	¥4,620	¥4,620	¥9,240	¥165	¥330	¥330	¥660
Revised BIG DIPPER English Logic and Expression I	18	¥1,980	¥3,960	¥3,960	¥7,920	¥110	¥220	¥220	¥440

POINT 最後に講師から激励のコメントも添えられるため、英語学習のモチベーションアップにも繋がります。



▲添削の例 ①英語 添削のみ



▲講師からの激励コメント

※「英作文オンライン添削」は数研出版発行の検定教科書「論理・表現」ご採用校のみご利用いただけます。
※「英作文オンライン添削」は株式会社ルーティングシステムズに委託しております。

Examples of Teaching Procedures

DVD-ROM

Teaching Procedureは、本来、各学校・クラス・講座の状況や実態に合わせて創造的に工夫されるべきものであろう。また、同一クラス・講座でも、生徒集団の変化に応じて軌道修正も必要になるはずである。それらの点を踏まえ、授業の進め方のマスタープランを参考に、以下は、その参考にしていただくためのものである。

Part 1 Lesson 6

教授資料の
詳細はこちら！



- ※ 1. 文法事項の解説は、基本的に日本語で行うこととする。
2. 英語での発話例について、◆で示しておく。([Name]は教科書の人物名とする。)

指導手順案

授業展開のサンプル

→「英語で授業」に対応するように、
英語の発話例を充実させていま
す！

		Time	Total Time
1	Roll call and small talk 1. small talk の例は、本書 p.68 を参照。また、教師が自分の趣味について話してもよい。 2. 教師が話すだけでなく、生徒に ◆ What is your favorite pastime? / What is your hobby? などと尋ね、その応答に対して、教師または他の生徒から質問させることも考えたい。その場合は、即興でのやり取りを行うことになる。	3	3
2	Explanation of the grammatical points 注：ハンドアウト・配付による説明も可（*TM 付属 DVD-ROM に収録） B.E.5 未来を表す will 1. 例文①② に関し、〈will + 動詞の原形〉の形と文の意味を確認する。 ① 未来の予測・自然の成り行き ② 意志 2. 必要に応じて、疑問・否定の形を説明する。また、when, if, until[till] など、時や条件を表す接続詞に導かれる節の中では、未来のことを表す場合でも、現在形を用いることに注意させてもよい。Ex) I'll stay here until you <i>finish</i> your homework.	3	6
3	Let's Check It! 1. Let's Check It! 5 を解答させる。 ◆ Now, try the <i>Let's Check It!</i> questions. Fill in the blanks to match the Japanese in brackets. ... [Name], what's the answer to question number one? ... Good. "I think it will rain soon" is a good answer. ※ (1)(2) は例文①を、(3) は例文②を参照させる。(1) は「黒い雲が見える」という状況から空所の内容を類推させてもよい。また、(2) probably(おそらく)は確信度が高い点、(3) too は否定的な「[重すぎて運べない]という」含みがある点について解説する。 2. 生徒の解答を確認したあと、モデルとなる英文を提示して音読させる。英文は棒読みにならないように、実際に使う状況を意識して、意思や感情を込めて読むことに留意させる。1) 教科書を開いて、2) 教科書を閉じて、3) 文末からフレーズ読みをさせて最後は全文を暗唱するなど、いくつかの音読パターンを組み合わせた活動を行いたい。 ◆ 1) Now let's go on to the reading practice. Repeat after me with the textbook open. 2) Next, close your textbooks and repeat after me once again. 3) Now keep your books closed and repeat after me again. This time I'll read each sentence slowly, starting with just a short phrase, and adding on a few words each time. 注：3) は "practice → the reading practice → go on to the reading practice → Now let's go on to the reading practice." のように、小さなユニットからコロケーションを発展させて英文を構築していく方法を音読で体感させるやり方。英語（フレーズ）を保持し、復唱することにより、定着を図ることが可能となる。これは expansion drill	6	12

A Sample Teaching Procedure for an ALT

DVD-ROM

Part 2

Lesson 5

※別冊 Teacher's Book に Part 2 各課の A Sample Teaching Procedure を掲載しています。

		Time	Total Time
1	Roll call ◆ Good morning everyone. Is anybody absent today? ... Well, let's begin.	1	1
2	Collecting the assignment for the previous lesson (cf. 9) ◆ Hand in the assignment for the previous lesson. Pass the worksheets forward. ... Thank you.	1	2
3	Listen and Answer 1. Have some students answer the questions in <i>Listen and Answer</i> . ◆ Now let's begin Lesson 5. Open your textbooks to p.108. Listen to the dialog and answer each question. ◆ Now, let's check your answers. What's the answer to question 1? [Name], please tell us your answer. ... Good! The answer is "a lot of homework." ◆ Question 2. Before checking the answer, let's see which process of cooking each picture shows? [Name], could you describe what is shown in picture (1)? Please answer in English. Ans. (1) peeling a potato (2) cutting a potato (3) mashing a potato Note: If a student seems unable to answer in English, have them answer in Japanese. ◆ Why don't you answer in Japanese, then? ◆ What's the answer to question 2? Great. The answer is (1). Mark's mother said she wanted him to peel some vegetables. ◆ Next, what's the answer to question 3? Very good. When he heard his mother was making beef stew, he said, "Fantastic! I love beef stew," so the answer is "beef stew." 2. Ask students about the vocabulary from <i>Listen and Answer</i> . ◆ Now, let's make sure of the vocabulary in the dialog of <i>Listen and Answer</i> . First, "peel." Repeat after me. "peel some potatoes" What else do we peel? "peel an apple" "peel an orange" "peel a banana" Next, "beef stew." Be careful about the pronunciation of "stew." Repeat. "stew"	7	9
4	Expressions 1. Have students practice the dialogs. ◆ Now, let's practice the dialogs in <i>Expressions</i> . Repeat after me. 2. Have students work in pairs. ◆ First get into pairs and then play the roles of A and B. 3. Have students present the dialogs. ◆ Now, let's watch dialog ① as a presentation. Any volunteers? / No? OK, how about [Name] and [Name], please? ※ Have students present dialogs ② and ③ in the same way. ◆ Next, let's make your own dialogs by changing the underlined parts. Practice the dialogs you have made. ◆ Now, let's watch an original dialog as a presentation. Any volunteers? / How about [Name] and [Name], please?	8	17

ALT 用指導手順案

「英語で授業」にも活用可能なサンプル
→ Teacher's Book および付属
DVD-ROM に、Part 2 全課分
を収録！



本課の目標: 以下の用法を習得する。

- ① 助動詞 should, must (助言・義務・必要)の用法
 - ▶ have to (義務・必要), must not[mustn't] (禁止), do not[don't] have to (不必要)の用法
- ② (may[must] + have + 過去分詞) (過去に関する推量), (should + have + 過去分詞) (過去に関する後悔など)の用法
 - ▶ (can't[cannot] + have + 過去分詞) (過去に関する否定的推量)の用法

観点別評価のポイント DVD-ROM

- ① 知識・技能
 - a. 英語で「助言・義務」「必要・不必要」「禁止」「過去に関する推量・後悔など」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。
 - b. 身近な人に対して提案や必要などを伝えたり、また、身近な人の過去の行動・状況などを推測したりして、コミュニケーションを図る技能を身につけている。
 - c. ポイントとなる助動詞の用法のほかに、exhibition, enter the staff room, have a cold, museum exhibit などの語彙や表現を習得している。
- ② 思考・判断・表現
 - a. 適切な場面において、should, must, have to を用いて「助言・義務・必要」の意味を表現したり、must

not[mustn't] を用いて「禁止」の意味を、don't have to を用いて「不必要」の意味を表現したりする。

b. 適切な場面において、may[must, can't] + have + 過去分詞を用いて「過去に関する推量」の意味を表現したり、should + have + 過去分詞を用いて「過去に関する後悔」の意味を表現したりする。

c. 「助言・義務」「必要・不必要」「禁止」「過去に関する推量・後悔など」に注意して、個々の英文の内容を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。

Part 1 左ページ解説 ①

本課の目標、観点別評価のポイント、中学での学習状況、small talk など
→ 導入部分からしっかりサポート!

中学での学習状況

- ① should は概ね中2用の教科書で扱われるが、各課の主要文法事項ではなく、比較的軽い扱いとなっている場合が多い。must との意味の差など、細かい語法は理解されていない可能性が高い。
- ② must, have to は概ね中2で学習する。表現活動の課も含めて、各課の主要ポイントとして扱われることが多い。これらの否定表現 (mustn't [禁止], don't have to [不必要]) で、混乱する生徒が多い。
- ③ (助動詞 + have + 過去分詞) の用法は、中学では学習していない。完了形不定詞などと同様、概念として理解が難しい項目である。

◆ Small Talk

Yesterday morning when I met Mr. Hosoda, I said to him, "I'm going to visit the municipal museum with Kate tomorrow. If you have time, will you join us?" He replied that he'd love to. But when we met him in the afternoon, he said, "I've just remembered that I have to prepare the vocabulary quiz for next week." I said, "That's OK. Your work is more important. But why not join us after you've finished making the exam?" He said he would, and we made an appointment to meet at the ticket office at 1:30.

学習事項の解説 CD II-10~11

- ① should, must, have to の用法 pp.106, 109
 - (a) should は「～するといいい、～すべきである」のように「助言・義務」を表す。「～すべきである」という日本語は比較的強く響くが、must [義務・必要]

ほどの意味の強さはない。

Should is not as strong as must or have to: You should apologise. (=it would be a good thing to do) You must apologise. / You have to apologise. (=you have no alternative) <Murphy (2019: 66)> なお、shouldn't は「～するのはよくない、～すべきではない」と否定的助言 [義務] を表す。また、should と ought to はほぼ同義であり、しばしば交換可能である。<Swan (2016: 76.1)>

(b) must は「～しなければならない」と強い必要性を表す。have to は概ね must と同様な意味となる。

1. have to/hæftə/, has to/hæstə/ の発音に注意。
2. 過去を表す場合(→▶)や、他の助動詞と併用する場合は、have to を用いて表現する。 You will have to pay extra fees. (追加料金を支払わなければならないだろう)
3. must は話し手が課す主観的な義務を表し、have to は外的要因による客観的義務を表す。と区別される場合がある (特に BrE)。
4. Must I ~? は聞き手の主観的必要性を尋ねる疑問文となる (In questions, we use must to ask about what the hearer thinks is necessary. <Swan (2016: 73)>). ほぼ同様な意味で Do I have to ~? が用いられるが、こちらのほうが頻度が高いのは、客観性が高く直載な印象が避けられるためであろう。

(c) 否定形の must not[mustn't] (～してはいけない) は禁止 (obligation not to do) を、do not [don't] have to (～する必要はない) は不必要 (no obligation to do) を表す。

Let's Check It! ⑪ 解説

◆ Now, try the Let's Check It! questions. Fill in the blanks to match the Japanese in brackets.

(1)(2) 主要例文①②を参照。①「勧めるとき」は、「見たほうがいいよ」という意味で、「助言」を表す should を用いる。②「強く勧めるとき」は「見ないといけないよ」という意味で must を用いる。

(3) 「禁止」を表す must not[mustn't] を用いる。空所の数から、短縮形 mustn't を用いる場合は、残り2語を go[come, get] in(to) とする。enter は他動詞なので、enter the staff room となる点に注意。

学習事項の解説 CD II-12~13

- ⑫ <助動詞 + have + 過去分詞>の用法 pp.117-118

- (a) 学習者には、まず最初に当該の助動詞の意味を確認しておく。B.E.⑩、⑪ を適宜参照させる。 must: ~にちがいない / may: ~かもしれない can't: ~のはずがない / should: ~すべきだ
- (b) 後続する原形の部分が (have + 過去分詞) になると、must, may, can't は過去の出来事に関する推量、should は過去に実行されなかったことに対する後悔・非難などを表すこととなる。前者は「～する[である]にちがいない」が「～した[であった]にちがいない」などの意味になり、should は「～

Part 1 左ページ解説 ②

学習事項・演習問題の解答・解説
→ 的確な文法解説、演習時の英語の指示文など充実した内容!

Let's Check It! ⑫ 解説

- ◆ Now, try the Let's Check It! questions. Fill in the blanks to match the Japanese in brackets.
- (1) 「～かもしれない」の may に have + 過去分詞を続ける形。なお、Saya may have caught a cold とすると、Saya is still ill now の含意が生じ、日本語は「かぜをひいたのかもしれない」となる。
- (2) 「～にちがいない」の must に have + 過去分詞を続ける形。進行形の場合は、(have been doing) のように be が過去分詞となる。
- (3) 「～べきだ」の should に have + 過去分詞を続ける形。「[お金]をためる」は save を用いる。

Let's Check It! 解答例 DVD-ROM

- ⑪ (1) should see[watch] (2) must see[watch] (3) must not enter / mustn't go[get, come] in(to)
- ⑫ (1) may have had (2) must have been (3) should have saved

英文の和訳例 DVD-ROM

- ⑪ Notes
 - ▶ 昨日は早く起きなければいけなかった。
- ⑫ Let's Check It!
 - (1) この映画はいいね。見たほうがいいよ。
 - (2) この映画は素晴らしい。見ないといけないよ。
 - (3) 今日は職員室に入ってはいけません。

※ p.89 に続く。

Activity

1. (1) 内の語のうちより適切なほうを選んで、適切な文を完成させてみよう。
(1) (2) (3) (4) → (5) (6) (7) → (8) (9)

(1) We (should / shouldn't) read that book. Many people recommend it.
(2) When you play sports, you (must / mustn't) follow the rules.
(3) You (mustn't / don't have to) tell him everything. It's your choice.
(4) I (must / had to) go to the dentist after school yesterday.
(5) I can't find my pencil case. I (must / should) have left it at home.
(6) Kana (may / can't) have said such a terrible thing. She's a very nice girl.
(7) I overslept. I (can't / should) have set the alarm.

2. 写真・イラストの内容を表すように空欄を埋めて、適切な文を完成させてみよう。
(1) (2) → (3) (4) → (5) (6) → (7) (8)

(1) We (hurry) (hurry) The meeting will begin soon.
(2) You () the museum exhibits.
(3) Bob hasn't arrived yet. He () the bus.
(4) I () more believe the concert.

Express Yourself! (2) 上の問題について意見し、3行話しなさい。
▶ Tell what happened and give your conclusion.

1. John said he wanted to read the magazine, so he may have bought a copy. I had a very bad score on the exam. I should have studied harder.

2. A: John said he wanted to read the magazine, so he may have bought a copy.
B: I think so, too. He is very interested in Japanese pop. ▶ 状況を述べ、意見を述べなさい。

Part 9 33

活動の解答例 DVD-ROM

A (1) should (2) must (3) don't have to (4) had to (5) must (6) can't (7) should

B (1) must[have to, should] hurry (2) mustn't[shouldn't] touch (3) may[must] have missed (4) should have practiced

EY Risa said she wanted to go to the library, so she may have been there. Tom had been swimming for about two hours, so he must have been satisfied. I made a serious mistake at the piano contest. I should have practiced the piano harder.

Activity 解説 @CD II-14~15

A (1) 第2文の「たくさんの人が勧めている」という状況から「読むべきだ、読んだほうがいい」という意味を表現する。recommend/rekəmənd/ (～を勧める、推薦する)の意味に注意。(2)when節の「スポーツをするときは」に合致させる。follow/fɑ:ləu/は「～に従う」の意味。(3)第2文の It's your choice. (あなたが決めることです)に合うのは don't have to [不必要]となる。mustn't [禁止]では文脈に合わない。choice

/tʃɔɪs/ は「選択権」などの意味。The choice is yours. という表現もある。また、not ~ everything (すべてを～するわけではない) [部分否定]の意味に注意。

cf. You don't have to tell him anything. (何も言わなくていい) [全部否定]

- (4)文末の yesterday に注意。過去を表す場合は had to を用いる。dentist/déntíst/は「歯医者」。
- (5)第1文の「見つからない」という状況から、「家に置いてきたにちがいない」と過去の推量を表現する。must have done は certainty about the past を、should have done は unfulfilled past obligations を表す。<Swan (2016: 69.4, 76.2)>
- (6)第1文の a terrible thing と、第2文の a very nice girl という相反する内容から、否定の推量を表す can't を選択する。
- (7)第1文の overslept という状況を招かないようにするため、「目覚ましをかけておくべきだった」という意味を表すように should を選ぶ。overslept /'óvəslépt/は oversleep/'óvəslíp/ (寝過ごす)の過去形 [なお、sleep over は「[子どもが他人の家に]泊まる」 (=stay the night at sb else's home)の過去分詞で

Part 1 右ページ解説 ①

各活動の解答例、文法・語法解説

→ 各小問について、文法・語彙などを詳細に説明しています!

- (1)「急がなければならない」という状況から「急がなければならない」という者の心的態度を表現する。hurry/há:ri/を用いて「急ぐ」を表す。hurry/há:ri/は「急ぐ」という外的要因によることが含意される場合がある。
- (2)「(美術館で) 展示品に触れてはいけない」という文脈から、「禁止」を表す mustn't, または shouldn't を用いる。exhibit/ígzíbit/= something, for example a painting, that is put in a public place so that people can go to see it: All exhibits are listed in the catalogue. <LED>
- (3)ボブがまだ到着していない状況から、過去のことに関し「～だった [した] かもしれない [にちがいない]」と推量する (may[must]+have+過去分詞) を用いる。
- (4)コンサートでうまく演奏できなかった様子から、過去のことに関し「～すべきだったのに」と後悔を表す (should+have+過去分詞) を用いる。

Express Yourself / 解説 @CD II-16

① 過去に関する推量や後悔の表現を用いる。生徒の日常に即した状況で、自由に考えさせる。以下に、例

をいくつか挙げておく。生徒の習熟度などにより、ヒントとして与えてもよい。

- 1. 「過去に関する推量」の用例
 - may have gone home (家に帰ったかもしれない)
 - may have changed her smartphone (スマホを変えたのかもしれない)
 - may have left my commuter pass at home (家に定期券を忘れたのかもしれない)
 - must have rained during the night (夜の間に雨が降ったにちがいない)
 - must have left home (家を出たにちがいない)
 - must have bought the PC (そのパソコンを買ったにちがいない)
 - 2. 「過去に関する後悔」の用例
 - should have gone to bed earlier (もっと早く寝ておくべきだった)
 - should have taken an earlier train (もっと早い電車に乗っておくべきだった)
 - should have taken medicine (薬を飲んでおくべきだった)
 - should have taken the attendance (出席をとっておくべきだった)
- ② 「過去の推量」に関しては、EX. で示したように、賛成(または不賛成)とその理由を述べるなどする。「過去に対する後悔」については、相手の過失に対して、It's okay to make mistakes. You'll do even better next time! [励まし] や、It happens to all of us, but you really need to manage your time better. [共感と忠告] などと応答することが考えられる。

英文の和訳例 DVD-ROM

Notes ▶ サムは昨晚私たちといっしょにいたので、あなたが彼を車で見かけたはずはありません。

Let's Check It!

- (1) サヤはかぜをひいていたのかもしれない。
- (2) エリは電話に出なかった。眠っていたにちがいない。
- (3) これまでにもっとお金をためておくべきだった。

Activity

A (1) 私たちはその本を読んだほうがいい。たくさんの人が勧めている。(2) スポーツをするときは、ルールに従わなければいけません。(3) 彼にすべてのことを話す必要はありません。それは

- あなたが決めることです。
- (4) 昨日の放課後は歯医者に行かなければならなかった。
- (5) ペンケースが見当たらない。家に忘れてきたにちがいない。
- (6) カナがそんなひどいことを言ったはずがない。とてもいい子だから。
- (7) 寝過ごしてしまった。目覚ましをかけておくべきだった。

B

- (1) 急がないと(いけない)。もうすぐ会議が始まるよ。
- (2) 美術館の展示品に触ってはいけません。
- (3) ボブはまだ到着していません。彼はバスに乗り遅れたのかもしれない [にちがいない]。
- (4) コンサートの前にもっと練習すべきだった。

EY ▶ 何が起きたかを話し、結論を言いなさい。

- ① ジョンはその雑誌を読みたいと言っていたから、1冊買ったかもしれない。

Part 1 右ページ解説 ②

活動の展開事例・語句解説、英文和訳例、補充問題

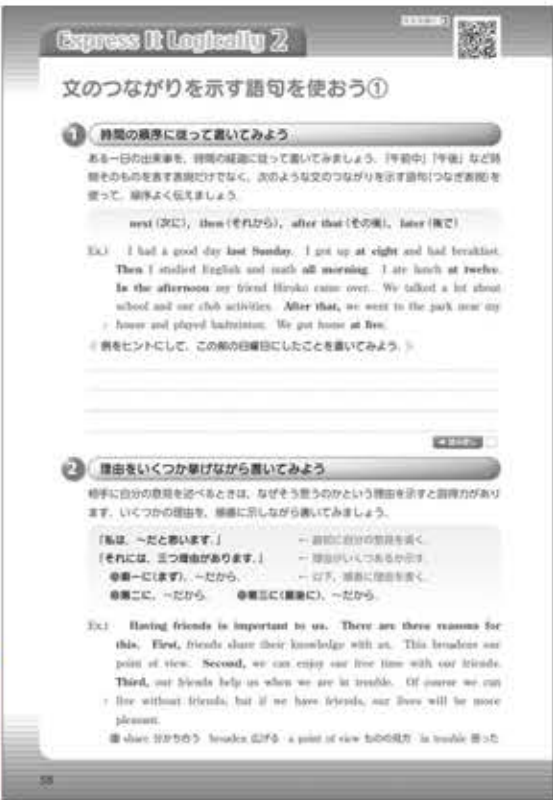
→ 表現活動のヒントとなる別解・補充問題を豊富にご用意!

◆ 補充問題 次の文を英語に直しなさい。 DVD-ROM

- (1) 君は彼のアドバイスに従う (follow) ほうがよいです。
- (2) 私たちは交通ルール (traffic rules) を守る (obey) べきです。
- (3) 君は明日までにレポートを提出し (hand in) なければなりません。
- (4) あなたは約束を破ってはいけません。
- (5) 私たちは電車の中で携帯電話を使用してはいけません。
- (6) 今日、この仕事をしなければなりませんか。—いいえ、その必要はありません。

【解答例】

- (1) You should follow his advice.
- (2) We should obey traffic rules.
- (3) You must hand in your paper [essay, report] by tomorrow.
- (4) You mustn't [must not] break your promise.
- (5) We mustn't [must not] use our cell phones on (the) trains.
- (6) Do I have to [Must I] do this work today? —No, you don't have to.



1 解説

(a) 本課では、パラグラフの展開 (development) について取り上げる。学習指導要領解説には、指導上の配慮事項として、「つながりを示す語句を適切に用いて、論理の展開が明確な文章を書いたりすることができるように指導する必要がある」と記載されている。それぞれのパラグラフの展開に見られる特徴的な表現を理解し、それを実際に活用するように指導することが肝要である。

(b) ①では「時間の順序」(time[chronological] order) のパラグラフ展開法を扱う。これは「時間」を展開の軸として、順を追って事象を述べていくもので、物語文、日記などを書くうえで不可欠な手法である。物事を順序立てて記していくための「つなぎ語」を用い、各文の一貫性が高まるように文章が記される。

(c) 「つなぎ語」としては、解説部分に挙げた next などの順序を明示する語句がある。このほか、例文中に示されている last Sunday, at eight なども、時間という視点で前後の内容をつなぐ役割を果たしている。文章は常に実際の時間順で示されるとは限らないので、物語文などを読み書きするうえで、これらの語句に十分に注意を払う必要がある。

(d) なお、「つなぎ語」は linking words や signal words (シグナルワード、合図語) と呼ばれる。また、

その一部は discourse marker (談話標識) と呼ばれることもある。

1. last Sunday 前置詞が不要であることを確認する。this week, that day なども同様。ただし、that は前置詞 on を伴う場合もある。
2. all morning 「午前中ずっと」 <all+時間を表す名詞> で副詞句になる。この名詞は「短すぎる [長すぎる] 時間」では不可。よって all year[week, day, night, summer] は可だが、×all minute, all decade[century] は不可である。all hour も不自然とされる。(『英語基本形容詞・副詞辞典』p.81)
3. come over 「[話し手の家に] やって来る」
4. after that 「それから、その後」順を追って物事を述べるときに、比較的よく用いられるフレーズ。
5. badminton/bædmɪn/ 「バドミントン」最初にこのゲームが行われた。イギリス Gloucestershire 州にある Duke of Beaufort の領地の名前に由来する。(『英語語源辞典』)

【解答例】 DVD-ROM

I had a good day last Sunday. I got up at seven thirty and had breakfast. I cleaned my room from nine to ten, and then I watched a DVD of a Korean drama till around eleven thirty. I ate lunch at twelve. In the afternoon I went shopping at the department store with my mother. She bought me a nice bag. After that, I came back home and watched TV with my family.

2 解説

(a) ②では「主張と理由づけ」(claim and reasoning [opinion and reason]) の展開法を扱う。説明文(主張文・意見文)における典型的なパラグラフ展開の手法で、冒頭で top sentence として自分の意見・主張する内容を述べ、その理由づけをする。理由づけは複数の理由を挙げ、その理由づけは列挙の表現 (First, ... Second, ... など) を用いると、読み手に対して明快な伝達が可能となる (ただし、これらの表現を日常の話題に関するエッセイなどに多用すると、あまりに形式的な印象を与えかねないので、その点には注意する必要がある)。

(c) 複数の理由を述べる場合、2つの理由の場合は、第一義的な理由を(主張に近い位置において)最初に述べ、

Express It Logically 解説 ①

学習事項の概要説明、語句解説・解答例

→ パラグラフ・ライティング (Part 1), プレゼンテーション (Part 2) への理解を深めます!

べ、その後第2の理由を補足するのがよい。3つ以上の理由があるときには、基本的には重要度に応じて理由を列挙すればよいが、主張を効果的に伝達するため、最後の部分に重要と考えられる理由を置くこともありえる。

(d) なお、例文に関し、最後にまとめ文 (concluding sentence) が置かれている。これは、主題文の内容を反復して補強したり、少し違う角度から主題について述べたりすることで、文章全体を総括するような働きをもつ文となる。

2. share ~ with ... 「～を…で分かち合う、共有する」
The little girl shared her toys with her friend. (おもちゃを友だちといっしょに使った) <NHD>
2. knowledge/ná:hdʒ/ 「知識」 発音注意。
= understanding of or information about a subject that you get by experience or study, either known by one person or by people generally: Her knowledge of English grammar is very extensive. / He has a limited knowledge of French. / The details of the scandal are now common knowledge (=familiar to most people). <CALD>
2. broaden/brɔ:dn/ 「広げる」 broad/brɔ:d/ (広い) の動詞形。oaの発音に注意。
= to make s.t. wider or larger: Workers broadened the road. / She broadened her knowledge of accounting by taking more courses. <NHD>
3. point of view 「ものの見方」 = viewpoint. ここで単数形となっているのは、「個々の (1つの) 見解が広がっていく」ことを示唆するため (ネイティブのコメントによる)。
4. in trouble 「困った、困っている」ここでは "in a situation with a lot of problems" <LDOCE> の意味で用いられているが、「[処罰される、怒りを買うようなことをして] やっかいな [めんどうな] ことになる」といった意味にもなる。
I think I'm in trouble with Dad. <LDOCE>
- 4-5. Of course ~, but.... 「もちろん～だが、…である」譲歩の構文で、友人をもたない生活というのも一応は認めようとして、「やはり…である」と but 以下の内容を主張する表現方法である。主題の内容をやや違うことばで再度述べている。
6. pleasant/plézn̩t/ 「(人にとって) 楽しい、心地よい」 pleased (([人が] 喜んでいる、気に入っている、うれしい) と混同しないように注意。

【解答例】 DVD-ROM

I think that English is important in our lives.



There are three reasons for this. First, we can use English to talk with people from other countries. Second, we can use English to get information from the internet. Third, we can understand notices and explanations written in English when we go abroad. So I think knowing English is a must these days.

3 解説

(a) ③では「例証」(illustration) のパラグラフ展開法を扱う。主題文で述べられた一般論・抽象論を、適切な具体例により支持して、パラグラフをまとめていく手法である。

Express It Logically 解説 ②

学習事項の概要説明、語句解説・解答例

→ 文法・語彙などを詳細に説明しています!

目的で具体例を用いることで、読者の理解度を高めることができる。また、客観的で具体的な例を用いることで、高い論文等であれば、信頼できる source からの情報 (統計データ) の引用などが効果的である。ただし、教科書に掲載した例では、自分の家族の嗜好を引き合いに出すなど、それほど堅い文章にはなっていない。このような場合には、読み手を意識して、あまりに無味乾燥なものとならないように、第4文の She is a good cook.... などを挿話的に記すのもよい。

(d)つなぎ語としては、解説で挙げた for example [instance] が代表的である。比較的堅い話題を扱う論説文などでは、The first example is..., Another example is.... などの表現もつなぎ語として使用される。また、such as, like などの表現は、主題文を支持するものとはかぎらず、支持文の内容をさらに詳細に、具体的に説明する際にも用いられる語である。

1. **different foods** ここでは「さまざまな種類の食べ物」を表現しているため、可算名詞(複数形)扱い。cf. We ate a lot of food. (多くの量の食べ物)

1. **for example/igzæmpl/** 「例えば」 You use for example to introduce and emphasize something which shows that something is true: Take, for example, the simple sentence: 'The man climbed up the hill'. <COBUILD¹⁰>

2. **such as** 「～のような」 He collects musical instruments, such as trumpets and guitars. <NHD⁵>

3. **recipe/rétsipi/** 「レシピ、調理法」 発音注意。古くは「処方箋」の意味であったが、それが転じて「調理法」の意味に定着した。さらには以下のような「原因」の She said the recipe for disaster was skiing. がスキーをす

4. **pasta/pá:sta** れも不可算名詞扱いである [cf. 次の hamburgers, sandwiches は可算名詞となっている]。

5. **delicious/dlɪʃəs/** 「とてもおいしい」 アクセント注意。=having a very pleasant taste or smell <OALD¹⁰> と、もともと very を含意しているため、very による修飾はあまりない。

5. **quickly/kwɪkli/** 「すばやく」 ちなみに quick の原義は「生き生きとした、活発な (alive, animated <ODE³>)」である。

[解答例] DVD-ROM

Different people like different fruit. For example, my father likes peaches. My mother likes summer fruits, such as watermelon and grapes. My brother does not like fruit very much. He eats sweet cakes, senbei, and so on. But he drinks orange juice every morning.

[Let's write more] DVD-ROM

①②③で学習した内容を参考に文章を書く練習を行う。

1. I was born in Midori-machi in 2010. I entered Sakura Preschool in 2014. When I was in preschool, I liked trains very much. In 2017, I entered Sumire Elementary School. I began playing baseball in 2020, and I have been playing it ever since. In 2023, I entered Ayame Junior High School. I practiced baseball very hard every day, and when I was in the third grade, our team competed in the semifinals in the prefectural tournament. I did not study very much in junior high school, but I began to study harder when I entered this school in 2026. Now I enjoy my high school life with my friends.

2. I think Daigo is a good captain for our team. There are three reasons for this. First, he is the best player of us all. Second, he is a very diligent person and always practices hard. Third, he is good at cheering us up. I believe Daigo is the best person to pull us together.

3. Different people like different animals. For example, my friend Kayoko likes small dogs, like chihuahuas and miniature dachshunds. Another friend, Takeshi, likes large dogs. I like cats, actually. I have two cats in my house. They are quiet and cute.

英文の和訳例 DVD-ROM

① 先週の日曜日はいい1日を過ごしました。8時に起床して朝食を食べました。それから午前中ずっと英語と数学を勉強しました。12時に昼食を食べました。午後、友人のヒロコが家に来ました。私たちは学校やクラブ活動についてたくさん話をしました。その後、家の近くの公園に行ってバドミントンをしました。5時に家に帰りました。

② 友人をもつことは私たちにとって大切です。これには3つ理由があります。第一に、お互いの知識を分かち合えます。このことでものの見方が広がります。第二に、自由な時間をいっしょに楽しめます。第三に、困ったときに友人は助けてくれます。もちろん、友人なしでも生きられますが、友人をもっていれば、私たちの人生はより楽しいものになるでしょう。

③ 人の食べ物の好みはさまざまである[さまざまな人々がさまざまな食べ物を好む]。例えば、父はラーメンやギョーザのような中華料理が好きだ。母は日

本食が好きだ。母は料理がじょうずでレシピがたくさんある。姉はパスタやピザのようなイタリア料理が好きだ。私はハンバーガーやサンドイッチが好きだ。とてもおいしくて、とても早く食べられるからだ。

Further Activities 2 DVD-ROM

CD III-4-8

① 旅行や遠足の経験について、40語以上の短い文章を書きなさい。next, then, after that, later などの時間順を示す語句を使いなさい。

* 身近な経験を素材として、時間順のパラグラフ展開を活用する問題である。いつ旅行に行き、その行程はどうだったかを時間順に述べるようにする。

・ **excursion/ɪkskɜːrʒən/** 「小旅行、遠足」 = a short journey arranged so that a group of people can visit a place, especially while they are on holiday. <LDOCE⁵>

② 次の絵が示す物語を、ペアの相手に話しなさい。時間順を表す語句を使いなさい。

* 資格・検定試験でも出題がある形式の、4コマ漫画で表現される状況を描写する問題である。時間順を示す語句を用いて、以下の内容について起承転結を明確に記すことが肝要である。

- ① 同じ電車に乗っていた紳士が帽子を忘れたことに気づいた。
- ② 帽子を持って電車を降りた。
- ③ 帽子を紳士に渡し、紳士から感謝された。
- ④ 電車のドアが閉まったときに、自分のカバンを忘れたことに気づいた。

・ **the story shown in** 「～に示される物語」 shown ... は L15 で学習した過去分詞句の後置修飾である。show は「～を示す」の意味。Mike needed a copy of the will to show that the books had been left to him. <LED>

③ 次の質問に答えなさい。first, second, third や also のような語句を使って、2つか3つの理由を述べなさい。40語以上の長さで解答を書くこと。

- (a) 外国語を学ぶことは重要だと思いますか。
- (b) ソーシャルメディアはニュースを得るのによい方法だと思いますか。

* まず自分の意見を I think... / I do not think... と示す。これを主題文として、first, also などの語で理由を表す指示文を列挙していく。「40語以上」の指定があるので、例えば、以下のような構成で、



- ① I think / don't think....
 - ② I have two reasons for saying this.
 - ③ First, ... [理由と具体例]
 - ④ Also, ... [理由と具体例]
- 4～6 文程度の文章にまとめる。

・ **in length/lɛŋθ/** 「長さで」 length は long の名詞形。cf. strong (強い) > strength (強さ) cf. at length (長々と、詳細に) = in great detail and taking a long time: She talked at length about her work in hospitals. <OID²>

・ **social media** 「ソーシャルメディア、SNS」 Social media refers to websites and computer programs that make communication possible with the use of computers or mobile phones. Social media can take the singular or plural form of the verb: Politicians are increasingly using social media to spread their message across.

Express It Logically 解説 ④

Further Activities の概要説明、解答例 → 資格・検定試験への対応のヒントも掲載!

ことわざを説明しなさい。「～」ということわざがあります。これは～を意味します。例えば、～。

教授資料・付属データ




教授資料・付属データ

Lesson 9 Exchange Students

Listen and Answer

Listen to the speech by an exchange student from Thailand and answer questions 1-3.

1 What does the speaker's nickname mean?

(1)  (2)  (3) 

2 Who is visiting Japan now?

3 What did the speaker do at Kinkakuji Temple?

—She

Expressions

Work in pairs. Practice the following dialogues.

1 A: You seem busy today.
B: Yeah, I'm so busy that I didn't have time for lunch.
A: You should eat something, or you'll damage your health.

2 A: Kim was kind enough to lend me an umbrella.
B: She always tries to be helpful.
A: Yes, she is really a good person.

3 A: This curry is too hot to eat.
B: I thought you liked spicy food.
A: Well, it depends. This is too hot!

Make your own dialogues by changing the underlined parts. Practice the dialogue you have made and present them to the class.

b. そのほか、人の性格や特徴などを示す語句や、人を紹介する際の表現などを習得しようとしている。

中学での学習状況

- ① <so ~ that ...> の構文は6点中4点の教科書で扱われているが、多くはリーディングの課や補足部分での扱いなので、定着度合いは低いと考えられる。
- ② <~ enough to do> に関し、enough (十分な、十分に) という語は既ね教科書で取り上げられているが、to-不定詞と連動する構文を扱うのは1社のみである。発音も含め、丁寧に教える必要がある。
- ③ <too ~ to do> は1点の教科書にのみ扱いがある。この構文では too が否定的意味合いをもつことも含め、to-不定詞との関連を確実に理解させたい。

Small Talk

This year we have an exchange student from Thailand in Class B. Have you talked to her yet? Her nickname is Babe. She can't speak Japanese very well, but she speaks good English. Try talking to her in Japanese or in English. She wants to improve her Japanese and learn more about Japanese culture. She is very interested in Japanese anime, so maybe you could talk to her about that.

Listen and Answer 解答例

1 (2) ...parents are ... [es]

Part 2 左ページ解説 ①

本課の目標、観点別評価のポイント、中学での学習状況、small talk など
→ 導入部分からしっかりサポート!

CD V-2~4 Thai/tái/ は 「タイ人[語](の)」などの意味を表す。

音声スクリプト

Hi, everyone. My name is Nataya Chimnan, but please call me Ploy. This is a nickname given to me by my parents. It is a Thai word which means "jewel." People in Thailand call each other by their nicknames. My parents are visiting Japan now, and we have visited some cultural sights together. Last week we went to Kinkakuji Temple. My parents found the temple very different from those back in Thailand, but they enjoyed it very much. It was so beautiful that I ended up taking dozens of photos.

- **nickname** タイ人は生まれたときに nickname (chhw len チューレン) をつけてもらい、普段はその名で呼ぶことが多い。
- **call each other by their nicknames** 「お互いをニックネームで呼ぶ」 by (〜によって) は「手段」。Everybody called each other by their surnames. <COBUILD¹⁰>
- **cultural sights** 「文化的名所」 sight は複数形で famous or interesting places that tourists visit <LDOCE⁶> の意味を表す。
- **those back in Thailand** those は the temples を表す。前出の名詞の反復を避ける表現。back は副詞で、「元の場所に戻って、故郷で」の含意。back は in Thailand を修飾し、back in Thailand で those を形容詞的に修飾している。
- **end up ~ing** 「ついには〜することになる」 I ended up doing all the work myself. <OALD¹⁰>

Expressions 解説

CD V-5

- 1 so ~ that ... p.304
- (a) <so ~ that ...> は、「非常に〜なので… [結果], …であるほど〜 [程度]」の意味を表す。英文の情報構造から、that-節は(特に過去の内容の場合)主に「結果」を示すと考えてよいが、例えば本文の場合に「昼食をとれないほど忙しかった」と、「程度」を表すように解釈してもよい。
- (b) この構文のニュアンスとして、「ほかに選択肢がなく、自動的・必然的にそうせざるをえない」という内容が that 以下に用いられる。ネイティブによると、<so ~ that ...> is usually used when there is no choice or when the choice is to some degree compulsive, not easily controllable, automatic, or necessary. とのことである。
- (c) また、that-節では「ある程度極端な」内容が表され、<so+望ましくない語+that+否定的な内容> の場合が多く、<so+望ましい語+that+肯定的な内容> は「予想に反して、意外にも」の意味合いが強調される(『英語教育』(大修館)2021年8月号)。
- (d) so の後に副詞がくる例を補足しておく。
He spoke so fast that we couldn't understand him. (早口で話したので理解できなかった)
She ran so quickly that I couldn't catch her. (とても速く走ったので追いつけなかった)
- (e) 類似の構文に <such ~ that ...> がある。冠詞の位置に注意。〔第2例は such のあとに冠詞が不要な例〕

She was such a good runner that I couldn't catch her.

It was such nice weather that we went hiking.

- 2 ~ enough to do p.177
- (a) <~ enough to do> は、「…する [できる] ほど十分に〜 [程度], ~なので…する [できる] [結果]」の意味を表す。副詞の enough は、形容詞・副詞を後ろから修飾する。なお、kind enough to do は「親切にも…する」の意味となる。
- (b) 主語が不定詞の目的語となる場合、通例は不定詞の目的語は省略するが、不定詞の意味上の主語 <for A> を示す場合は、目的語を置くことがある。
The radio's small enough to put in your pocket. The radio was small enough for me to put (it) in my pocket. <Swan (2016: 450.5)>

3 too ~ to do p.177

Part 2 左ページ解説 ②

学習事項・演習問題の解答・解説・和訳例
→ 的確な機能表現・語句の解説; 自己表現のヒントをご用意!

- at lunch. に注意させる。
- (c) to-不定詞の前に意味上の主語を置く場合がある。
This curry is too hot for me to eat.

英文の和訳例

DVD-ROM

Listen and Answer

タイからの交換留学生のスピーチを聞いて、1~3の質問に答えなさい。

音声スクリプト

皆さん、こんにちは。私の名前はナタヤ・チムナンですが、プロイと呼んでください。これは両親が付けてくれたニックネームです。「宝石」を意味するタイのことばです。タイの人々はお互いをニックネームで呼びます。両親は今、日本を訪れていて、私たちは文化的名所をいっしょに観光しました。先週私たちは金閣寺に行きました。両親はタイのお寺とはずいぶん異なっていると思ったようでしたが、とても楽しんでいました。お寺は非常に美しかったので、私はたくさん写真を撮ってしまいました。

- 1 話し手のニックネームは何を意味しますか。
- 2 今、だれが日本を訪れていますか。
—話し手[ナタヤ・チムナン]の両親。
- 3 金閣寺で話し手は何をしましたか。
—彼女は何十枚もの[たくさんの]写真を撮った。

※ p.223 に続く。



Dialog ティクテーション解答 DVD-ROM

Dialog 解説 @CD V-6

- 1. Have you been to ~? 「~に行ったことがありますか」
2. delicious/dilifas/ この語には「とても」の意味が含まれているので very を併用しないことが多いが、really などと併用する場合がある。
3. busy 「(場所が)にぎやかな、混雑している」
4. amazingly/améizɪŋli/ 「驚くほど」
6. I guess 「(なんとなく、軽く)~だと思おう」

- or likely. <LDAE⁵> 口語的な表現。
I wasn't there, but I guess Mr. Radkin yelled at Jeannie. <LDAE⁵>
6. just too 「ちょっと~すぎる」
6. impatient/impéiənt/ 「我慢できない、気短な」
7. you could 「~できるよ、~してみたらどうだろう」
8. avoid 「~を避ける」
8. lunch crowd 「昼食時の人混み、お昼の混雑」

Part 2 右ページ解説 ①
各活動の解答例、文法・語法解説、内容把握の補充問題
→ 充実した語句解説：Comprehension で Dialog の内容理解を確認できます！

- <Comprehension>
1. Has Ken been to the ramen shop in Midori-machi?
2. When did Ken have lunch at the ramen shop?
3. How was the ramen at the shop?
4. Did Ken easily get a seat?
5. Is the ramen shop crowded?
6. What time is Meg supposed to go to the ramen shop next time?

Retelling 解説 @CD V-7

対話の要約としては、具体例や詳細説明などの比較的些末な部分(例えば Meg の 2 番目のセリフなど)を割愛することが肝要である。[本文82語→下例34語]

【要約文例】 DVD-ROM

Ken had lunch at the new ramen shop in Midori-machi. It was really delicious but the shop was very crowded[busy]. Ken suggested to Meg that she should arrive early to avoid the lunch crowd.

Further Activities 解説 @CD V-8

本課の話題に関連した活動である。例にならって下線部を表の情報に基づいて置き換えることによって紹介文が完成するようになっている。

- ・Toronto/torá:ntou/ カナダ南東部、オンタリオ湖岸にある都市。オンタリオ州の州都。
・Hanoi/hæni/ ベトナム北部にある、ベトナムの首都。Vietnam/viètnám/ の発音にも注意。
・Daegu/tégu/ 「大邱(テグ)」韓国南部の広域市、慶尚北道の道都。
・classical/klæsikl/ 「クラシックの」表中では music を省略した形で記載している。なお、通例 × classic music とは言わない点に注意。

【展開事例】

- 1. 設問に取り組みさせる。(適宜、語句等を説明する)
◆ Now let's go on to Further Activities. Break into pairs and introduce the exchange students in the chart to your partner.

<Model Answers>

- (Nancy) Let me introduce Nancy. She is from Toronto, Canada. Her hobbies are swimming and cycling. Her favorite kind of music is classical. She likes sukiyaki, but she doesn't like natto.
(Tuan) Let me introduce Tuan. He is from Hanoi, Vietnam. His hobbies are tennis and cooking. His favorite kind of music is pop. He likes sushi, but he doesn't like konnyaku.
(Sehi) Let me introduce Sehi. She is from Daegu, Korea. Her hobby is reading. Her favorite kind of music is jazz. She likes tempura, but she doesn't like umeboshi.
2. 時間があれば、パートナーについて同じような情報を得る活動をしてもらいたい。
◆ Now, ask your partner about the same things.
・Where are you from?

- ・What is your hobby?
・What is your favorite music?
・What Japanese foods do you like and dislike?

英文の和訳例 DVD-ROM

Expressions

- ① A: 今日忙しそうだね。
B: うん、とても忙しくて、昼食をとる時間がなかったよ。
A: 何か食べたほうがいいよ、そうしないと体を壊すよ。
② A: キムが親切にも傘を貸してくれたよ。
B: 彼女はいつも人の役にたつように心がけているよね。
A: うん、ほんとうにいい人だよ。
③ A: このカレーは辛すぎて食べられないな。
B: あなたは辛い食べ物が好きだと思ってたわ。
A: でも、程度によるよ。これは辛すぎるよ!

Dialog

アメリカからの交換留学生のメグが、ケンと話しています。
M: 緑町の新しいラーメン屋さんに行ったことがある?
K: うん、先週そこで昼ごはんを食べたよ。とてもおいしかったけど、店がすごく込んでいて席を確保するのが大変だった。

Part 2 右ページ解説 ②
各活動の解答例、語句解説、展開事例、和訳例、補充問題など
→ 活動の展開に沿った英語指示文・解答例を充実させています!

M: いい考えだね。次は11時半ごろに行ってみる。

Retelling

ケンが緑町の新しいラーメン屋で昼食をとった。とてもおいしかったが、店は大変混雑していた。ケンはメグに、昼時の混雑を避けるために早く行くのがいいだろうと提案した。

Further Activities

次の交換留学生の1人を友だちに紹介しなさい。
例) ベドロを紹介させてください。彼はブラジルのサントス出身です。趣味は映画鑑賞です。好きな音楽の種類はロックンロールです。彼は納豆がとても好きで、毎日食べます。たくあんは好きではありません。
Discussion あなたのクラスは、フィンランドからの交換留学生のマリカを受け入れます。彼女がここにいる間、あなたは彼女に何をあげますか。
※ Discussion のヒント、補充問題は DVD-ROM に収録。

教授資料・付属データ

CD II-74

Hobbies



Link



本文を聞く/音読練習/補充問題

B.E. 21 「～すること」(～ing)

pp.186~189

CD II-75

- My father's hobby is **taking** pictures. ▶ 父の趣味は写真を撮ることだ。
- I don't like **him taking** my picture. ▶ 彼が私の写真を撮るのは好きではない。

Notes

「～すること」は～ing(動名詞)でも表せます。～ingは前置詞の目的語にもなります。「…が～すること」という場合は、～ingの前に名詞・代名詞(目的格または所有格)を置きます。

- ▶ Would you mind **opening** the window? (～していただけますか)
窓を開けていただけますか。
- ▶ Would you mind **me opening** the window? (私が～してもかまいませんか)
私が窓を開けてもかまいませんか。
- ▶ 「～しないこと」: I'm sorry for **not coming** in time.
間に合うように来られなくてすみません。

CD II-76

Let's Check It! 21 *各文を完成させて、実際に使う状況を思い浮かべながら言ってみよう。

- My favorite pastime is (**walking**) (**with**) my dog. [イヌと散歩をすること]
私の大好きな気晴らしは、イヌと散歩をすることです。
- I don't like (**him**) (**telling(making)**) boring jokes. [彼がつまらない冗談を言うこと]
私は彼がつまらない冗談を言うことが好きではありません。
- Excuse me for (**not**) (**calling**) you back. [電話を折り返さなかったこと]
折り返し電話をせずにすみません。

B.E. 22 「～すること」(to ~と～ing)

pp.193, 194

CD II-77

- Meg **decided to jog** for her health. ▶ メグは健康のためジョギングすることにした。
- She **enjoys jogging** every morning. ▶ 彼女は毎朝ジョギングを楽しんでいる。

Notes

動詞によって、to ~が続く場合と～ingが続く場合があります。

- decide, hope, wish, plan, refuse**(拒否する)など → to ~
- enjoy, mind, finish, give up, stop, avoid**(避ける)など → ~ing

- ▶ I remember seeing Meg last month. (～したことを覚えている)
私は先月メグに会ったことを覚えている。
- ▶ Remember to see Meg tomorrow. (～することを覚えている, 忘れずに～する)
明日、メグに会うことを覚えていなさい(忘れずにメグに会いなさい)。

CD II-78

Let's Check It! 22 *各文を完成させて、実際に使う状況を思い浮かべながら言ってみよう。

- I (**planned**) (**to**) (**visit**) the park again. [訪れることを計画した]
私はその公園を再び訪れることを計画した。
- We (**enjoyed**) (**playing**) the game. It was great fun. [することを楽しんだ]
私たちはそのゲームをすることを楽しんだ。とても楽しかった。
- Remember (**to**) (**see(meet)**) Ms. Brown next Monday. [忘れず会うように]
来週の月曜日に、忘れずにブラウンさんに会うようにしてください。
- You should (**stop**) (**using**) your smartphone in bed at night. [使うのをやめる]
夜にベッドの中でスマートフォンを使うのをやめるべきだ。

Can-do

- 表現** 「～すること」などを英語で表現できる。
- 話題** 趣味やその他の日常の活動について、英語で表現できる。

CD II-79

Activity

A ()内の語を適切な形にして、完成した文を言ってみよう。

[(1)(2) → B.E. 21, (3)(4)(5)(6) → B.E. 22]

- Thank you for (**help**) me with my homework. (1) **helping**
宿題を手伝ってくれてありがとう。
- They insisted on (**I, run**) the relay race. (2) **me[my] running**
彼らは私にリレーに出るべきだと強く言った。
- Ally refused (**answer**) the question and kept silent. (3) **to answer**
アリーはその質問に答えることを拒否し、ずっと黙っていた。
- Are you free now? — No, I haven't finished (**study**) for the exam. (4) **studying**
今は暇ですか。いや、試験勉強が終わっていないんだ。
- The rain is getting heavier. We should give up (**go**) to the beach. (5) **going**
雨が激しくなっています。海岸へ行くのはあきらめたほうがいいでしょう。
- Don't forget (**bring**) your textbook next week. (6) **to bring**
来週教科書を持ってくるのを忘れないようにしてください。

CD II-80

B イラストの内容を表すように空所を埋めて、完成した文を言ってみよう。

[(1)(2)(3) → B.E. 21, (4) → B.E. 22]

- (1) [hobby, draw]
- (2) [mind, turn]
- (3) [join]
- (4) [avoid, through]

- My favorite **hobby is drawing (pictures)** on my tablet PC.
私の大好きな趣味は、タブレットPCで絵を描くことです。
- Would you **mind (me[my]) turning down[off]** the radio? — Oh, I'm sorry.
ラジオの音を小さくして[ラジオを消して]いただけませんか。[ラジオが鳴らしている人の表情と見て、me[my]を入れてもよい] ああ、ごめんなさい。
- Excuse me for **not joining** the party today.
今日はパーティーに参加しなくてごめんなさい。
- We **avoided driving[going] through** the narrow street.
私たちは狭い道を運転する[通る]のを避けた。

CD II-81

Express Yourself! *①次の話題について表現し、②対話してみよう。

▶ (a) Tell about your general plan and your specific decision.
あなたの大きな計画と、具体的な決定事項について話しなさい。

(b) Ask people if you can do something, using "mind."
あなたが何かしてよいかどうか、mindを使って人に尋ねなさい。

- EX.** (a) We are **planning to take** a trip. We've **decided to visit** Turkey.
私たちは旅行に行く計画を立てています。トルコを訪問することに決めました。
- (b) Would you **mind me turning on** the TV? I'd like to watch soccer.
テレビをつけてもいいですか。サッカーを見たいのです。
- (a) **EX** を参照。
- (b) _____

② **EX.** A: We are planning to take a trip. We've decided to visit Turkey.
私たちは旅行に行く計画を立てています。トルコを訪問することに決めました。

B: Oh, that's wonderful. Where in Turkey will you go?
ああ、それは素晴らしいですね。トルコのどこに行きますか。

*対話を続け、発表してみよう。

⇒ Let's Use It! 7 (p.56)

Housework

CDトラック番号、英文の和訳、
解答例を朱文字で記載

F 義務・必要を述べる

本文を聞く/音読練習/補充問題/ディスカッションのヒント/英作文

Listen and Answer

CD IV-50, 51

Listen to the dialog and answer questions 1 - 3. 対話を聞いて、①-③の質問に答えなさい。

1 Why did Mark come home early? なぜマークは家に早く帰ったのですか。

— Because he had to do a lot of homework
たくさん宿題をしなければならなかったから。

2 How is Mark going to help his mother? マークはどのようにお母さんを手伝うでしょうか。



3 What is Mark's mother making? マークのお母さんは何を作っているでしょうか。

— She is making beef stew
彼女はビーフシチューを作っている。

CD IV-52

Expressions

Work in pairs. Practice the following dialogs.

ペアになって、次の対話を練習しなさい。

1 A: You need to come back by five.

B: Why? pp.116, 121

A: Aunt Jane is coming for dinner.

B: All right. I can do that.

2 A: Do I have to water the plants now?

B: No, you don't have to. p.107

It rained last night.

A: Oh, right.

3 A: I'm supposed to clean my room every weekend. p.179

B: Is that a family rule?

A: Yes, we have a lot of rules.

実際に使う状況を思い浮かべながら、
「義務・必要を述べる」表現を練習しよう。

- ① ~する必要があるよ
- ② ~しないといけないかな
／～する必要はないよ
- ③ ~することになっているんだ

- ① A: 5時までに帰ってくる必要があるよ。
B: なぜですか?
A: ジェーンおばさんが夕食に来るからだよ。
B: わかりました。そうします。
- ② A: 今、水やりをしないといけないかな。
B: いや、その必要はないよ。昨夜雨が降ったから。
A: ああ、そうだったね。
- ③ A: ぼくは毎週末に部屋を掃除することになっているんだ。
B: それは家族のルールなの?
A: うん、うちにはルールが多いんだ。

⇒ Consolidation 3 (p.112)

Make your own dialogs by changing the underlined parts.

下線を変更して、自分たち自身の対話を作りなさい。

Practice the dialogs you have made and present them to the class.

自分たちで作った対話を、クラスのみんなに発表しなさい。

Listen and Answer

(Script)

Mother: Hi, Mark. I'm glad you came home early today.

Mark: Why? Is there something you'd like me to do?

Mother: I want you to help me with the cooking.

Mark: Well, actually, I came home early because I have to do a lot of homework.

Mother: I just want you to peel some vegetables.

Mark: Oh, I can do that. What are we having tonight?

Mother: I'm making beef stew.

Mark: Fantastic! I love beef stew.

(和訳)

母: お帰りが早い、マーク、今日は早く帰ってきてくれてうれしいわ。

マーク: なんで? ぼくにしてほしいことがあるの?

母: 料理を手伝ってほしいの。

マーク: うーん、実は、たくさん宿題をしなくちゃいけないから、早く家に帰ってきたんだけど。

母: 野菜の皮をむいてほしいだけよ。

マーク: ああ、それならできるよ。今日の晩ごはんは何?

母: ビーフシチューを作るわ。

マーク: やったあ、ビーフシチューは大好きだ。

A Sample Teaching Procedure for an ALT

1 Roll call

◆ Good morning(afternoon), everyone. Is anybody absent today? ... OK, let's begin.

2 Collecting the assignment for the previous lesson (cf. 9)

◆ Hand in the assignment for the previous lesson. Pass the worksheets forward. ... Thank you.

Note: Instead, you can give the students a review quiz here.

◆ OK, let's review Lesson 4. I'll give you a review quiz. Please take one sheet and pass the rest on. You'll have three minutes to answer the questions. Now let's start. ... Time's up. Pass your papers to the front.

3 Listen and Answer

1. Give students a small talk.

◆ When I was young, I went to the USA to study English. I lived in an apartment by myself. I could not afford to eat out often, so I usually cooked my own meals. I had a lot of homework such as writing reports, so I had to study for many hours every day, but I still took time out to cook my dinner. It was a good break after hours of study, and I enjoyed it. You might say that cooking was my hobby.

Note: The talk above can be omitted.

2. Have some students answer the questions in *Listen and Answer*.

◆ Now let's begin Lesson 5. Open your textbooks to p. 108. Listen to the dialog and answer each question.

◆ Now, let's check your answers. What's the answer to

question 1?

◆ [Name], could you please tell us your answer? ... Good! The answer is "a lot of homework." Note that "homework" is an uncountable noun. You cannot say "many homeworks." He came home early because he had to do a lot of homework.

◆ Question 2. Before checking the answer, let's see which process of cooking each picture shows. [Name], could you describe in English what is shown in picture (1)? Ans. (1) peeling a potato (2) cutting a potato (3) mashing a potato

Note: If a student seems unable to answer in English, have them answer in Japanese.

◆ Why don't you answer in Japanese, then?

◆ What's the answer to question 2? [Name], your answer, please. Great. The answer is (1). Mark's mother said she wanted him to peel some vegetables.

◆ Next, what's the answer to question 3? [Name], your answer, please. Very good. When he heard his mother was making beef stew, he said, "Fantastic! I love beef stew," so the answer is "beef stew."

3. Ask students about the vocabulary from *Listen and Answer*.

◆ Now, let's make sure of the vocabulary in the dialog of *Listen and Answer*. First, "peel." Repeat after me "Peel some potatoes." What else do we peel? "Peel an apple," "peel an orange," "peel a banana." Next "beef stew." Be careful about the pronunciation of "stew." Repeat. "Stew." "Stew" is an uncountable noun. Do not say "a beef stew," right?

Note: The teacher can decide which words they will talk about.

4 Expressions

1. Have students practice the dialogs.

◆ Now, let's practice the dialogs in *Expressions*. Repeat after me.

2. Have students work in pairs.

◆ First get into pairs and then play the roles of A and B.

3. Have students present the dialogs.

◆ Now, let's watch dialog ① as a presentation. Any volunteers? / No? OK, how about [Name] and [Name], please?

※ Have students present dialogs ② and ③ in the same way.

Note: If possible, have the students repeat the dialogs from memory.

◆ Next, let's make your own dialogs by changing the underlined parts. Practice the dialogs you have made.

◆ Now, let's watch an original dialog as a presentation. Any volunteers? / How about [Name] and [Name], please?

Lesson 4 A Dog in a Barbershop

There used to be a barbershop at that corner. I would often go there with my brother. There was an old dog there. When we went to the shop, the dog always barked loudly. It must have been very shy, or it may just have been happy to see us.

② Listen and Answer *The writer of the passage is a boy.
(1) (2) He thinks

③ Read Aloud *Work in pairs. Grade each other's reading. (p. 18)

Fluency Pronunciation Attitude Total

Tips for Expression

Let's Check It!

① Emily ()
② We ()
③ Tom has arrived ()
④ I know this story ()
⑤ The movie has ()

Part 1 左ページ解説 ①

本課の目標、観点別評価のポイント、small talk など
→ 導入部分からしっかりサポート!

本課の目標：以下の用法を習得する。

- ① used to, would の用法 [現在と対比させた過去の状態、過去の習慣的行為]
- ② <助動詞+have+過去分詞> の用法 [過去に対する推量、過去の非実現の行為]

観点別評価のポイント

DVD-ROM

- ① 知識・技能
 - a. 英語で「現在と対比させた過去の状態」「過去の習慣的行為」や「過去に対する推量」「過去の非実現の行為」を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。
 - b. 小学校時代の経験などについて、助動詞を用いてコミュニケーションを図る技能を身につけている。
 - c. ポイントとなる助動詞の用法のほかに、barbershop, bark, cicada, talkative, feel low, fail などの語彙や表現を習得している。
- ② 思考・判断・表現
 - a. 適切な場面において used to, would を用いて「現在と対比させた過去の状態」「過去の習慣的行為」の意味を表現する。
 - b. 適切な場面において <助動詞+have+過去分詞> を用いて「過去に対する推量」「過去の非実現の行為」の意味を表現する。

c. 「現在と対比させた過去の状態」「過去の習慣的行為」や「過去に対する推量」「過去の非実現の行為」の表現に注意して、個々の英文の意味を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。

③主体的に学習に取り組む態度

- a. ②の各項目について、積極的に取り組んでいる。
- b. そのほか、「過去の状態」や「過去の習慣的行為」、「過去の推量」に関連する内容を述べる語彙などを習得しようとしている。

◆Small Talk

When I was a child, there used to be a movie theater in my neighborhood. I would often see newly released films there with my family. It was a small theater, and it was always full, even several weeks after a film had opened. I think that was because we had few forms of entertainment other than the movies. There would probably have been a much smaller audience at the theater if we had had other ways to entertain ourselves in those days, such as video games or karaoke.

Listen and Answer

CD I-30~32

【質問・解答例】

- (1) What used to be at the corner?
—A barbershop. / There used to be a barbershop there.
- (2) What does the writer think about the dog's reaction?
—He thinks it must have been very shy, or may just have been happy to see them.

【解説】

- (1) 例文①参照。上記解答の第2例は文として整っており問題はないが、ネイティブによると、A native speaker would more typically just say “A barbershop.” とのことである。
- (2) 例文⑤参照。本文の to see us は to see them に変えて答える必要がある。reaction/ri(:)ækjən/ は「反応」の意味。< react(反応する) [v.i.]

【和訳例】

- (1) 以前は、角のところに何がありましたか。一散髪屋さんです[そこには散髪さんがありました]。
- (2) 筆者はそのイヌの反応について、どう考えていますか。—そのイヌはとても怖がりだったにちがいない、あるいは、自分たちに会えてうれしかっただけかもしれない、と考えています。

<Other questions>

- 1. Who would the writer often go to the barbershop with?
—He would often go there with his brother.
- 2. What was there at the barbershop?
—There was an old dog.
- 3. What did the dog always do?
—It always barked loudly.

<モデル文の語句解説>

- 1. barbershop/bɑ:rbɔ:ʃɑ:p/「散髪屋、理髪店」
= (especially NAmE) (BrE usually barber's) a place where a barber works. <OALD¹⁰>
barber の語源は「beard (あごひげ) をそる人」で、もともとは「理髪外科医 (理髪師のほか外科医・歯科医を兼ねた)」をも意味し、店頭に置いてある看板柱 (barber pole) の赤・白・青は動脈血・包帯・静脈血を表象したものという(『英語語源辞典』)。
- 1-2. at that corner 通りにある「角」は「地点」を表すので at または on を伴う。部屋や画面、ページなどの「すみ」は「空間」が意識されるので in を用いて表現する。
Write your address in the top right-hand corner of the letter. <OALD¹⁰>
The TV station's name appears in the corner of the screen. <LDOCE⁵>
- 3. There was an old dog there. 文頭の There は形式的な語で発音は弱い。文末の there は「そこに」の意味の副詞で、やや強く発音される。
- 5. loudly/laʊdli/「大声で、やかましく」
Ben laughed loudly. / She spoke more loudly than she intended. <LDOCE⁵>
なお、loud も副詞としてよく用いられる。
Do you have to play that music so loud?
You'll have to speak louder—I can't hear you. <以上 OALD¹⁰>
- 6. shy/ʃaɪ/「(動物が) 臆病な、警戒して」= (of animals) easily frightened and not willing to come near people: The panda is a shy creature. <OALD¹⁰>
- 6. just「ただ〜だけ」
Don't be upset—I was just joking. <LDAE⁵>
We'll just have to (= the only thing we can do is) wait and see what happens. <CALD⁴>
- 6. happy to see「〜に会えてうれしい」不定詞の副詞的用法で「原因」を表す。

Read Aloud

- ① 「幼いころに兄と理髪店に行ったときの思い出」を語る状況をふまえて音読する。
- ① 冒頭の There は形式語なので弱く発音される。used は若干強く、内容語の barbershop, corner が強い。指示代名詞も比較的強く発音される。
- ② I would は弱く、often go there はいずれも強い。with my は短く弱く、brother は強く発音される。
- ③ 内容語の old dog there が強い [→左段語句注]。an old は滑らかに音をつなげる。

Part 1 左ページ解説 ②

学習事項・演習問題の解答・解説
→ 的確な文法解説、音読のヒント、補充問題など充実した内容!

学習事項の解説

- ① used to / would の用法 pp.112, 115
(a) used to は過去の規則的行為や習慣、あるいは過去の状態を表現する。現在との対比(「現在はそうではない」という点)を客観的に述べるものである。We use used to + infinitive to talk about past habits and states which are now finished. <Swan (2016: 87)>
- (b) would は過去の不規則な反復行為(動作)に言及する場合に用いる。この用法では、過去の「状態」や「定期的な活動」について述べることはない。個人的な回想を表し、often, sometimes などの副詞を伴うことも多い(→例文②)。また、この would は明確に過去を表す文脈でのみ用いられる。
- (c) 上記のように、基本的には used to は「現在との対比」、would は「個人の回想」を述べるものと認識しておけばよい。
- (d) used to の疑問文・否定文は Did S use(d) to ~?, S didn't use(d) to ~, となる。fml では Used S to ~?, S used not to ~, の形式もある。

- ② <助動詞+have+過去分詞> の用法 p.117
(a) 学習者には、まず最初に当該の助動詞の意味を確認しておく。
must: ~にちがいない / may: ~かもしれない
can't: ~のはずがない / should: ~すべきだ
- (b) 後続する原形の部分が <have+過去分詞> になると、must, may, can't は過去の出来事に関する推量、should は過去に実行されなかったことに対する後悔・非難などを表すこととなる。前者は「〜す

Activity

1 (1) 内の語を正しく並びかえて、完成した文を書いてみよう。

(1) (to, used, my brother, he) quiet when he was a boy, but he is now talkative.
 (2) We (often, dinner, would, eat) at that restaurant.
 (3) I saw the photos of your trip. That (fun, must, been, have).
 (4) It's already past eight, so Ms. Oka (stay, home, left, have).
 (5) I (bought, have, the concert tickets, should) before they all sold out.
 (6) I (that, shouldn't, said, have) to Mark. He's feeling very low.
 (7) Sakura (the train, can't, missed, have). She left home thirty minutes ago.

イラストの内容を詳しく読んで、完成した文を書いてみよう。
 * (1) is used to, (2) would, (3) must, (4) may を使ってみよう。

(1) There _____ there.
 (2) I _____ with my father.
 (3) I can't find my commuter pass. I _____ at home.
 (4) Sam looks sad. He _____.

Interact and Produce ▶ やり方・実践方法はこちら

2 Listen to the dialog and fill in the blanks.
 Grace: Look at this ad. The shop has a shoe () today.
 Tetsu: Really? I () to go there often, but I can't remember the last time I bought something. It may have () five years ago.
 Grace: I bought these shoes last Saturday at () price. I should have ().
 Tetsu: That's too (). But at least you got them before they () out.
 Grace: True. Shopping isn't always ().

3 Play the roles of Grace and Tetsu in pairs. (Then switch roles.)
 4 Make a dialog of your own similar to the one in 2. Then present the dialog in a class or a group. ▶ Let's Use It! ▶▶▶

Part 19

る[である]にちがいない]→「～した[であった]にちがいない」などの意味になり、should は「～すべきだったのに」の意味となる。

(c) should は ought to に変えても同様の意味を示す。また、<should[ought to] have + 過去分詞> が「～したはずだ」と過去の出来事に関する推量を表す場合もある。Have you heard from Maria? She *should have started* her job on Monday. <Quirk et al. (1985: 235)>

(d) <should not have + 過去分詞> は「～すべきではなかったのに」の意味 [→教科書 p.21, Think and Express!, スクリプト第5文にこの表現がある]。類例に <need not have + 過去分詞> 「～する必要はなかったのに」がある。You *needn't have woken* me up. I don't have to go to work today. <Swan (2016: 532.6)>

Let's Check It! 解答例 @CD I-33

- (1) used to have (2) would, catch
 (3) must have come (4) may have seen[watched]
 (5) should have checked

【解説】

(1) 文脈から、used to を用いて表現する。「現在と対比された過去の状態」を表す。

(2) 「よく～したものだ」と個人的な回想を述べているので、would often ～ を用いて表現する。cicada/sək'eɪdə/ (セミ) は日本の季節の風物でもあるので、発信語彙として覚えておきたい。

(3) ～ (5) それぞれ <助動詞 + have + 過去分詞> の基本構造を確認する。(3)(4) は must, may を用いて「過去に対する推量」を、(5) は should を用いて「過去の非実現の行為(後悔)」を表現する。

【和訳例】

- (1) エミリーは以前は髪が長かった。
 (2) 私たちはこの辺でよくセミを捕まえたものだ。
 (3) トムは早く着いた。彼はタクシーで来たにちがいない。
 (4) この話は知っている。テレビで見たかもしれない。
 (5) 映画はもう始まってしまった。時間を確認しておくべきだった。

Activity 解答例 @CD I-34

- A** (1) My brother used to be
 (2) would often eat dinner
 (3) must have been fun
 (4) may have left home
 (5) should have bought the concert tickets
 (6) shouldn't have said that
 (7) can't have missed the train

- B** (1) used to be a movie theater
 (2) would often[sometimes] go fishing
 (3) must have left it
 (4) may have failed the test[exam]

【解説】

A 文脈から適切な文意を表現するように、与えられた語句を並べかえる。

- (1) 後半の but he is now talkative との対比を示すように used to を用いて表現する。quiet/kwaɪət/ は「物静かな、無口な」、talkative/tɔ:kətɪv/ は「話好きな、おしゃべりな」の意味。Someone who is *talkative* talks a lot. <COBUILD¹⁰>
 (2) would often で「よく～した」と「過去の習慣的行為」を表す。
 (3) 「旅行の写真」を見て「楽しかったにちがいない」と「過去に対する推量」を表現する。第2文の That は「あれ」を指し、不可算名詞 swimming/swɪmɪŋ/ は「水泳」を指す。Swimming was fun at Phil's house.

Part 1 右ページ解説 ①

各活動の解答例、文法・語法解説
 → 各小問について、文法・語法などを詳細に説明しています!

Interact and Produce 解答 @CD I-35

sale, used, been, full, waited, bad, sold, easy

【解説】

1. **ad/æd/** 「広告」advertisement/ædvɜ:táɪzmənt/ の略語。She's been in several TV *ads*. (テレビ広告) <LDOCE⁶>

1. **shoe sale** 「靴の安売り[セール]」sale とのコロケーションに注意。auto[CD, video, equipment, computer] *sales* (車[CD, ビデオ, 機器, コンピュータ]の販売[特売]) <[新編英和活用大辞典]>

2. **often** 肯定平叙文で、often が単独で文尾位に置かれるのはまれだが、used to go there との共起関係で取りのよい位置に来ている。

2-3. **the last time I bought something** I bought の前に関係副詞 when を補って考える。something は「何か(ある物)」の意味。

3. **It** the last time を指す。

4. **these shoes** この文脈だけでは不明だが、「1足(a pair of shoes)」を指すことが多い(「複数足」であれば these pairs of shoes などと表現する)。

4. **at full price** 「通常の価格で」full price は「値引きしていない価格、通常の価格」の意味。= not a reduced price: If you're over 14, you have to pay *full price*. <LDOCE⁶> 前置詞の at にも注意。

5. **That's too bad.** 「それは残念だね」相手に対する同情を表す場合に用いられる。

6. **at least** 「少なくとも」= used for talking about the only advantage or good point of sb/sth: This car is *low*, it uses a lot of petrol, but *at least* it's cheap.

Part 1 右ページ解説 ②

も]簡単という
 語句解説、英文和訳例など
 ◆ 活動の展開事例や表現活動のヒントも別途ご用意しています。

G: この広告を見て、今日その店で靴のセールをやっているの。
 T: ほんとう? その店にはよく行っていたんだけど、最後に何かを買った時のことを思い出せないや。
 G: 先週の土曜日にこの靴を通常価格で買ったんだ。(今日まで)待てばよかった。
 T: それは残念だな、でも、少なくとも売り切れる前に手に入れたんだよね。
 G: そうだね。買い物はいつも簡単っていうわけじゃないよね。

G: この広告を見て、今日その店で靴のセールをやっているの。
 T: ほんとう? その店にはよく行っていたんだけど、最後に何かを買った時のことを思い出せないや。
 G: 先週の土曜日にこの靴を通常価格で買ったんだ。(今日まで)待てばよかった。
 T: それは残念だな、でも、少なくとも売り切れる前に手に入れたんだよね。
 G: そうだね。買い物はいつも簡単っていうわけじゃないよね。

T: それは残念だな、でも、少なくとも売り切れる前に手に入れたんだよね。
 G: そうだね。買い物はいつも簡単っていうわけじゃないよね。

G: そうだね。買い物はいつも簡単っていうわけじゃないよね。

※【活動の展開事例】は p.68 を参照。

かもしれない」という推量を <may have + 過去分詞> で表す。

(5) 後半部分に関連して、前半部分では <should have + 過去分詞> を用いて「過去の非実現の行為(後悔)」を表現する。sell out は「売り切れる」の意味。ここでは sell は自動詞。be sold out の形もある。If tickets for a concert, a game, etc. *sell out or are sold out*, they are all sold and there are none left. <OPVD²>

(6) 第2文との関連で、「過去の非実現の行為(後悔)」を表す。feel low は「意気消沈している、落ち込んでいる」の意味。low = weak or depressed; with very little energy. <OALD¹⁰>

(7) 文脈より、<can't have + 過去分詞> で「過去に対する否定的な推量」を表す。miss/mɪs/ は「～を逃す、～に乗り遅れる」の意味。

B イラストが表現する状況を考えて、適切な助動詞を用いて表現する。

(1) There used to be... (以前…があった)の形。There *used to be* four cinemas in the town. Now there is only one. <Murphy (2019: 36)>

(2) would を用いて表現する。often[sometimes]などの副詞をとともに用いてもよい。

(3) <must have + 過去分詞> を用いる。commuter/kəm'ju:tə/ pass は「(通学・通勤の)定期券」。

(4) <may have + 過去分詞> を用いる。fail/fel/ は他動詞で、「[試験など]に落ちる、失敗する」の意味。I passed in history but *failed* in chemistry. (歴史の試験は通ったが、化学は落ちた) <CALD¹>

【和訳例】

A (1) 兄[弟]は少年のころは物静かだったが、今は話好きだ。

(2) 私たちはよくあのレストランで夕食をとったものだ。

(3) 君の旅行の写真を見たよ。旅行は楽しかったにちがいないね。

(4) もう8時過ぎなので、オカさんは家を出ているだろう。

(5) 売り切れる前に、そのコンサートのチケットを買っておけばよかった。

(6) マークにあのことを言わなければよかった。彼はとても落ち込んでいる。

(7) サクラが電車に乗り遅れたはずはない。30分前に家を出たのだから。
B (1) 以前はそこに映画館がありました。
 (2) 父とよく[ときどき]釣りに行ったものだ。
 (3) 定期券が見つからない。家に置いてきたにちがいない。
 (4) サムは悲しそうだ。試験に落ちたのかもしれない。

Lesson 1 What's Your Favorite Dish?

MOJULI (Listening)

Rika: Bob, you prefer Western food to Japanese food, don't you?
 Bob: Actually, no. I prefer Japanese food.
 Rika: Oh, do you? What's your favorite Japanese food?
 Bob: I'm a big fan of sushi. I often go to sushi restaurants with my family.
 Rika: Really? I'm also fond of sushi. Let's go and eat sushi together someday.

Listening Quiz 1.T・F 2.T・F 3.T・F

Expressions for (Likes and Dislikes)

1. I prefer apples to oranges.
 2. Sashimi is my favorite dish.
 3. Mr. Brown is a big fan of omellets.
 4. I'm fond of Korean food.
 5. I don't much care for cheese.
 6. Ann dislikes/hates green peppers.

Think and Express! A

Look at the pictures and express your likes or dislikes about the foods they show. Each comment should be more than ten words in length.

Chocolate cookies are my favorite sweets. I like them at least once a month.

1. What is Bob's favorite Japanese food?
—It is sushi.
 2. Who does Bob often go to sushi restaurants with?
—He often goes there with his family.
 3. What does Rika suggest?
—She suggests that she (should) go and eat sushi with Bob someday.

especially like to travel abroad. It's really exciting to see the different lifestyles of people in other countries. However, when I go abroad, there is always one thing I miss. That is Japanese food, such as sushi and *okonomiyaki*. It's getting easier to find Japanese food in other countries these days, but still, it's hard to get food with the same flavors that we can enjoy in Japan.

Listening Quiz

CD II-76~78

- Bob prefers Western food to Japanese food. (F)
- Bob doesn't like sushi very much. (F)
- Rika wants to go and eat sushi with Bob. (T)

※音声CDには本文とListening Quizの音声を取録

Warm-up questions

- What is Bob's favorite Japanese food?
—It is sushi.
- Who does Bob often go to sushi restaurants with?
—He often goes there with his family.
- What does Rika suggest?
—She suggests that she (should) go and eat sushi with Bob someday.

モデル文の語句解説

- Part 2 左ページ解説 ①
本課の目標、観点別評価のポイント、small talk, Warm-up questions など
→ 導入部分からしっかりサポート!
- ly は相手を和らげる
- 見で、さらに *infml* には *go do* と *and* を省略した形となる。In spoken English *go* can be used with *and plus another verb* to show purpose or to tell sb what to do: I'll *go and answer* the door. / *Go and get* me a drink! The *and* is sometimes left out, especially in *NAmE*: *Go ask* your mom! <OALD¹⁰>

Expressions 解説

CD II-79

- prefer A to B 「B より A を好む」
prefer は「[人・物・事]を好む」という意味で、prefer A to B は、2者について like A better than B の意味を表す。動作・行動について言う場合は、動名詞を用いる場合と不定詞を用いる場合がある。I *prefer walking to driving*.
I *prefer to walk rather than (to) drive*.
なお prefer /prɪfəːr/ のアクセントに注意。活用は preferred, preferring となる。

- ~ is my favorite ... 「~は私が大好きな...だ」
favorite /fə'vɪərət/ は「最も好きな、一番気に入っている [得意な] (=best liked or most enjoyed <CALD⁵>)」の意味。最上級の意味が含まれているので普通 ×most ~とはならない。なお、BrE では favourite とつづる。
- be a big fan of ~ 「~の大ファンだ、~が大好きだ」
fan /fæn/ は「(有名人・チーム・娯楽などの)ファン」の意味だが、このように食べ物について用いてもよい。I'm a big fan of Italian food. <OCD²> *infml* な表現である。
- be fond of ~ 「~が大好きだ」
特に長期にわたって好きであることが含意される。=to like something, especially something you have liked for a long time. <LDOCE⁶> fond は very, quite, extremely などの修飾を受ける。She was very fond of horses. <CALD⁵>
Joe's quite fond of her, isn't he? <LED>
- care for ~ 「[否定文・疑問文で]~が好きだ」
I don't care for ~, Do you care for ~? のような形で用いる。not like よりも直接的な表現ではないので、人から勧められたものを断るときなどに用いる (I'm sorry, but I *don't care for* raw fish. など)。さらに例文のように much を入れることばを和らげることもある (much の位置は care の前後いずれも可能)。なお、Would you care for another cup of tea? (お茶をもう1杯いかがですか)などは、ていねいな提案の場面で用いられる。
- dislike[hate] 「~が嫌いだ」
not like, dislike, hate の順に嫌いな気持ちが強くなる。嫌悪を表す直截な表現なので、特に「人」に対しては、なるべく用いない (not likeなどで代用する) のがよい。例文のような客観的な描写や、I hate snakes. などの一般的な論述で使用するのはいよい。なお hate は to do, doing のいずれも目的語にとるが、dislike は doing が後続するのが普通である。

Think and Express! A 解答例

DVD-ROM

解答例

CD II-80

- Okonomiyaki is my favorite Japanese food. I sometimes make it myself at home.
- I'm fond of omu-rice. These days I prefer it with demi-glace sauce rather than ketchup.
- I'm not a big fan of Japanese sweets. I don't much care for the red bean paste in dorayaki.

展開事例

- 設問に取り組みさせる。適宜語彙のヒントを与える。
◆ Now, let's work on Think and Express! A. Look at the pictures and express your likes or dislikes about them. Each comment should be more than ten words in length. As in the example, you can use a few sentences if necessary.

- それぞれの答えを発表させる。
◆ [Name], could you tell us your comment for picture (1)? / [Name], write your comment about picture (2) on the board.
- 適宜。写真の食べ物に関し、ペアで対話を行わせたり、写真以外の食べ物について対話させてもよい。
※ なお、初対面、あるいはそれに近い人との会話の場合、相手が Do you like O? と尋ねてきたら、概

Part 2 左ページ解説 ②

学習事項・演習問題の解答・解説・和訳例

→ 的確な機能表現・語句の解説；活動の展開事例をご用意!

- like it. (これは、かなりおつづきは印象をさげてください)。
- likes or dislikes 「好きか嫌いか」ここでは like, dislike が名詞で使われている。likes and dislikes (好き嫌い) という句でよく用いられる。A good hotel manager should know his regular guests' likes and dislikes. <LDOCE⁶>
- in length /lɛŋkθ/ 「長さで」
The boat is ten metres in length. <CALD⁵>
cf. She talked at length about her work in hospitals. (長々と、詳細に) <OID²>
- once a month 「1か月に1度」 a は per (〜につき) の意味。You use once with 'a' and words like 'day', 'week', and 'month' to indicate that something happens regularly, one time in each day, week, or month. <COBUILD¹⁰>
- (2) omu-rice 「オムライス」 omelet [omelette] と rice でできた和製の料理。本教科書での表記に関しては、「オム」は日本語と捉えて斜体字で記し、「ライス」は英語そのままとして、両者をハイフンでつないだ。

和訳例

写真を見て、それらが示す食べ物について好き嫌いを表現しなさい。それぞれのコメントは10語を超える長さとなるようにしなさい。
例) クッキーが好きです。月に1度、家でクッキーを焼きます。それは楽しいです。



Think and Express! B 解答例 DVD-ROM

CD II-81~83

- ① (1) Her favorite food is sushi. (2) He dislikes shiitake mushrooms.
② favorite, fan, wish, dislike, care, hate
【解説】
(1) 2行めの I love sushi. より, Her favorite food is ~ の形で答える. [It is[It's] sushi. も可.]
(2) Paul の嫌いなものは最後に述べられている. 7行めの shiitake mushrooms がそれに当たる.
<Other questions>
1. What does Karen especially like? —She (especially) likes ikura.
2. What is Paul's favorite food? —His favorite food is hamburgers.
[注: hamburgers は集合的に述べるため複数形となる. be 動詞は is で可.]
3. Are there any foods Karen strongly dislikes? —No there aren't.
4. What is a food Karen doesn't much care for? —It is natto.
5. Does Paul like natto? —Yes, he does.
【活動の展開事例】→本書 p.29 などを参照 [以下同].
<英文の語句解説>
2. ikura ここでは日本語として斜体字で表記した.

- ロシア語の ikra (魚卵)が語源とされる.
3. I wish I could ~ 「~することができればなあ」 could は can の仮定法. I wish that I could afford a new car. <LED>
5. None that I strongly dislike. 「ひどく嫌いなものはありません」 = There is none that I strongly dislike. none は no one が短縮された形で, 先行する名詞を受ける代名詞. この場合は no food の意味となる.
7. myself 「私自身は」 I don't like a heavy meal at lunchtime myself. <CALD> と同様の強意用法で, 文頭で用いられたもの. infml な用法である.
7. shiitake mushrooms 「しいたけ」 soba noodles などと同様, mushroom の種類を表す語として shiitake を用いている. <OCD> の mushroom の項には, oyster ~ (ヒラタケ), portobello ~ とならんで shiitake ~ が挙げられている. また, mushroom と共起する形容詞には edible, poisonous, wild, fresh, dried, stuffed などがある.

Retelling 解説 CD II-84

ここでは対話の内容を要約するリテリングの活動を行う. 生徒には「自分が聞いた内容を第三者に伝えるように, うまくまとめてみよう」などと指示を出すのがよい. 補足事項, 詳細説明などの些末な部分を割愛することが肝要である(本課では I wish I could eat them every day. など). [本文56語→下例32語]

【要約文例】
Paul and Karen are talking about the food they like or dislike. Karen loves sushi, while Paul likes hamburgers. Karen doesn't much care for natto. Paul likes natto but hates shiitake mushrooms.
【活動の展開事例】→本書 p.30 などを参照 [以下同].

Express Yourself! 解説

生徒独自の対話を作らせ, 発表させる. 「好きな食べ物, 嫌いな食べ物」がテーマなので, pp. 78, 79 の各対話文を参考にさせるとよい.

Part 2 右ページ解説 ①

各活動の解答例, 文法・語法解説, 内容把握の補充問題, 活動の展開事例
→ 充実した語句解説; 補充問題, 展開事例, 解答例でご授業にお役立ていただけます!

- 徒の言語活動を活性化させることが肝要である(次項の Express Your Opinion も同様).
◆ Work in pairs. Let's make an original dialog similar to the ones on pp. 78 and 79. As preparation, you can write down some key words in the box on p. 79. Now, let's practice.
◆ Work in groups of four students[two pairs]. One pair will present their dialog to the other pair. And then, make a discussion about the dialog as written in the textbook.

Express Your Opinion 解説

- ここでは, 初歩的なものとして, 簡単な対話練習を行う展開事例を示す. 英検準2級の二次試験の面接にも通じる活動である.
◆ Work in pairs. First, one student asks if the other likes cooking or not. Then, depending on the answer, ask why or why not. After that, switch roles.
◆ You can respond to the reason your partner has told you. For example, you agree or not with the reason, and tell your opinion.

※ 以下の解答例について, 極めて簡単に口頭で回答する例については, ①の下線部を参照. ただし, これは必要最小限の回答であるので, 極力支持文

Part 2 右ページ解説 ②
各活動の解答例, 活動の展開事例
→ 自己表現活動については, 肯定・否定の両面からの解答例を提示しています.

- 【肯定的な例】
① I like cooking because it's enjoyable. I'm very glad when a dish I like turns out as I expected. Also, I feel happy when my family are pleased with what I have cooked. (33語)
② I like cooking because it's enjoyable. I'm very glad when a dish I like turns out as I expected. Such cases are still rare, so I would like to improve my cooking skills. Also, I feel happy when my family are pleased with what I have cooked. The comments from my family encourage me to become a better cook. (59語)
【否定的な例】
① I don't like cooking very much because it is troublesome. It takes a lot of time, including

- shopping and washing the dishes. And it does not come out as good as I expected after all. (35語)
② I don't like cooking very much because it is troublesome. First, you have to buy all the ingredients you need. Then you need to cut a lot of vegetables, meat, and so on, which takes a lot of time. Besides, it does not come out as good as I expected after all. And also, there is cleaning up to do after that. (62語)

英文の和訳例 DVD-ROM

Think and Express! B

- ① ボールとカレンの対話を聞いて, 次の質問に答えなさい.
(1) カレンの好きな食べ物は何ですか. —彼女の好きな食べ物はお寿司です.
(2) ボールは何が嫌いですか. —彼はしいたけが嫌いです.
② もう一度聞いて, 空所を埋めなさい. それから, ボールとカレンの役を演じなさい.
P: 好きな食べ物は何, カレン?
K: お寿司が大好き. 特にイクラが大好物よ. あなたは?
P: ハンバーガーが好きだな. 毎日食べられたらいいのと思うよ. 何か苦手な食べ物はある?
K: ひどく嫌いなものはないよ. ただ, 納豆はあまり好きじゃないね.
P: ほか自身は, 納豆は好きだよ. でも, しいたけは嫌いだな.

Retelling

ボールとカレンが, 好きな食べ物, 嫌いな食べ物について話している. カレンはお寿司が大好きで, ボールはハンバーガーが好きだ. カレンは納豆があまり好きではない. ボールは納豆は好きだが, しいたけは嫌いだ.

Express Yourself!

- 1. ペアで活動しなさい. 好きな食べ物, 嫌いな食べ物について, 対話を作りなさい.
◆ 準備として, 下の欄にキーワードを書いてもよしい.
2. グループで活動しなさい. 生徒 A, B が生徒 C, D に対話を見せましょう. 生徒 C, D は, それについて質問をするか, 意見を述べましょう. (その後役割を交代しなさい.)

Express Your Opinion

料理は好きですか. それはなぜですか.

Lesson 12 My Sister's Job

GD II-19

PART 1 Teacher's Book 内容見本

CDトラック番号,

英文の和訳, 解答例を朱文字で記載しています



本文を聞く/音読練習/補充問題

GD II-20

① My sister Sato, **who** lives in Chiba, is an engineer. ② She works for a company **that** makes industrial robots. ③ This is a picture of the office **in which** she is now working. ④ She sometimes tells me about her job, **which** makes me want to have a job of my own someday.

① 姉のサトは千葉に住んでいますが、...

② 産業用ロボットを作る会社

③ 姉が働いている職場

④ ~ですが、そのことは...

(1) What does the writer's sister do?
筆者のお姉さんの仕事は何ですか。

(2) How does the writer feel when he hears his sister talk about her job?
お姉さんが仕事について話をすると、筆者はどう感じますか。

GD II-21, 22

Listen and Answer

*The writer of the passage is a boy.
*文章の筆者は男子です。

(1) She is an engineer.

彼女は技術者です。

(2) He wants to have a job of his own someday.

いつか自分も仕事をもちたいと思います。

Read Aloud

▶Work in pairs. Grade each other's reading. (⇒ p.8)

ペアで活動しなさい。互いの読みを評価しなさい。

① Fluency 流ちょうさ	② Pronunciation 発音	③ Attitude 態度	Total 合計

Tips for Expression

① 「~する人/物」などは関係代名詞 (who, which, that, etc.) を使って表します(→②)。関係代名詞は省略される場合もあります。Ms. Murata is a teacher (who(m)) many students respect.
ムラタ先生は多くの生徒が尊敬する先生です。

② 関係代名詞が前置詞の目的語になる場合、(前置詞+関係代名詞)で表現できます(→③)。

cf. She is now working in the office.
彼女は今その職場で働いています。

【類例】 This is a picture of the office (that/which) she is now working in.
これは彼女が今働いている職場の写真です。

③ 関係代名詞が補足の説明を導く場合があります(→①④)。この場合、関係詞の前にコンマ(,)を置きます。(主に書き言葉で用いられます。) ④のように、関係代名詞が前の句や節の内容を受ける場合もあります。

【注】 ②では「前置詞+that」の形にはなりません。③では that は用いられません。

GD II-23

Let's Check It! 12

*2つの文を結びつけて、実際に使う状況を思い浮かべながら言ってみよう。

※(4)(5)は補足の説明を述べる文(→③)にしてみよう。

(1) Taku has a brother. / He is studying design in Austria.

Taku has a brother who is studying design in Austria. タクにはイタリアでデザインを学んでいる兄[弟]がいる。

(2) This is the backpack. / My grandmother bought it for me.

This is the backpack (that/which) my grandmother bought for me. これは祖母が私のために買ってくれたバックパックです。

(3) Miyazaki is the city. / She spent most of her life in the city.

Miyazaki is the city in which she spent most of her life. / Miyazaki is the city (that/which) she spent most of her life in.

(4) I know Dr. Baker. / He works for a hospital in India.

I know Dr. Baker, who works for a hospital in India. 私はペイカー博士を知っているが、彼はインドの病院で働いている。

(5) My parents praised my performance. / That gave me confidence.

My parents praised my performance, which gave me confidence.

両親が私の演技をほめてくれたが、そのことで私は自信を持った。

(教科書p.52)

Can-do

☐ 表現 「~する人/物」や、「人/物」についての補足説明を、関係代名詞を用いて表現できる。

☐ 読解 将来の仕事や家族のことについて、英語で表現できる。

GD II-24

Activity

A ()内の語を正しく並べかえて、完成した文を言ってみよう。

(1) Our class has a (who, won, student, in, an award) the contest.
student who won an award in 私たちのクラスにはそのコンテストで受賞した生徒がいます。

(2) Kota wants a good (history, book, explains, which, world) clearly.
book which explains world history コウタは世界史をわかりやすく説明する本をほしいと思っている。

(3) These are (my sister, postcards, sent, the, me) from Paris.
the postcards my sister sent me これらは姉[妹]がパリから送ってきたはがきです。

(4) Ms. Konishi is a (sometimes has, with, my mother, lunch, woman).
woman my mother sometimes has lunch with コニシさんは母がときどきランチをいっしょに食べる女性です。

(5) This is the (released, second, the musician, that, album).
second album that the musician released これはそのミュージシャンが発表した2枚目のアルバムです。

(6) David, (is, on, who, our, a key player) soccer team, is popular among girls.
who is a key player on our デビッドは、私たちのサッカーチームの主力選手ですが、女の子にとっても人気があります。

(7) We will stay at Dipper Hotel, (my, to, which, uncle, recommended) us.
which my uncle recommended to 私たちはディッパーホテルに泊まるつもりですが、それはおじが私たちに勧めてくれました。

(8) I got a new cooking app, (I, have, really useful, which, found).
which I have found really useful 私は新しい料理アプリを手に入れたが、それはほんとうに役にたつことがわかった。

GD II-25

B イラストの内容を表すように空所を埋めて、完成した文を言ってみよう。

*who, which, that を使ってみよう。



私に道順を教えてくれた警官は親切だった。

(1) The police officer who gave me directions was friendly. [He gave me directions.]

(2) Sue bought the jacket which she had been saving money for. [She had been saving money for it.]
スーはそのために貯金していたジャケットを買った。 [Sue bought the jacket for which she had been saving money.]

(3) This is the only bus that goes to Arashiyama. [It goes to Arashiyama.]
これは嵐山に行く唯一のバスです。

(4) Ray tried to open the door, which was impossible. [However, that was impossible.]
レイはそのドアを開けようとしたが、無理だった。

GD II-26

Interact and Produce ▶「やり取り・発表」を行ってみよう。

1 Listen to the dialog and fill in the blanks.

対話を聞いて、空所を埋めなさい。

Lucy: Do you know anyone (who) knows a lot about computers?

コンピュータについて詳しい人を知っている?

Haruto: Ah, I know someone (who's) great with them. Why do you ask?

ああ、コンピュータが得意な人を知っているよ。

Lucy: I'm (thinking) about buying a new laptop. (Mine) is getting a bit old.

新しいラップトップ[ノートパソコン]を買おうと思っているの。私ののは少し古くなってきていてね。

Haruto: Oh, in that case, I'll (introduce) you to Ryota. Actually, I have a laptop he

ああ、その場合なら、リョウタを紹介するよ。実際に、ぼくは彼がほかに選んでくれた

(selected) for me.

ラップトップをもってらんだ。

Lucy: That's amazing! I'd love to hear (details) from him.

それはすごいね。詳しいことを彼から聞きたいよ。

2 Play the roles of Lucy and Haruto in pairs. (Then switch roles.)

ルーシーとハルトの役割をペアで演じなさい。(それから役割を交替しなさい。)

3 Make a dialog of your own similar to the one in 1. Then present the dialog in a class

1に類似した自分たち自身の対話を作りなさい。それから、その対話をクラスやグループで発表しなさい。

or a group. ▶ Let's Use It! 6 (p.55)

(p.53)



CDトラック番号、英文の和訳、解答例を朱文字で記載

F 計画・意図を述べる

本文を聞く/音読練習/補充問題

Model

<dialog>

Meg: I hear you're planning to go abroad this summer.
今年の夏に海外に行く計画を立てているそうね、summer.

Yuta: Yes, I'm going to study English in a foreign country for a month or so.
あ、1か月ほど外国に行って英語を勉強するつもりだよ、country for a month or so.

Meg: Which country are you thinking of going to?
どこの国に行こうと考えているの?

Yuta: I haven't made a final decision, but I've decided to go to either Australia or Canada.
最終的な決定はしていないけれど、オーストラリアかカナダのどちらかに行くことに決めているんだ。

Meg: I'm sure you'll find either country very nice.
きっとどちらの国もとてもいいところだと思うでしょう。

F 計画・意図を述べる

be planning to ~
(~する計画を立てています)

be going to ~
(~するつもりです)

be thinking of ~ing
(~することを考えています)

I've (=I have) decided to ~
(~することに決めています)

CD III-26, 27

CD III-28

Listening Quiz 1. T・F 2. T・F 3. T・F

Expressions for <Plans and Intentions>

- I'm leaving for Beijing tonight.
- We're going to attend the meeting.
- I'm thinking of studying art in college.
- Yui is planning to take a night train.
- Sam intends to be an architect.
- I meant to buy eggs, but I forgot.
- I've decided to take the exam.

- 今晚北京に向けて出発します。
- 私たちはその会合に出席するつもりです。
- 大学では美術を勉強しようと考えています。
- ユイは夜行列車に乗る計画を立てている。
- サムは建築家になるつもりです。
- たまごを買うつもりだったが、忘れた。
- その試験を受けることに決めました。

Note 1の<be ~ing>は近い未来の予定や取り決めを、2の<be going to ~>は前から考えている予定・計画を表す。6のmeanはくだけた表現で、「実際には~しなかった」「(否定文で)~するつもりはなかった」という文脈で用いることが多い。

CD III-29

Think and Express! A

Look at the pictures and make sentences using the Expressions above.

絵を見て、上の Expressions を用いて文を作りなさい。



- Rika and Miki are going to have dinner together tomorrow[are going out to a restaurant tomorrow].
リカとミキは明日いっしょに夕食をとる[外出してレストランに行く]つもりです。
- Mr. Parker is thinking of going to Hawaii for the winter vacation[is planning to spend his winter vacation on sunbathing in Hawaii].
パーカー氏は冬休みにハワイに行こうと考えている[ハワイで日光浴をして過ごす計画を立てている]。
- Jane is planning to go hiking[is going], but if it rains, she will play video games at home[she will stay home].
ジェーンは来週の土曜日にハイキングに行く計画を立てているが、もし雨が降ったら、家でテレビゲームを
ピクニックに行くつもりだが、もし雨が降ったら、家にいるつもりだ。

A Sample Teaching Procedure for an ALT

1 Roll call

◆ Good morning[afternoon], everyone. Is anybody absent today? ... Well, let's begin.

2 Warm-up

1. Tell students about studying abroad.

One of my friends, an English teacher, is planning to go abroad to study. To teach English, English teachers need to keep studying English. There are many books and other materials we can use to study English in Japan, but staying in an English-speaking country might be the most effective and exciting way to strengthen our English. Some of you may be thinking of studying abroad during your college years, and some of you may already have been abroad for your elementary or junior high school education. Such experiences are precious for all of us.

2. Ask a couple of students about whether they want to study abroad or not.

◆ T: Now I would like to ask some of you about whether you want to study abroad someday or not. [Name], do you want to study abroad someday?

S: Yes. I want to study music in Italy in the future.

T: Oh, that's good. Thank you. And do you want to study abroad someday, [Name]? ...

3 Model <dialog>

1. Have students listen to the dialog a few times.
◆ Now please listen to the dialog twice without looking at the textbook.

2. Have students answer the listening quizzes.

◆ Let's work on Listening Quiz. Listen to the three sentences about the dialog, and show me whether each sentence is true or false. Hold up your textbooks. If you think the answer is true, show me the front cover of your textbook. If you think it is false, show me the back cover. All right?

Listening Quiz

- Yuta is planning to study English abroad this summer. (T)
- Yuta has stayed in a foreign country for about a month. (F)

3. Yuta would rather go to Australia than Canada. (F)

3. Have students practice the dialog.

◆ Now open your textbooks to p. 90. Listen to the dialog and repeat each sentence. (Students repeat.) OK, make pairs and practice the dialog with your partner.

4. Explain words and phrases to students.

◆ Now, let's look at some of the useful expressions. Yuta says "for a month or so." This means "for about a month" or "for one month or two." Yuta also says "I haven't made a final decision." This means he is still thinking and hasn't decided yet.

4 Expressions for <Plans and Intentions>

1. Have students listen to and repeat each expression.

◆ Let's go on to Expressions. Repeat after me. (Read each sentence and make students repeat it.)

◆ [Name], read sentence 1.

2. Call on some of the students and have them say the sentences.

◆ Cover the left side (English side) of Expressions with something. You should read the Japanese sentences and then translate them into English. Let's practice.

◆ [Name], say sentence 1 without looking at it in the textbook.

3. Explain words and phrases.

◆ Let's look at the verb "take" in Expressions. Look at No.4 "take a night train." You can take a bus, a taxi, or a plane. You can also say "catch a train, a bus, and so on." Look at No.7 "take the exam." You can also say "have the exam" or "sit for the exam." However, don't say "receive the exam," which is a direct translation from the Japanese phrase.

5 Think and Express! A

1. Have students answer the questions.

Note: Explain the situation described in each picture if necessary.

◆ Look at the pictures and complete the sentences. Use the expressions you have learned on p. 90. In picture (1), the two girls are talking about having dinner tomorrow. In picture (2), Mr. Parker will go somewhere for the winter vacation. In picture (3), Jane has a plan to do some outdoor

BIG DIPPER I, II TEACHER'S MANUAL 付属 教授用データ一覧

※教授用データの一部は、弊社HPからダウンロードによってご利用する場合があります。

収録データ	形式	概要
教科書紙面PDF	PDF	教科書の紙面PDFデータ
Teacher's Book紙面PDF	PDF	Teacher's Bookの紙面PDFデータ
プレゼンテーション用スライド	Power Point	本課の例文などの提示のほか、音声も流せる授業用スライド。Googleスライド形式もダウンロードでご利用！
本文データ	Word	教科書紙面のWordデータ
解答(例)	Word	教科書の各演習問題や活動の解答(例)
音声スクリプト	Word	教科書掲載のリスニング問題の音声スクリプト
本文和訳例	Word	教科書掲載の例文の和訳例
提出用シート	Word	教科書の各演習問題や活動の解答を書き込めるシート
Part 1ハンドアウト	Word	Part 1の文法事項をまとめた補助プリント
問題演習シート	Word	自由度の高い演習問題を空所補充形式にしたシート
ヒント付き提出シート	Word	教科書の各表現活動について適宜ヒントを掲載した提出用シート
ディクテーションシート	Word	教科書のリスニング・スクリプトを利用したディクテーション問題のシート
定期考査用リスニング問題	Word	定期考査用に利用できるリスニング問題のスクリプト
評価問題	Word	定期考査用に利用できる演習問題
補充問題	Word	各課で学習した内容を確認できる問題
暗唱例文集	Word	教科書に出てくる表現の定着を図る暗唱例文集
単語熟語学習シート	Excel	本課掲載語句をまとめたリスト
Words & Phrases	Excel	教科書Words & Phrasesのデータ (Iのみ)
パフォーマンステスト NEW!	Word	各レッスンにおいて3領域の評価ができるパフォーマンステスト例
ワークブック(準拠教材)	Word	準拠教材「ワークブック」のデータ
レッスンブック(準拠教材)	Word	準拠教材「レッスンブック」のデータ
観点別評価など	Word Excel	観点別評価規準例、単元別領域別評価規準、教科書の特色、年間指導計画案を収録
Can-Doリスト	Excel	各課の学習到達目標
指導手順案	Word	教科書本課の指導手順案
ループリック評価表	Excel	教科書掲載のループリック評価表、単元別観点別ループリック例
参考書・文法テキスト対応表	Excel	当社発行の文法参考書との文法事項についての対応表
QRコンテンツPDF NEW!		教科書のQRコンテンツの一部(補充問題など)
数研Test Master		文法テスト作成システム (Iのみ)
Googleフォーム/ Microsoft Forms	Excel	オンラインで管理可能なフォーム形式の小テスト ※弊社HPからのダウンロードによってご利用方法などをご案内いたします。

● Googleスライド / Googleフォーム・Microsoft Forms (小テスト) の画面の一例

Lesson 9

B.E. 11 「～するとよい」「～しなければならない」

① You should go to this exhibition.
この展覧会に行くといいよ。

② You must see these pictures.
これらの絵は見ておかないといけないよ。

彼はその展覧会を楽しんだにちがいない。
He () the exhibition.

must have enjoyed

have to enjoy

had to enjoy

must be enjoying

サヤはかぜをひいていたのかもしれない。
Saya () a cold.

may have

may have had

must catch

must have caught

8. 彼はその展覧会を楽しんだにちがいない。
He () the exhibition. (1点)

must have enjoyed

have to enjoy

had to enjoy

must be enjoying

9. サヤはかぜをひいていたのかもしれない。
Saya () a cold. (1点)

may have

may have had

must catch

must have caught

▲Googleスライド

▲Googleフォーム

▲Microsoft Forms

付属DVD-ROM: 教科書を有効に活用するための豊富なデータを収録



解説動画の詳細はこちら!

QRコードからアクセスできる「解説動画」とともに、レッスンの内容理解を深めます。

▶解説動画 p.7

付属DVD-ROM データ紙面の一例

① 教科書紙面PDFデータ

Lesson 9 Visiting a Museum

B.E. 11 「～するとよい」「～しなければならない」

① You should go to this exhibition. → この展覧会に行くといいよ。
② You must see these pictures. → これらの絵は見ておかないといけないよ。

Notes

「～するとよい」「～すべきである」は should を、「～しなければならない」は must を用いて表します。must の方が、should よりも意味が強くなります。

Let's Check It!

(1) The movie is good. You () () it. (褒めたい)

(2) The movie is great. You () () it. (褒めたい)

(3) You () () () the staff room today. (入ってほしい)

B.E. 12 「～だっただけに」「～すべきだったのに」など

① Tom may have arrived there early. → トムは早く来たのかもしれない。
② He must have enjoyed the exhibition. → 彼はその展覧会を楽しんだにちがいない。
③ We should have visited it last week. → 私たちは先週そこを訪ねるべきだった。

Notes

過去のことについて、「～だっただけに」「～すべきだったのに」と推察する場合は must (may) + have + 過去分詞 を使います。また、(should + have + 過去分詞) は、「～すべきだったのに」と過去のことについての後悔などを表します。

Let's Check It!

(1) Sara () () () a cold. (かぜをひいていたのかもしれない)

(2) He didn't answer the phone. She () () () sleeping. (寝ていたにちがいない)

(3) I () () () more money by now. (ためておくべきだった)

② プレゼンテーション用スライド

Lesson 9

B.E. 11 「～するとよい」「～しなければならない」

① You should go to this exhibition.
この展覧会に行くといいよ。

② You must see these pictures.
これらの絵は見ておかないといけないよ。

Lesson 9

[Notes]

「～するとよい、～すべきである」は should を、「～しなければならない」は must を用いて表します。must のほうが、should よりも意味が強くなります。

③ Teacher's Book紙面PDFデータ

Lesson 9 Visiting a Museum

B.E. 11 「～するとよい」「～しなければならない」

① You should go to this exhibition. → この展覧会に行くといいよ。
② You must see these pictures. → これらの絵は見ておかないといけないよ。

Notes

「～するとよい」「～すべきである」は should を、「～しなければならない」は must を用いて表します。must の方が、should よりも意味が強くなります。

Let's Check It!

(1) The movie is good. You () () it. (褒めたい)

(2) The movie is great. You () () it. (褒めたい)

(3) You () () () the staff room today. (入ってほしい)

B.E. 12 「～だっただけに」「～すべきだったのに」など

① Tom may have arrived there early. → トムは早く来たのかもしれない。
② He must have enjoyed the exhibition. → 彼はその展覧会を楽しんだにちがいない。
③ We should have visited it last week. → 私たちは先週そこを訪ねるべきだった。

Notes

過去のことについて、「～だっただけに」「～すべきだったのに」と推察する場合は must (may) + have + 過去分詞 を使います。また、(should + have + 過去分詞) は、「～すべきだったのに」と過去のことについての後悔などを表します。

Let's Check It!

(1) Sara () () () a cold. (かぜをひいていたのかもしれない)

(2) He didn't answer the phone. She () () () sleeping. (寝ていたにちがいない)

(3) I () () () more money by now. (ためておくべきだった)

①教科書紙面PDFデータ
②プレゼンテーション用スライド

対面・リモートでの授業にお役立ていただけます。プレゼンテーション用スライドでは音声も利用できます。

※PowerPointとGoogleスライド形式の両方をご用意!

③Teacher's Book紙面PDFデータ

教授資料に付属するTeacher's BookのPDFデータです(英文の和訳・解答例・スクリプト・Part 2 指導手順案を掲載)。ご授業の準備にお役立ていただけます。

教授資料・付属データ



データサンプルはこちら!

④ 本文 2 ページめ

Let's Check It! 12
*各文を完成させて、高欄に使う状況を思い浮かべながら書いてみよう。

(1) Saya () () () a cold.
(かぜをひいていたのかもしれない)

(2) Eri didn't answer the phone. She () () () sleeping.
(眠っていたにちがいない)

(3) I () () () more money by now.
(ためておくべきだった)

⑤ 33
Activity
[A] () 内の語のうちより適切なほうを選んで、完成した文を書いてみよう。
(1)(2)(3)(4) → B.E. 11, (5)(6)(7) → B.E. 12

(1) We (should / shouldn't) read that book. Many people recommend it.
(2) When you play sports, you (must / mustn't) follow the rules.
(3) You (mustn't / don't have to) tell him everything. It's your choice.
(4) I (must / had to) go to the dentist after school yesterday.
(5) I can't find my pencil case. I (must / should) have left it at home.
(6) Kana (may / can't) have said such a terrible thing. She's a very nice girl.
(7) I overslept. I (can't / should) have set the alarm.

[B] 写真・イラストの内容を要すように空所を埋めて、完成した文を書いてみよう。
(1)(2) → B.E. 11, (3)(4) → B.E. 12

(1) (2) (3) (4)
Hint: [hurry] [touch] [miss] [practice]

(1) We _____ . The meeting will begin soon.
(2) You _____ the museum exhibits.
(3) Bob hasn't arrived yet. He _____ the bus.
(4) I _____ more before the concert.

⑤ 解答・解説

Lesson 9 Visiting a Museum [解答・解説] (pp. 32-33)

■ Let's Check It! 解答例
[1] (1) should see/watch (2) must see/watch
(3) must not enter / mustn't go/get, come in/into
[2] (1) may have had (2) must have been
(3) should have seen

■ Let's Check It! 解説
[1] (1)(2) 主要例文①②を参照。①「動めるとき」は、「見たほうがいいよ」という意味で、「勧誘」を表す should を用いる。②「強く勧めるとき」は「見ないといけないよ」という意味で must を用いる。
③「禁止」を表す must not/mustn't を用いる。空所の数から、動詞 mustn't を用いる場合は、残り2語を go/come, get in/into とする。enter は自動詞なので、enter the staff room となる点に注意。
[2] (1) 「～かもしれない」の may に have + 過去形分詞を続ける形。なお、Saya may have caught a cold とすると、Saya is still ill now の言葉が辻褄が合わない。日本語は「かぜをひいたのかもしれない」となる。
②「～にちがいない」の must に have + 過去形分詞を続ける形。進行形の場合は、have been doing のように be が過去形分詞となる。
③「～べきだ」の should に have + 過去形分詞を続ける形。「お金」をためる is save を用いる。

■ Activity 解答例
[A] (1) should (2) must (3) don't have to
(4) had to (5) must (6) can't (7) should
[B] (1) must have to, should hurry (2) mustn't/don't have to touch
(3) may/must have missed (4) should have practiced

■ Activity 解説
[A] (1) 第2文の「たかさんの人が勧めている」という状況から「読むべきだ、読んでほしい方がいい」という意味を表現する。recommend (～を勧める、推薦する) の意味に注意。
(2) 第1文の「スポーツをするときは」に注意させる。follow は「～に従う」の意味。
(3) 第2文の It's your choice. (あなたが決めることです) に合うのは don't have to (不必要) となる。mustn't (禁止) では文脈に合わない。choice は「選択」などの意味。The choice is yours. という表現もある。また、not ~ everything (すべてを～するわけではない) (部分否定) の意味に注意。

⑦ ハンドアウト

Lesson 9 Visiting a Museum (pp. 32-33)

B.E. 11 「～するとよい」「～しなければならない」 助動詞 should / must

① 勧誘・義務を表す should: 「～するとよい。～すべきである」
この展覧会に行くというよ。
→ You _____ to this exhibition.

② 義務・必要を表す must: 「～しなければならない」
これらの絵は見ておかないといけないよ。
→ You _____ three pictures.

◆ must のほうが should よりも意味が強くなります。
◆ 「～しなければならない」は -have to- を用いて表すこともできます。
I had to get up early yesterday. (通学を表す場合は、must)
(昨日は早く起きなければいけなかった。)

◆ must not/mustn't は「～してはいけない(禁止)」。don't/don't have to は「～しなくてもよい(不必要)」の意味になります。

B.E. 12 「～だったにちがいない」「～すべきだったのに」など 助動詞+have+過去分詞

③ 過去のことについての推量を表す -may+have+過去分詞-:
「～だった[した]かもしれない」
トムはそこに早く着いたのかもしれない。
→ Tom _____ there early.

④ 過去のことについての強い推量を表す -must+have+過去分詞-:
「～だった[した]にちがいない」
彼はその展覧会を楽しんだにちがいない。
→ He _____ the exhibition.

⑤ 過去のことについての後悔・非難を表す -should+have+過去分詞-:
「～すべきだったのに」
私たちは先週そこを訪ねるべきだった。
→ We _____ it last week.

◆ -can't/mustn't+have+過去分詞- は「～したはずがない」の意味を表します。
Sam was with us last night, so you can't have seen him at the stadium.
(サムがスタジアムにいたはずなのに、あなたが彼を見て見かけたはずがありません。)

⑧ 問題演習シート

Lesson 9 Visiting a Museum [問題演習シート] (pp. 32-33)

Activity
[B] 写真・イラストの内容を要すように空所を埋めて、完成した文を書いてみよう。
(1)(2) → B.E. 11, (3)(4) → B.E. 12

(1) (2) (3) (4)
Hint: [hurry] [touch] [miss] [practice]

(1) We () () () . The meeting will begin soon.
(2) You () () () the museum exhibits.
(3) Bob hasn't arrived yet. He () () () the bus.
(4) I () () () more before the concert.

Class _____ No. _____ Name _____

⑥ 提出用シート

Lesson 9 Visiting a Museum [提出用シート] (pp. 32-33)

Let's Check It! 11
(1) The movie is good. You () () () it.
(2) The movie is great. You () () () it.
(3) You () () () the staff room today.

Let's Check It! 12
(1) Saya () () () a cold.
(2) Eri didn't answer the phone. She () () () sleeping.
(3) I () () () more money by now.

Activity
[A] (1) We (should / shouldn't) read that book. Many people recommend it.
(2) When you play sports, you (must / mustn't) follow the rules.
(3) You (mustn't / don't have to) tell him everything. It's your choice.
(4) I (must / had to) go to the dentist after school yesterday.
(5) I can't find my pencil case. I (must / should) have left it at home.
(6) Kana (may / can't) have said such a terrible thing. She's a very nice girl.
(7) I overslept. I (can't / should) have set the alarm.

[B] (1) We _____ . The meeting will begin soon.
(2) You _____ the museum exhibits.
(3) Bob hasn't arrived yet. He _____ the bus.
(4) I _____ more before the concert.

Express Yourself
① _____

Class _____ No. _____ Name _____

④ 本文
テストやプリント類の作成用データです。本課に加え、Express It Logically などのデータも収録しています。イラスト等を用いた問題には、イラスト等のデータも掲載しています。

⑤ 解答・解説・スクリプト・和訳
教科書の問題の解答と各小問の解説を載せています。また、スクリプトと和訳のデータも、それぞれファイルを分けて用意しています。

⑥ 提出用シート
問題演習の解答を記入して提出するためのシートです。ノート作りにも役立ちます。また、解答例付きのシートもありますので、自学自習での答え合わせにも対応できます。

⑦ ハンドアウト
Part 1 の文法解説をまとめた補助プリントです。文法事項の input を促します。また、output の時間を確保する場合にも活用できます。

⑧ 問題演習シート
イラスト表現問題などの問題演習を空所補充形式にして、解答しやすくしたシートです。文法事項の定着の問題演習としても活用できます。

⑨ 表現活動ヒント付き提出シート
Express Yourself! などの表現活動につき、無理なく取り組めるように、語句のヒントをつけるなどした提出用シートを用意しました。

ほか、⑩ディクテーション用シート ⑪暗唱例文集 ⑫単語熟語学習シート もご用意しています。

⑨ 表現活動ヒント付き提出シート

Lesson 9 Visiting a Museum [Express Yourself! 活用シート] (p. 33)

▼ Tell what happened and give your conclusion.

① Ex.) John said he wanted to read the magazine, so he may have bought a copy. I had a very bad score on the exam. I should have studied harder.

[Hint] 過去に関する推量 -may/may+have+過去分詞- や後悔 -should+have+過去分詞- の表現を用いて、「何が起きたか」を話し、結論を書いてみよう。
(「過去に関する推量」の活用)
家に帰ったかもしれない。I may have gone home.
夜の間に部屋が壊れたにちがいない。must have rained during the night.
(「過去に関する後悔」の活用)
もっと早く寝ておくべきだった。should have gone to bed earlier.
⇒ その他、Words & Phrases p.92 「1日の行動」「学校生活」を参照。

② Ex.) A: John said he wanted to read the magazine, so he may have bought a copy.
B: I think so, too. He is very interested in Japanese pop.

[Hint] 「過去の推量」に関しては、Ex. で示したように、賛成(または不賛成)とその理由を述べるなどとする。また、「過去に対する後悔」については、相手の過失に対して、It's okay to make mistakes. You'll do even better next time! (励まし) や、It happens to all of us, but you really need to manage your time better. (高感と忠告) などと応答してみよう。

Class _____ No. _____ Name _____



改訂版 チャート式シリーズ

BIG DIPPER

ビッグ・ディッパー高校英語
元 関西学院大学教授 田中 実 監修
税込定価 1,650円



参考書の詳細は
こちら！

◆英文法の基礎を無理なく学べる

—教科書で学習した文法事項の理解をさらに深めることができます

A5判 / 480頁 / 別冊解答 (56頁) / 暗唱例文集 (40頁) / 基本例文書き込みノート (64頁)
※Essence of Expression [表現のエッセンス] (40頁) で教科書と連携した学習をサポート！
数研テストマスター完備 / デジタル副教材 (エスビューア；別売) ⇒p.94

◆QRコードから以下の活動が可能！

文法解説動画の視聴 / 例文音声のリスニング / <数研発音マスター>を用いたスピーキング練習

◆チャート×ラボからGoogle フォーム / Microsoft Formsテストデータ (レディメイドタイプ) と音声データがご利用いただけます。

導入ページ

中学校の復習から段階的に学習を深めていきます

例題により理解の定着を確認します

導入部分では、親しみやすい対話形式の解説を取り入れています

第5章

助動詞

助動詞とは…



例えば can「～できる」のように、動詞の前におかれ、動詞だけでは表せない意味をつけ加えて動詞を助ける働きをするものを助動詞といいます。



例文音声・発音練習
解説動画

この章で学ぶこと

- | | | | |
|----------------|-----|--------------------|-----|
| 1 can/could | 102 | 5 shall/will/would | 111 |
| 2 may | 104 | 6 used to | 115 |
| 3 must/have to | 106 | 7 (助動詞+have+過去分詞) | 117 |
| 4 should | 109 | | |

Play Back!

下の□内から適当な語を1つずつ選び、文を完成しよう。

- Hina [] run very fast.
(ヒナはとても速く走ることができます。)
- [] I sit here?
(ここに座ってもよろしいですが。)
- You [] go home now.
(君は今すぐ家に帰らなければなりません。)
- Young people [] see that movie.
(若い人たちはあの映画を見るべきです。)

may, can, should, must



上の can, may, must, should などが助動詞ですね。



動詞の前について「～できる」とか「～してもよい」とかの意味を表すんですね。



そうだね。助動詞は動詞に話し手の判断や気持ちなどの新たな意味を加えて、動詞を助けているんだ。後にくる動詞は必ず原形になることに注意しよう。それと、助動詞は動詞の仲間だけど、主語によって形が変わることがないという点にも注意が必要だね。

- Hina can run very fast.
(原形)
× Hina cans run very fast.

次ページの(助動詞の特徴)を
しっかり確認しておこう！



Play Back! ①can ②May[Can] ③must ④should[must]

101

5

助動詞



助動詞に共通の特徴として、次のことを頭に入れておきましょう。

(助動詞の特徴)

- 動詞の原形がすぐ後にくる。
Lily can swim. (× can swims) (リリーは泳げます。)
原形
- 主語の人称・数による変化がない。
He may be tired. (× mays) (彼は疲れているのかもしれない。)
- 否定文は(助動詞+not)。
You must not take pictures here.
(ここで写真を撮ってはけません。)
疑問文は(助動詞+主語+動詞の原形～?)。
Can you join the party? (パーティーに参加できますか。)



〈 〉内の意味になるように、下の□内から助動詞を選び、文を完成しよう。(同じ助動詞を2度使ってもよい。) ⇒p.103

- Aya plays the piano.
Aya () () the piano. (～できる)
- Ken knows her name.
Ken () () her name. (～かもしれない)
- That boy is Tsubasa.
That boy () () Tsubasa. (～にちがいない)
- The students leave now.
The students () () now. (～してもよい)
- You brush your hair every day.
You () () your hair every day. (～すべきだ)

must, can, may, should

簡潔なまとめで、理解を整理します

導入部分でのおさらいとして「確認ドリル」でチェックします

- ◆「4技能」に活かせる基礎力の育成に最適の内容。
- ◆シンプルでわかりやすい例文、豊富な図解やイラストで、無理なく理解を深めることができます。

QRコードから「文法解説動画」「暗唱例文音声」にアクセスできます
 ◆小社発音判定アプリ「数研発音マスター」で、音読・発話練習もバッチリ

基本的で理解しやすい
 英文：教科書「改訂版
 BIG DIPPER 論理・表
 現I」と連携していま
 す

基本から発展へ、解説
 を段階的に深めていき
 ます。共通テストの準
 備として必要十分な内
 容を扱うようにしてい
 ます

How to Use It (こん
 なふうを使う！)では、
 学習した文法事項を、
 実際の表現につなげる
 ヒントを示しました

1 can/could

A 「～できる」〈能力・可能〉

◆ Mr. White **can** speak five languages. 53
 (ホワイト先生は5か国語を話せる。)

- ▶ 「～する能力がある」「～することが可能である」(=～できる)の意味を表す。
 ◆ Can you ride a bike? — Yes, I can. / No, I can't. 〈能力〉
 (あなたは自転車に乗れますか。—はい、乗れます。/いいえ、乗れません。)
- ▶ 否定形は **cannot** (can notは使わない)。会話では **can't** がよく使われる。
 ◆ Lucy cannot (can't) swim. (ルーシーは泳げません。)
- ◆ Can you come at ten? 〈可能〉 (10時に来ることができますか。)

注意 ① 〈be able to+動詞の原形〉「～できる」

「～できる」は **(be able to+動詞の原形)** でも表せる。現在形ではふつう **can** を使う。

Bob **is able to** (=can) swim fast. (ボブは速く泳ぐことができる。)
 次の場合は can の代わりに (be able to →) を使う。ほかの助動詞と一っしょ
 に使う場合 ×will can のように、助動詞を2つ重ねて使うことはできない。

- 過去「(実際に)できた」 ◆ 1回だけできた ことを表す。
 ◆ John helped me, so I **was able to** finish the homework.
 (ジョンが手伝ってくれたので、私は宿題を終えることができた。)(実際にできた)
- ① could も「～できた」を表すが、ふつう「～する能力があった」の意で使う。
 ② 「～できなかった」は couldn't/wasn't(weren't) able to ~ の両方可。
- 未来「～できるようになるだろう」、完了形「(ずっと)～できている、など」
 ◆ The baby **will be able to** walk soon. (その赤ちゃんはすぐに
 歩けるようになるだろう。)
- 助動詞と一っしょに使う場合
 I **may be able to** arrive earlier. (もっと早く来ることができるかもしれない)

How to Use It こんなふうを使う！

失礼にならない「～できますか」の尋ね方

言語や演奏・スポーツなどの能力を問うときに、Can you ~? は、相手の能力を
 からさまに尋ね、無遠慮な感じを与えるので、Do you ~? を使うことが多い。
 ◆ Do you speak Japanese? (あなたは日本語を話しますが[話されますか]。)

B 「～してもよい」〈許可〉

◆ We **can** use these dictionaries. (私たちはこれらの辞書を使ってもよい。) 54

- ▶ 「～することが可能」→「～してもよい」の意味を表す。
 ◆ You can stay here until the rain stops. (雨がやむまでここにいてもいいよ。)
 - ▶ Can I ~? / Can we ~? は「～してもよいか」と〈許可〉を求める表現。
 否定形は「～してはいけない」(軽い禁止)。
 ◆ Can I talk to you now? — Sure. (今話をしてもいい? — いいよ。)
 - ▶ Could I ~? / Could we ~? は「～してもよろしいでしょうか」とていねいに
 〈許可〉を求める表現。
 ◆ Could I ask you a question? — Of course, you can. (×could).
 (質問をしてもよろしいでしょうか。—もちろんです。)
- 受け答えは、could ではなく、can ことに注意。

C 「～してくれませんか」〈依頼〉

◆ Can you show me your textbook? — Of course. 55
 (教科書を見せてくれる? — もちろんいいよ。)

◆ Could you (please) show me your dictionary? 56
 — Sure. Here you are.
 (辞書をちょっと見せていただけますか。—いいわ。はい、どうぞ。)

- ▶ Can you ~? は「～してくれない?」という〈依頼〉の意味を表す。
- ▶ Could you ~? は「～していただけますか」とていねいに〈依頼〉をする表現。
 (⇒下の How to Use It)

How to Use It こんなふうを使う！

お願いします！

人に頼みごとをするときには友達になら **Can you** ~?。
 年上の人や初対面の人には **Could you** ~? を使うとよいで
 しょう。過去形の could を使うと、現実から離れた感じが出せ
 ます。言い切ることを避けた、控えめな表現になります。→ 規定法 p.276

◆ Could you do me a favor, Ms. Chan? — Of course.
 (チャン先生、お願いがあるんですが。—いいわよ。)

◆ Can you do me a favor, Ken? — OK.
 (ケン、頼みがあるんだけど。—いいよ。)



How to

p.101 1)can play 2)may know 3)must be
 4)can[may] leave 5)should[must] brush

- ・誤答チェック (よく見られる誤りと正答からの注意喚起)
- ・Step Up (発展的な文法事項の学習)
- ・English in Real Situations (文法事項の実用例) などのコラムも充実しています

章末問題での豊富な文法演習に加え、資格・検定試験に通じる問題も適宜扱っています

別冊 Essence of Expression [表現のエッセンス]

- ◆教科書 Revised BIG DIPPER English Logic and Expression I の文法事項をおさらいできる冊子です。
- ◆教科書の例文に参考書の解説を補足し、教科書との連携学習を強化します。

Lesson 8 Our Teachers

助動詞を使った英文の作り方

肯定文: 主語(～は・～が) + 助動詞 + 動詞の原形 ~.

否定文: 主語(～は・～が) + 助動詞 + not + 動詞の原形 ~.

疑問文: 助動詞 + 主語(～は・～が) + 動詞の原形 ~?

動詞の前において、動詞だけでは表せない意味を付け加えて動詞を助ける働きをします。

B.E.9 「～できる」「～してもよい」 (pp.102~104)

- Mr. White can speak five languages. ▶ ホワイト先生は5か国語を話せる。
- We can use his dictionaries. ▶ 私たちは彼の辞書を使ってよい。
- May I study here? — Yes, certainly. ▶ ここで勉強してもよろしいですが、一ええ、かまいません。

1 can / could

「～できる」(能力・可能)

▶ 「～する能力がある」「～することが可能である。」(=「～できる」の意味を表す。)

Can you ride a bike? — Yes, I can. / No, I can't. (能力)

(あなたは自転車に乗れますか。—はい、乗れます。/いいえ、乗れません。)

▶ 否定形は cannot (can not) が使われず、会話では can't がよく使われる。

2 (be able to + 動詞の原形) 「～できる」

「～できる」は (be able to + 動詞の原形) でも表せる。現在形では必ず can を使う。

次の場合は can の代わりに (be able to ~) を使う。ほかの助動詞といっしょに使う場合 will can のように、助動詞を2つ重ねて使うことはできない。

- 過去「(実際に)できた」
- John helped me, so I was able to finish the homework. (ジョンが手伝ってくれたので、私は宿題を終えることができた。)
- 未来「～できるようになるだろう」。
- The baby will be able to walk soon. (その赤ちゃんはすぐに歩けるようになるだろう。)

3 「～してもよい」(許可)

▶ 「～することが可能」→「～してもよい」の意味を表す。

You can stay here until the rain stops. (雨がやむまでここにいてもいいよ。)

教科書「改訂版 BIG DIPPER 論理・表現 I」の例文を掲載



参考書「改訂版 チャート式シリーズBIG DIPPER 高校英語」の解説で、理解を深めます

●BIG DIPPER シリーズ 準拠シリーズ・文法参考書付属物のご案内●

- 文法学習用テキスト
- 改訂版 BIG DIPPER ENGLISH GRAMMAR in 25 STAGES (25ディッパー-英文法) 税込定価 693円
- 改訂版 BIG DIPPER ENGLISH GRAMMAR in 21 STAGES (21ディッパー-英文法) 税込定価 671円



- 生徒用別冊解答編付/教授用資料完備/数研テストマスター完備
- ◆QRコードから以下の活動が可能!
 - 例文の音声再生/〈数研発音マスター〉でスピーキング練習
 - ◆チャート×ラボからGoogle フォーム / Microsoft Formsテストデータ (レディメイドタイプ) がご利用いただけます。

本課 (「25ディッパー-英文法」)

本課 (「21ディッパー-英文法」)

「25 英文法」の見開き最後の1問は参考書 How to Use It で扱っているような日常的内容を表現する問題です

項目対応型の問題と総合問題の演習によって、学習した文法事項の定着を図ります

- 文法学習用ワークブック
- 改訂版 WORKBOOK for BIG DIPPER ENGLISH GRAMMAR in 25 STAGES (25ディッパーワーク) 税込定価 539円
- 改訂版 WORKBOOK for BIG DIPPER ENGLISH GRAMMAR in 21 STAGES (21ディッパーワーク) 税込定価 506円
- 生徒用別冊解答編付/数研テストマスター完備



本課 (「25ディッパーワーク」)

「25 ワーク」の見開き最後の1問は、資格・検定試験対策にも役立つ問題です

Now Printing

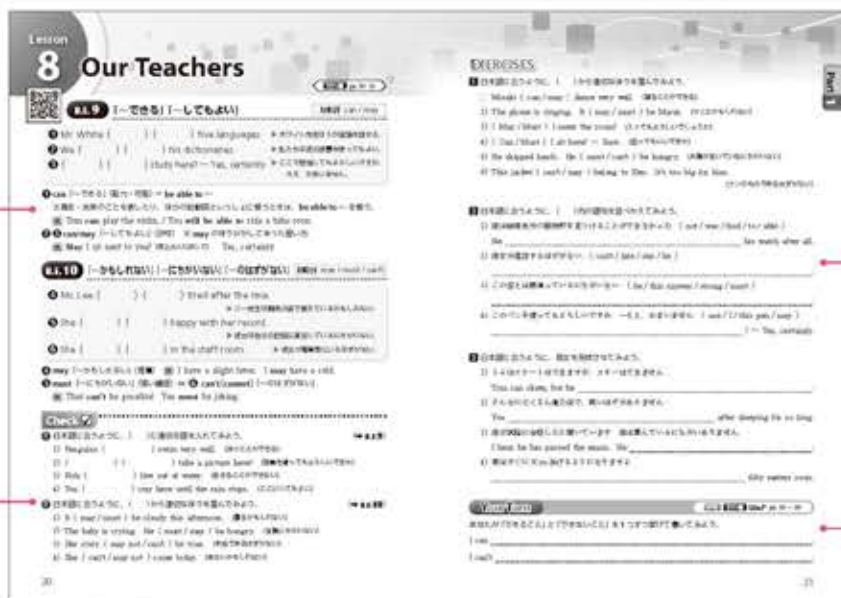


ワークブック (復習用ワーク)

Ⅰ B5判 88頁 / 別冊解答(48頁) 別冊包 / 税込定価704円
Ⅱ B5判 56頁 / 別冊解答(32頁) 別冊包 / 税込定価 未定



- 教科書に合わせたパート構成で、効率よく教科書の復習ができます。
PART 1 : 文法事項の再確認+練習問題 (2ページ構成)
PART 1 Review : 教科書演習の練習問題 (1ページ構成) (Ⅰのみ)
PART 2 : 重要表現の確認+ディクテーション (1ページ構成)
PART 3 : プレゼンテーションなどで使う表現の確認 (6ページ分) (Ⅱのみ)
- 自己表現問題で無理なく「書く力」を養うことができます。
- QRコードからの音声再生 (PART 1 基本例文・PART 2 リスニング問題) に対応しています。



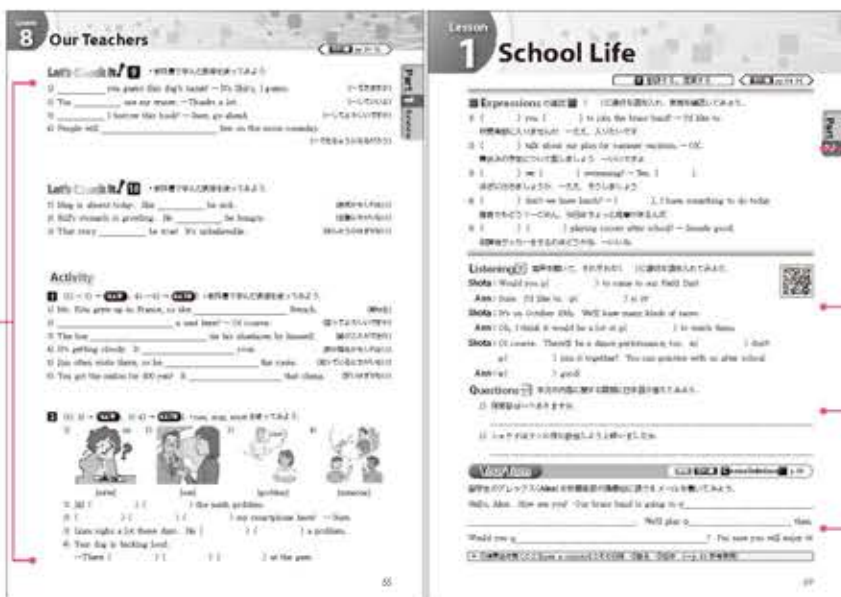
空所補充形式の例文と簡潔な解説で、文法事項の再確認

項目対応型の練習問題

空所補充→
語句整序→
部分英作で
段階的な演習が可能

自己表現問題

▲ワークブックⅠ PART 1



教科書演習の練習問題 (空所補充形式)

空所補充形式で重要表現の確認

ディクテーション

会話文に関する内容把握問題

自己表現問題 (ヒント付)

▲ワークブックⅠ PART 1 Review (Ⅰのみ)

▲ワークブックⅠ PART 2

準拠教材の詳細はこちら!



*表記の金額はすべて税込価格です。

Now Printing



レッスンブック (文法授業用テキスト)

Ⅰ B5判 88頁 / 別冊解答(40頁) 別冊包 / 税込定価704円
Ⅱ B5判 48頁 / 別冊解答(24頁) 別冊包 / 税込定価 未定



- 教科書PART 1を補強する教材として最適。文法を網羅的・体系的に習得できます。
- 見開き2ページ構成 [左ページ: 解説, 右ページ: 問題演習] で、テンポよく理解が深まります。
※解説ページの英文の一部に、教科書の主要例文を使用しています。
- 巻頭「学習に必要な基礎知識」で、中学から高校へのスムーズな導入が可能です。(Ⅰのみ)
- 参考書「改訂版 チャート式シリーズ BIG DIPPER 高校英語」に完全準拠 (参照ページ付)。



NEW!
★待望の「レッスンブックⅡ」が登場!

項目対応型大問→総合問題で段階的な演習が可能

教科書・参考書の主要例文を使用

参考書「改訂版 チャート式シリーズBIG DIPPER 高校英語」に完全準拠の解説

▲レッスンブックⅠ

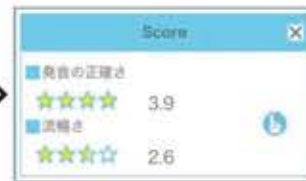
▲レッスンブックⅡ

数研発音マスタープラスのご案内 (→p.7)



このアイコンで示した教材をご採用のうえお申込みいただくと、対応する教科書の数研発音マスタープラス(管理機能付き)をご利用いただけます。
※該当教材の目次・前付けにQRコードがございます。
※申込・アカウント登録不要の通常版発音マスターもご利用いただけます。

「発音マスター」で教科書例文の発音練習!



「発音マスタープラス」で学習履歴を確認!



▲管理画面 (イメージ)

発音マスタープラスの詳細はこちら!



参考書・準拠教材

基本機能

指 学+ 副



ツールバーの位置

ツールバーの位置は、左、下、右に変更できます。画面サイズによっては、左右に配置することで紙面を大きく投影できます。

ツールバーの位置の変更方法
オプションタブ > 設定 > ツールバーの位置

ツールバーのレイアウト

「目次」「コンテンツ集」「教材連携」「本棚」ボタンは、アクセスしやすいようにツールバーに配置しています。



充実の機能

教材連携

購入済のデジタル教科書／デジタル副教材の間で、スムーズな連携ができます。別教材の該当ページや類間をすぐに表示できます。



学習の記録

生徒は、問題を解いて得た気づきを、ノートの写真やコメントと合わせて学習の記録として残すことができます。



宿題管理

先生は、生徒のエスビューアへ宿題を配信することができます。宿題の進捗状況や、生徒が提出した宿題の結果・ノートの写真をいつでも確認することができます。

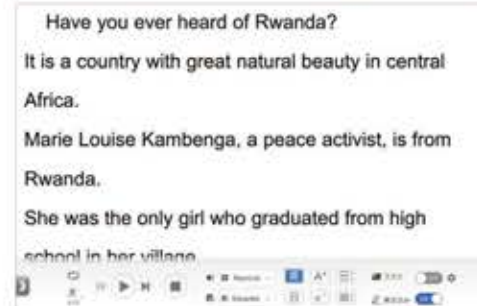
表示制御

先生は、生徒の学習者用デジタル教科書・教材／デジタル副教材に収録されている「答」「解説」「コンテンツ」などについて、要素ごとに「見せる／見せない」を設定できます。

機能向上 テキストビュー

指 学+ 副

新出語や本文を拡大表示できます。日本語訳の表示機能もあり、英語と日本語訳を同時に見せることもできます。カラオケ、フェードイン・アウト、虫食い、フラッシュの5パターンでテキストを再生できます。



文字サイズや行間、音声再生速度の調整も可能。授業の進め方によって、使い分けていただけます。



テキストを表示できる範囲が広がり、使いやすさUP！

フラッシュカード(英コミ)

指 学+ 副

新出語や本文(一部を除く)は、フラッシュカード形式で再生できます。



英語カード、日本語カードを利用して単語の定着にご活用いただけます。



発音記号カード、英日併記カードなどを組み合わせることで、さまざまな運用にも対応可能です。

参考書表示(論表)

指 学+ 副

教科書と関連する参考書の紙面を表示することができます。授業のなかで教科書に関連する参考書紙面を提示しながら、文法の補足説明をする際などにご利用いただけます。



英語 デジタル教科書/デジタル副教材 ラインアップ

【補足：利用期間（教科書使用期間・書籍使用期間）について】
「デジタル教科書/デジタル副教材」は販売終了後、一定の利用期間の後に配信を停止いたします。
配信停止後はオンラインでの利用が不可となりますのでご注意ください。
各商品の利用期間（配信期間）の最新情報は、弊社ホームページ（<https://www.chart.co.jp/software/lineup/expiry/>）をご覧ください。

デジタル教科書/デジタル副教材は **esビューア**にてご利用いただけます。

指導者用デジタル教科書（教材）

電子黒板などで教科書紙面やコンテンツを拡大して提示する、先生用の教材です。

商品名	収録書籍	No.	価格(税込)	データサイズ	発売日
指導者用デジタル教科書(教材) 改訂版 English Communication I	[Revised BLUE MARBLE English Communication I] [Revised BIG DIPPER English Communication I] [Revised COMET English Communication I]	54290	55,000円	約 3.5GB	販売中
指導者用デジタル教科書(教材) 改訂版 English Communication II	[Revised BLUE MARBLE English Communication II] [Revised BIG DIPPER English Communication II] [Revised COMET English Communication II]	54294	未定	未定	2027年3月 発売予定
指導者用デジタル教科書(教材) 改訂版 English Logic and Expression I	[Revised EARTHRISE English Logic and Expression I Advanced] [Revised EARTHRISE English Logic and Expression I Standard] [EARTHRISE English Logic and Expression I Essential] [Revised BIG DIPPER English Logic and Expression I]	54302	55,000円	約 2.5GB	販売中
指導者用デジタル教科書(教材) 改訂版 English Logic and Expression II	[Revised EARTHRISE English Logic and Expression II Advanced] [Revised EARTHRISE English Logic and Expression II Standard] [EARTHRISE English Logic and Expression II Essential] [Revised BIG DIPPER English Logic and Expression II]	54306	未定	未定	2027年3月 発売予定

■利用期間：教科書使用期間 ■ライセンス：校内フリーライセンス ■購入方法：教科書取扱店へ ■納品物：アプリ版インストール用 DVD-ROM
■価格情報：下記参照

基本機能	スライドビュー	デジタル コンテンツ	教材連携	学習の記録	演習モード	先生向け機能	
						収録管理	表示制御
○※1	○	○	○	○	—	○※2	○※2

※1 特別支援機能は含まれません。
※2 「学習者用デジタル教科書・教材」または「学習者用デジタル副教材」ご採用時に利用可能な機能です。

学習者用デジタル教科書・教材

生徒一人一人の端末で使用する、生徒用の教材です。

科目	商品名	No.	価格(税込)	データサイズ	発売日
英語コミュニケーション I	学習者用デジタル教科書・教材 Revised BLUE MARBLE English Communication I	4384172D01	各 935円	未定	販売中
	学習者用デジタル教科書・教材 Revised BIG DIPPER English Communication I	4384187D01			
	学習者用デジタル教科書・教材 Revised COMET English Communication I	4384202D01			
英語コミュニケーション II	学習者用デジタル教科書・教材 Revised BLUE MARBLE English Communication II	4384177D01	未定	未定	2027年3月 発売予定
	学習者用デジタル教科書・教材 Revised BIG DIPPER English Communication II	4384192D01			
	学習者用デジタル教科書・教材 Revised COMET English Communication II	4384207D01			
論理・表現 I	学習者用デジタル教科書・教材 Revised EARTHRISE English Logic and Expression I Advanced	4384217D01	各 935円	未定	販売中
	学習者用デジタル教科書・教材 Revised EARTHRISE English Logic and Expression I Standard	4384232D01			
	学習者用デジタル教科書・教材 EARTHRISE English Logic and Expression I Essential	4384261D01			
	学習者用デジタル教科書・教材 Revised BIG DIPPER English Logic and Expression I	4384247D01			
論理・表現 II	学習者用デジタル教科書・教材 Revised EARTHRISE English Logic and Expression II Advanced	4384222D01	未定	未定	2027年3月 発売予定
	学習者用デジタル教科書・教材 Revised EARTHRISE English Logic and Expression II Standard	4384237D01			
	学習者用デジタル教科書・教材 EARTHRISE English Logic and Expression II Essential	4384266D01			
	学習者用デジタル教科書・教材 Revised BIG DIPPER English Logic and Expression II	4384252D01			

ご採用いただく、数研教育マスタープラス（管理機能付）をご利用いただけます。
■利用期間：教科書使用期間 ■ライセンス：生徒1人につき1ライセンス必要 ■購入方法：直接教研出版へ ■納品物：ライセンス証明書 ■価格情報：下記参照

基本機能	スライドビュー	デジタル コンテンツ	教材連携	学習の記録	演習モード	先生向け機能	
						収録管理	表示制御
○※1	○※2	○※2	○	○	—	○※1	○※1

※1 特別支援機能は含まれません。
※2 表示される内容が「指導者用デジタル教科書(教材)」とは異なります。
※3 先生は「esビューア先生用サイト」より設定する必要があります。

学習者用デジタル副教材

生徒一人一人または先生用の端末で使用する、デジタル副教材です。

シリーズ	商品名	No.	価格(税込)		データ サイズ	発売日
			書籍購入なし	書籍購入あり		
基礎からの 新々総合英語	学習者用デジタル版 新訂版 チャート式シリーズ GRAND EARTH 基礎からの新々総合英語	4311166D01	1,705円	550円	約 1GB	販売中
EARTHRISE	学習者用デジタル版 改訂版 チャート式シリーズ EARTHRISE アースライズ総合英語 — Practical English Grammar and Expressions	4311082D01	1,782円	550円	未定	販売中
BIG DIPPER	学習者用デジタル版 改訂版 チャート式シリーズ BIG DIPPER ビッグ・ディッパー高校英語	4311108D01	1,650円	550円	未定	販売中

■利用期間：書籍使用期間 ■ライセンス：生徒1人につき1ライセンス必要 ■購入方法：直接教研出版へ ■納品物：ライセンス証明書 ■価格情報：下記参照

基本機能	スライドビュー	デジタル コンテンツ	教材連携	学習の記録	演習モード	先生向け機能	
						収録管理	表示制御
○※1	○	○	○	○	—	○※2	○※2

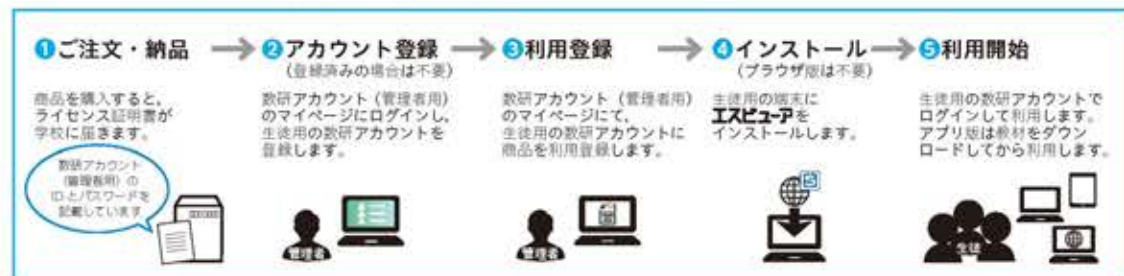
※1 特別支援機能は含まれません。
※2 先生は「esビューア先生用サイト」より設定する必要があります。
(注) 学習者用デジタル副教材をご採用の場合でも、紙の書籍ご採用時と同様にご採用専用データをチャートメウからダウンロードできます。数研アカウントをご利用ください。
(注) 学校採用にて書籍をご購入の場合は、「書籍購入あり」価格(上記)で販売いたします(学習者用デジタル副教材のみ)。
ただし、該当校で採用された書籍と学習者用デジタル副教材の使用者が同じ場合に限ります。

一学習者用デジタル副教材を先生が拡大提示する場合について

- 授業を受ける生徒全員が、該当する紙の書籍または学習者用デジタル副教材を所有している場合は、先生による拡大提示用途としてご利用いただけます。
- 授業を受ける生徒全員が、該当する紙の書籍または学習者用デジタル副教材を所有していない状況（または一部生徒しか所有していない場合）で、先生による拡大提示用途としてご利用いただく場合は、ユーザーライセンスに加えて「提示用オプション」をご購入いただく必要があります。
- 「提示用オプション」について、詳しくは弊社ホームページをご確認ください。発売予定の商品については、決まり次第お知らせいたします。

ご利用までの流れ（学習者用デジタル教科書・教材、学習者用デジタル副教材）

※先生が学習者用商品を利用する場合は、下記②～⑤の「生徒用」を「先生用」と読み替えてください。



(注) 指導者用デジタル教科書(教材)のご利用までの流れは、弊社ホームページ (<https://www.chart.co.jp/software/digital/s/flow/>) をご覧ください。

動作環境

- 動作環境の詳細は弊社ホームページをご覧ください。
- 1ライセンスでアプリ版とブラウザ版の両方をご利用いただけます。

アプリ版

Windows 11
iPadOS 17/18/26
※Windows 11のSモードには非対応です。

ブラウザ版

OS: Windows 11
OS: Chrome OS 最新版
OS: iPadOS 17/18/26

ブラウザ: Google Chrome/Microsoft Edge
ブラウザ: Google Chrome
ブラウザ: Safari

指導用教材ラインナップ

*指導者用デジタル教科書(教材)はp.94に掲載。

書籍NO	書名	税込価格	仕様・掲載内容など
I 45397 II 45399	Revised BIG DIPPER English Logic and Expression I/II TEACHER'S MANUAL	I 25,300円 II 未定	① 本冊(教科書ページごとの詳細な解説) ② Teacher's Book ③ DVD-ROM1枚(教科書・TB紙面PDFデータ/授業用スライドデータ/本文・解答例等データ/準拠ワークデータ/各種テスト等を収録)
I 45597 II 45599	Revised BIG DIPPER English Logic and Expression I/II Teacher's Book	I 3,850円 II 未定	解答例・スクリプトなどを掲載。
I 56062 II 58590	Revised BIG DIPPER English Logic and Expression I/II TEACHER'S MANUAL PDFファイル版	I 6,050円 II 未定	DVD-ROM1枚 TEACHER'S MANUALの紙面PDFを収録。
I 58536 II 58548	Revised BIG DIPPER English Logic and Expression I/II 指導用CD	I 18,700円 II 未定	I 指導用音声CD(5枚) II 指導用音声CD(枚数未定)

＼指導に役立つ情報や教材データをお届け／

先生のための会員制サイト **チャート×ラボ**

「チャート×ラボ」で何ができるの？

- ご採用の教材に関連したデータのダウンロードや、数研出版が作成したプリントデータを生徒のタブレットやスマートフォンに配信することができます。
- 指導者用デジタル教科書(教材)、学習者用デジタル副教材の体験版をお試しいただけます。
- 数研出版主催のセミナーにお申込みいただけます。

会員限定の情報も
お届けするよ

くわしくはこちら <https://lab.chart.co.jp/>



※「チャート×ラボ」のご利用は、教育機関関係者(小学校・中学校・高等学校・大学などの学校に勤務されている方、教育委員会・教育センターなど教育関係職員の方)に限定しております。

数研出版コールセンター TEL:075-231-0162 FAX:075-256-2936



東京本社 〒101-0052
東京都千代田区神田小川町 2-3-3

関西本社 〒604-0861
京都市中京区烏丸通竹屋町上る大倉町 205

関東支社 〒120-0042
東京都足立区千住龍田町 4-17

支店…札幌・仙台・横浜・名古屋・広島・福岡

本カタログに記載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の登録商標または商標です。
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
本カタログで使用されている商品の写真は出荷時のものと一部異なる場合がございます。
本カタログに掲載されている仕様及び価格等は予告なしに変更することがあります。
本カタログの内容は2026年4月現在のものです。
本カタログの有効期間:2027年3月31日
返品に関する特約:商品に欠陥のある場合を除き、お客様のご都合による商品の返品・交換は受けられません。

151595